

注3

大学番号：私231

[平成29年度設置]

計画の区分： 学部の設置

注1

認可

京都ノートルダム女子大学 現代人間学部

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人ノートルダム女学院
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 大学改革推進室

職名・氏名 サンジ 参事 イシカワ 石川 ヒトシ 均

電話番号 075-706-1701

（夜間）

F A X 075-706-3707

e-mail kaiso@notredame.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

現代人間学部

＜福祉生活デザイン学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	19
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	20
5. 教員組織の状況	22
6. 留意事項等に対する履行状況等	38
7. その他全般的事項	40

＜心理学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	43
2. 授業科目の概要	47
3. 施設・設備の整備状況、経費	57
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	58
5. 教員組織の状況	60
6. 留意事項等に対する履行状況等	74
7. その他全般的事項	75

＜こども教育学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	78
2. 授業科目の概要	82
3. 施設・設備の整備状況、経費	92
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	93
5. 教員組織の状況	95
6. 留意事項等に対する履行状況等	110
7. その他全般的事項	111

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人ノートルダム女学院

(2) 大学名

京都ノートルダム女子大学

(3) 大学の位置

〒606-0847
京都府京都市左京区下鴨南野々神町1番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ワダ タマキ) 和田 環 (平成20年11月)		
学長	(セリタ ケンタロウ) 芹田 健太郎 (平成25年4月)	(サナダ マサコ) 眞田 雅子 (平成29年4月)	前任者は平成29年3月31日任期満了、平成29年4月に後任者が就任したため(29)
学部長	(ナカムラ クミ) 中村 久美 (平成29年4月)	(カトウ サチコ) 加藤 佐千子 (平成29年4月)	予定者は副学長に就任、平成29年4月に交代就任したため(29)
学科主任	未定	(ウシダ ヨシミ) 牛田 好美 (平成29年4月)	平成29年3月に決定したため(29)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
現代人間学部 福祉生活デザイン学科 学士(福祉生活デザイン)	家政関係 社会学・社会福祉学関係	4年	70人	— 年次人	280人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	70人 (-) [-]	人 (-) [-]	70人 (-) [-]	人 (-) [-]	0.56倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	68 (-) [1]	— (-) [-]	76 (-) [3]	— (-) [-]		
受験者数	() []	() []	() []	() []	66 (-) [1]	— (-) [-]	75 (-) [3]	— (-) [-]		
合格者数	() []	() []	() []	() []	62 (-) [1]	— (-) [-]	71 (-) [2]	— (-) [-]		
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	37 (-) [-]	— (-) [-]	42 (-) [-]	— (-) [-]		
入学定員超過率 B/A					0.52		0.6			

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	37 [-] (-)	- [-] (-)	42 [-] (-)	- [-] (-)	
2年次			[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	35 [-] (-)	- [-] (-)	
3年次					[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	[-] (-)	
4年次							[-] (-)	[-] (-)	
計	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	37 [-] (-)	- [-] (-)	77 [-] (-)	- [-] (-)	

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
平成28年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
平成29年度	35 人	2 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	2 人	— 人	学生個人の心身に関する事情, 他の教育機関への入学・転学
平成30年度	42 人	0 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	— 人	— 人	
合 計	77 人	2 人				

(注)・数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については, 該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも, その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については, 退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また, 留学生数欄の人数については, 退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は, 下の項目を参考に記入してください。その際, 「就学意欲の低下(〇人)」というように, その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{35} = \boxed{5.71} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{42} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<現代人間学部 福祉生活デザイン学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	日本文学	1前	2								兼1
	外国文学	1後	2								兼1
	日本近現代史	1前	2								兼1
	日本の宗教	1後	2								兼1
	東アジア近現代史	1前	2								兼1
	ヨーロッパ近現代史	1後	2								兼1
	歴史の中の女性	1後	2								兼1
	身近な心理学	1前	2								兼1
	文化人類学	1後	2								兼1
	暮らしの法律学	1前	2								兼1
	憲法と人権	1後	2								兼1
	暮らしの経済学	1後	2								兼1
	国際関係論入門	1前	2								兼1
	社会学概論	1後	2								兼1
	ジェンダー論	1前	2								兼1
	ボランティア概論	1前	2								兼1
	子育てとワークライフバランス	2前	1								兼1
	こどもと子育ての生活環境学	2前	1			4					
	海外研修(生活と社会)	1-2-3-4修	1			1	1				
	身近な自然科学	1前	2								兼1
	暮らしの統計学	1後	2								兼1
	地球と宇宙の科学	1前	2								兼1
	情報科学入門	1後	2								兼1
	環境学概論	1後	2								兼1
	身近な医学	1-2前	2								兼2
	生命倫理	1後	2								兼1
	こどもと自然	1通	2								兼4
	英語基礎Ⅰ	1前	1								兼5
	英語総合Ⅰ	1前	1								兼6
	英語基礎Ⅱ	1後	1								兼5
	英語総合Ⅱ	1後	1								兼6
	日常の英会話	2前・後	1								兼3
	旅行の英会話	2後	1								兼2
	留学の英会話	2後	1								兼2
	おもてなしの英会話	2前	1								兼2
	やさしいビジネス英会話	2前	1								兼1
	歌って覚える英語表現	2後	1								兼1
	英語リスニング初級	2前	1								兼1
	英語リスニング中級	2後	1								兼1
	読むための英語	2前	1								兼1
	実用英語基礎	2後	1								兼2
	身近な英文法	2前	1								兼2
	アカデミック英語	3前	1								兼1
	ドイツ語	1前	2								兼1
	フランス語	1後	2								兼1
スペイン語	1前	2								兼1	
アラビア語	1後	2								兼1	
中国語Ⅰ	1前・後	2								兼3	
中国語Ⅱ	1後	2								兼1	
中国語Ⅲ	2前	2								兼1	
コリア語Ⅰ	1前・後	2								兼1	
コリア語Ⅱ	1後	2								兼1	
コリア語Ⅲ	2前	2								兼1	
海外研修(語学)Ⅰ	1-2-3-4修	2								兼1	
海外研修(語学)Ⅱa	1-2-3修	2								兼1	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	日本文学	1前	2								兼1
	外国文学	1後	2								兼1
	日本近現代史	1前	2								兼1
	日本の宗教	1後	2								兼1
	東アジア近現代史	1前	2								兼1
	ヨーロッパ近現代史	1後	2								兼1
	歴史の中の女性	1後	2								兼1
	身近な心理学	1前	2								兼1
	文化人類学	1後	2								兼1
	暮らしの法律学	1前	2								兼1
	憲法と人権	1後	2								兼1
	暮らしの経済学	1後	2								兼1
	国際関係論入門	1前	2								兼1
	社会学概論	1前	2								兼1
	ジェンダー論	1後	2								兼1
	ボランティア概論	1前	2								兼1
	子育てとワークライフバランス	2前	1								兼1
	こどもと子育ての生活環境学	2前	1			4					
	海外研修(生活と社会)	1-2-3-4修	1			1	1				
	身近な自然科学	1前	2								兼1
	暮らしの統計学	1後	2								兼1
	地球と宇宙の科学	1前	2								兼1
	情報科学入門	1後	2								兼1
	環境学概論	1後	2								兼1
	身近な医学	1-2前	2								兼2
	生命倫理	1後	2								兼1
	こどもと自然	1通	2								兼4
	英語基礎Ⅰ	1前	1								兼5
	英語総合Ⅰ	1前	1								兼6
	英語基礎Ⅱ	1後	1								兼5
	英語総合Ⅱ	1後	1								兼6
	日常の英会話	2前・後	1								兼3
	旅行の英会話	2後	1								兼2
	留学の英会話	2後	1								兼2
	おもてなしの英会話	2前	1								兼2
	やさしいビジネス英会話	2前	1								兼1
	歌って覚える英語表現	2後	1								兼1
	英語リスニング初級	2前	1								兼1
	英語リスニング中級	2後	1								兼1
	読むための英語	2前	1								兼1
	実用英語基礎	2後	1								兼2
	身近な英文法	2前	1								兼2
	アカデミック英語	3前	1								兼1
	ドイツ語	1前	2								兼1
	フランス語	1後	2								兼1
スペイン語	1前	2								兼1	
アラビア語	1後	2								兼1	
中国語Ⅰ	1前・後	2								兼3	
中国語Ⅱ	1後	2								兼1	
中国語Ⅲ	2前	2								兼1	
コリア語Ⅰ	1前・後	2								兼1	
コリア語Ⅱ	1後	2								兼1	
コリア語Ⅲ	2前	2								兼1	
海外研修(語学)Ⅰ	1-2-3-4修	2								兼1	
海外研修(語学)Ⅱa	1-2-3修	2								兼2	

共通教育科目	海外研修(語学)Ⅱb	1・2・3・4休	2							兼1	海外研修(語学)Ⅱb	1・2・3・4休	2								兼2	
	日本語講読Ⅰ	1前	1							兼1	日本語講読Ⅰ	1前	1								兼1	
	日本語講読Ⅱ	1後	1							兼1	日本語講読Ⅱ	1後	1								兼1	
	日本語表現Ⅰ	1前	1							兼1	日本語表現Ⅰ	1前	1								兼1	
	日本語表現Ⅱ	1後	1							兼1	日本語表現Ⅱ	1後	1								兼1	
	日本語特講Ⅰ	2前	1							兼1	日本語特講Ⅰ	2前	1								兼1	
	日本語特講Ⅱ	2後	1							兼1	日本語特講Ⅱ	2後	1								兼1	
	文章表現法	1前・後	2							兼1	文章表現法	1前・後	2									兼1
	情報演習Ⅰ	1前・後	1							兼1	情報演習Ⅰ	1前・後	1									兼1
	情報演習Ⅱ	2前・後	1							兼1	情報演習Ⅱ	2前・後	1									兼1
	情報処理	2前・後	2							兼3	情報処理	2前・後	2									兼3
	体育講義	1後	1							兼1	体育講義	1後	1									兼1
	健康スポーツ演習	1前・後	2							兼3	健康スポーツ演習	1前・後	2									兼3
	体育実技	1前	1							兼1	体育実技	1前	1									兼2
	キリスト教入門	1前・後	2							兼1	キリスト教入門	1前・後	2									兼1
	キリスト教音楽入門	1前・後	1							兼1	キリスト教音楽入門	1前・後	1									兼1
	聖書と文化	2前	2							兼1	聖書と文化	2前	2									兼1
	キリスト教と日本文化	2後	2							兼2	キリスト教と日本文化	2後	2									兼2
	キリスト教思想	2前	2							兼1	キリスト教思想	2前	2									兼1
	キリスト教美術	2後	2							兼1	キリスト教美術	2後	2									兼1
キリスト教音楽	2後	2							兼1	キリスト教音楽	2後	2									兼1	
ノートルダム学	1前	2							兼1	ノートルダム学	1前	2									兼1	
女性とライフキャリア	1前・後	2				1				女性とライフキャリア	1前・後	2				1						
ホスピタリティ入門	1前・後	2							兼1	ホスピタリティ入門	1前・後	2										兼1
ホスピタリティ京都	2・3前	2							兼2	ホスピタリティ京都	2・3前	2										兼2
キャリア形成	3前・後	2							兼1	キャリア形成	3前・後	2										兼1
キャリア形成ゼミ	2通	2							兼1	キャリア形成ゼミ	2通	2										兼1
インターンシップ	2・3・4通	2							兼1	インターンシップ	2・3・4通	2										兼1
海外インターンシップ	2・3・4休	2							兼1	海外インターンシップ	2・3・4休	2										兼1
学部共通科目	現代社会とこども	1前	1							兼2	現代社会とこども	1前	1									兼2
	現代社会と女性・家族	1前	1				1			兼1	現代社会と女性・家族	1前	1				1					兼1
	現代社会と高齢者	1前	1		1					兼1	現代社会と高齢者	1前	1		1							兼1
	現代社会と病者・障がい者	1前	1		1	1				兼2	現代社会と病者・障がい者	1前	1		1	1						兼2
	病児の発達と支援	1休	2							兼10	病児の発達と支援	1休	2									兼10
	情報科学	3前	2							兼1	情報科学	3前	2									兼1
専門教育科目	福祉生活デザイン基礎演習Ⅰ	1前	2		7	2	3				福祉生活デザイン基礎演習Ⅰ	1前	2			6	2	3				
	福祉生活デザイン基礎演習Ⅱ	1後	2		7	2	3				福祉生活デザイン基礎演習Ⅱ	1後	2			6	2	3				
	福祉生活デザイン基礎演習Ⅲ	2前	1		7	2	3				福祉生活デザイン基礎演習Ⅲ	2前	1			6	2	3				
	福祉生活デザイン基礎演習Ⅳ	2後	1		7	2	3				福祉生活デザイン基礎演習Ⅳ	2後	1			6	2	3				
	福祉生活デザイン概論	1前	2		7	2	3				福祉生活デザイン概論	1前	2			7	2	3				
	衣生活概論	1前	2		1						衣生活概論	1前	2			1						
	食生活概論	1後	2		1						食生活概論	1後	2			1						
	住居学概論	1前	2		1						住居学概論	1前	2			1						
	現代社会と家庭経営	1後	2				1				現代社会と家庭経営	1後	2						1			
	現代社会と福祉Ⅰ	1前	2								現代社会と福祉Ⅰ	1前	2				1					
	衣生活材料学	2前	2				1				衣生活材料学	2前	2					1				
	アパレルデザイン	2後	2		1						アパレルデザイン	2後	2			1						
	衣生活情報論	3後	2		1						衣生活情報論	3後	2			1						
	服飾心理学	2後	2		1						服飾心理学	2後	2			1						
	繊維材料学	2後	2				1				繊維材料学	2後	2					1				
	染色加工学	3前	2				1				染色加工学	3前	2					1				
	アパレル造形学(実習を含む)	2前	2		1						アパレル造形学(実習を含む)	2前	2			1						
	アパレルデザイン演習Ⅰ	2後	1		1						アパレルデザイン演習Ⅰ	2後	1			1						
	アパレルデザイン演習Ⅱ	3前	1		1						アパレルデザイン演習Ⅱ	3前	1			1						
	衣生活実験Ⅰ	3前	1				1				衣生活実験Ⅰ	3後	1					1				
衣生活実験Ⅱ	3後	1				1				衣生活実験Ⅱ	3後	1					1					

食品学	2前	2	1							食品学	2前	2	1							
食品加工学（実験を含む）	2後	3	1							食品加工学（実験を含む）	2後	3	1							
食品官能評価論	2前	2	1							食品官能評価論	2前	2	1							
食品官能評価演習（実験を含む）	2前	1	1							食品官能評価演習（実験を含む）	2前	1	1							
栄養学	2前	2							兼1	栄養学	2前	2								兼1
調理学	2後	2	1							調理学	2後	2	1							
調理学実習	3前	2	1							調理学実習	3前	2	1							
発展調理学実習	3後	2	1							発展調理学実習	3後	2	1							
フードコーディネータ論	3後	2	1							フードコーディネータ論	3後	2	1							
建築一般構造	2前	2	1							建築一般構造	2前	2	1							
住生活学	2前	2	1							住生活学	2前	2	1							
住環境学	2後	2	1							住環境学	2後	2	1							
住居史	2後	2	1							住居史	2後	2	1							
インテリア装備学	3後	2	1							インテリア装備学	3後	2	1							
福祉住環境デザイン	2前	2	1							福祉住環境デザイン	2前	2	1							
住居製図Ⅰ	2前	1	1							住居製図Ⅰ	2前	1	1							
住居製図Ⅱ	2後	1	1							住居製図Ⅱ	2後	1	1							
建築材料学	3前	2	1							建築材料学	3前	2	1							
建築法規	2後	2	2							建築法規	2後	2	2							
京都生活論	2後	2							兼1	京都生活論	2後	2								兼1
家族関係	2前	2				1				家族関係	2前	2					1			
家族社会学	3後	2				1				家族社会学	3後	2					1			
消費者教育	3前	2							兼1	消費者教育	3前	2								兼1
家庭電気・機械及び情報処理	1後	2							兼1	家庭電気・機械及び情報処理	1後	2								兼1
家庭科教育法Ⅰ（生活の自立と衣食住）	2前	2	1							家庭科教育法Ⅰ（生活の自立と衣食住）	2前	2	1							
家庭科教育法Ⅱ（家族・家庭生活と福祉）	2後	2	1							家庭科教育法Ⅱ（家族・家庭生活と福祉）	2後	2	1							
家庭科教育法Ⅲ（指導法と教材作成）	3前	2	1							家庭科教育法Ⅲ（指導法と教材作成）	3前	2	1							
家庭科教育法Ⅳ（模擬授業）	3後	2	1							家庭科教育法Ⅳ（模擬授業）	3後	2	1							
保育学（実習および家庭看護を含む）	3後	2							兼1	保育学（実習および家庭看護を含む）	3後	2								兼1
医学一般	2前	2							兼1	人体の構造と機能及び疾病	2前	2								兼1
現代社会と福祉Ⅱ	1後	2								現代社会と福祉Ⅱ	1後	2	1							
社会保障論Ⅰ	2前	2								社会保障論Ⅰ	2前	2	1							
社会保障論Ⅱ	2後	2								社会保障論Ⅱ	2後	2	1							
老人福祉論	2前	2	1							老人福祉論	2前	2	1							
介護概論	2後	2	1							介護概論	2後	2	1							
障害者福祉論	2後	2				1				障害者福祉論	2後	2					1			
児童福祉論	2前	2							兼1	児童福祉論	2前	2								兼1
地域福祉論Ⅰ	3前	2				1				地域福祉論Ⅰ	3前	2					1			
地域福祉論Ⅱ	3後	2				1				地域福祉論Ⅱ	3後	2					1			
介護技術	2前	2								介護技術	2前	2	1							
精神保健学Ⅰ	2前	2				1				精神保健学Ⅰ	2前	2					1			
精神保健学Ⅱ	2後	2				1				精神保健学Ⅱ	2後	2					1			
医療ソーシャルワーク論	2後	2	1							医療ソーシャルワーク論	2後	2	1							
レクリエーション論	2前	2								レクリエーション論	2前	2	1							
福祉コミュニティの実践	3通	2				1				福祉コミュニティの実践	3通	2					1			
食品安全性学	2後	2							兼1	食品安全性学	2後	2								兼1
食品流通論	2後	2							兼1	食品流通論	2後	2								兼1
フードスペシャリスト論	2前	2							兼1	フードスペシャリスト論	2前	2								兼1
住計画演習Ⅰ	3前	2							兼1	住計画演習Ⅰ	3前	2								兼1
住計画演習Ⅱ	3後	2							兼1	住計画演習Ⅱ	3後	2								兼1
建築構造力学	3前	2							兼1	建築構造力学	3前	2								兼1
建築施工	3後	2							兼1	建築施工	3後	2								兼1

	デザイン論 I	3前	2							兼1	デザイン論 I	3前	2								兼1
	デザイン論 II	3後	2							兼1	デザイン論 II	3後	2								兼1
	色彩学	3前	2							兼1	色彩学	3前	2								兼1
	ビジネスの基礎	2前	2							兼1	ビジネスの基礎 I	2前	2								兼1
											ビジネスの基礎 II	2後	2								兼1
	マーケティング論	3前	2							兼1	マーケティング論	3前	2								兼1
											ソーシャルマーケティング論	3後	2								兼1
	女性起業論	4前	2							兼1	女性起業論	4前	2								兼1
	保健医療サービス	2後	2	1							保健医療サービス	2後	2	1							
	公的扶助論	3前	2								公的扶助論	3前	2	1							
	福祉行財政と福祉計画	3後	2								福祉行財政と福祉計画	3後	2								
	社会福祉運営論	3後	2								社会福祉運営論	3後	2	1							
	就労支援	3前	1								就労支援	3前	1								
	権利擁護と成年後見制度	3前	2							兼1	権利擁護と成年後見制度	3前	2								兼1
	更生保護制度	3前	1							兼1	更生保護制度	3前	1								兼1
	社会福祉調査法	2前	2							兼1	社会福祉調査法	2前	2								兼1
	精神医学 I	2前	2							兼1	精神医学 I	2前	2								兼1
	精神医学 II	2後	2							兼1	精神医学 II	2後	2								兼1
	精神科リハビリテーション学 I	3前	2							兼1	精神科リハビリテーション学 I	3前	2								兼1
	精神科リハビリテーション学 II	3後	2							兼1	精神科リハビリテーション学 II	3後	2								兼1
	精神保健福祉論 I	2前	2	1							精神保健福祉論 I	2前	2	1							
	精神保健福祉論 II	2後	2	1							精神保健福祉論 II	2後	2	1							
	精神保健福祉論 III	4前	2	1							精神保健福祉論 III	4前	2	1							
	精神保健福祉相談援助の基盤 (基礎)	1後	2	1							精神保健福祉相談援助の基盤 (基礎)	1後	2	1							
	精神保健福祉相談援助の基盤 (専門)	2前	2	1							精神保健福祉相談援助の基盤 (専門)	2前	2	1							
	精神保健福祉援助技術各論 I	3後	2							兼1	精神保健福祉援助技術各論 I	3後	2								兼1
	精神保健福祉援助技術各論 II	4前	2							兼1	精神保健福祉援助技術各論 II	4前	2								兼1
専門教育科目	リハビリテーション論	2後	2							兼1	リハビリテーション論	2後	2								兼1
	ターミナルケア論	3前	2	1							ターミナルケア論	3前	2	1							
	ソーシャルワーク論 I	1後	2	1							ソーシャルワーク論 I	1後	2	1							
	ソーシャルワーク論 II	2前	2	1							ソーシャルワーク論 II	2前	2	1							
	ソーシャルワーク論 III	2後	2	1							ソーシャルワーク論 III	2後	2	1							
	ソーシャルワーク論 IV	3前	2	1							ソーシャルワーク論 IV	3前	2	1							
	ソーシャルワーク論 V	3後	2	1							ソーシャルワーク論 V	3後	2	1							
	ソーシャルワーク論 VI	4前	2	1							ソーシャルワーク論 VI	4前	2	1							
	ソーシャルワーク演習 I	2通	2	1							ソーシャルワーク演習 I	2通	2	1							
	ソーシャルワーク演習 II	3通	2		1						ソーシャルワーク演習 II	3通	2		1						
	ソーシャルワーク演習 III	4前	1		1						ソーシャルワーク演習 III	4前	1		1						
	医療ソーシャルワーク演習 I	3前	1	1							医療ソーシャルワーク演習 I	3前	1	1							
	医療ソーシャルワーク演習 II	3後	1	1							医療ソーシャルワーク演習 II	3後	1	1							
	ソーシャルワーク実習指導 I	2後	2	1	1						ソーシャルワーク実習指導 I	2後	2	1	1						
	ソーシャルワーク実習指導 II	3前	1	1	1						ソーシャルワーク実習指導 II	3前	1	1	1						
	ソーシャルワーク実習指導 III	3通	2	3	1	1					ソーシャルワーク実習指導 III	3通	2	2	1	1					
	ソーシャルワーク現場実習	3休	6	3	1	1					ソーシャルワーク現場実習	3休	6	2	1	1					
											医療ソーシャルワーク現場実習	3通	6	1							

専門教育科目	精神保健福祉援助演習(基礎)	3前	1		1				兼1
	精神保健福祉援助演習(専門)Ⅰ	3後	1		1				兼1
	精神保健福祉援助演習(専門)Ⅱ	4前	1		1				兼1
	精神保健福祉援助実習指導	3後	3		1				兼1
	精神保健福祉援助実習Ⅰ	3休	2		1				兼1
	精神保健福祉援助実習Ⅱ	3休	2		1				兼1
	精神保健福祉援助実習Ⅲ	3休	3		1				兼1
	社会福祉特講Ⅰ	4通	2	1					
	社会福祉特講Ⅱ	4通	2		1				
	福祉生活デザイン特論	3通	4		7	2	3		
卒業研究	4通	8		7	2	3			
教職に関する科目	教師論	2前		2					兼1
	教育学	1後		2					兼1
	発達と学習の教育心理	2前		2					兼1
	教育社会学	2後		2					兼1
	中等教育課程論	2・3前		2					兼1
	道徳の指導法(中等)	2・3前		2					兼1
	特別活動の指導法(中等)	2・3前		2					兼1
	教育の方法及び技術	3後		2					兼1
	生徒指導・進路指導の理論及び方法	2・3休		2					兼1
	教育相談の理論及び方法	2・3後		2					兼1
	中等教育実習事前事後指導	4通		1	1				兼1
	中等教育実習Ⅰ	4通		2	1				兼1
	中等教育実習Ⅱ	4通		2	1				兼1
	教職実践演習(中・高)	4後		2	1				兼1
	介護等体験	2・3通		1			1		兼1

専門教育科目	精神保健福祉援助演習(基礎)	3前	1		1				兼1
	精神保健福祉援助演習(専門)Ⅰ	3後	1		1				兼1
	精神保健福祉援助演習(専門)Ⅱ	4前	1		1				兼1
	精神保健福祉援助実習指導	3後	3		1				兼1
	精神保健福祉援助実習Ⅰ	3休	2		1				兼1
	精神保健福祉援助実習Ⅱ	3休	2		1				兼1
	精神保健福祉援助実習Ⅲ	3休	3		1				兼1
	社会福祉特講Ⅰ	4通	2	1					
	社会福祉特講Ⅱ	4通	2		1				
	福祉生活デザイン特論	3通	4		6	2	3		
卒業研究	4通	8		6	2	3			
教職に関する科目	教師論	2前		2					兼1
	教育原論	1後		2					兼1
	発達と学習の教育心理	2前		2					兼1
	教育社会学	2後		2					兼1
	中等教育課程論	2・3前		2					兼1
	道徳の指導法(中等)	2・3前		2					兼1
	特別活動の指導法(中等)	2・3前		2					兼1
	教育の方法及び技術	3後		2					兼1
	生徒指導・進路指導の理論及び方法	2・3休		2					兼2
	教育相談の理論及び方法	2・3後		2					兼1
	中等教育実習事前事後指導	4通		1	1				兼1
	中等教育実習Ⅰ	4通		2	1				兼1
	中等教育実習Ⅱ	4通		2	1				兼1
	教職実践演習(中・高)	4後		2	1				兼1
	介護等体験	2・3通		1			1		兼1

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	日本文学	1前		2								兼1
	外国文学	1後		2								兼1
	日本近現代史	1前		2								兼1
	日本の宗教	1後		2								兼1
	東アジア近現代史	1前		2								兼1
	ヨーロッパ近現代史	1後		2								兼1
	歴史の中の女性	1後		2								兼1
	身近な心理学	1前		2								兼1
	文化人類学	1後		2								兼1
	暮らしの法律学	1前		2								兼1
	憲法と人権	1後		2								兼1
	暮らしの経済学	1後		2								兼1
	国際関係論入門	1前		2								兼1
	社会学概論	1前		2								兼1
	ジェンダー論	1後		2								兼1
	ボランティア概論	1前		2								兼1
	子育てとワークライフバランス	2前		1								兼1
	こどもと子育ての生活環境学	2前		1		4						
	海外研修（生活と社会）	1+2+3+4休		1		1	1					
	身近な自然科学	1前		2								兼1
	暮らしの統計学	1後		2								兼1
	地球と宇宙の科学	1前		2								兼1
	情報科学入門	1後		2								兼1
	環境学概論	1後		2								兼1
	身近な医学	1・2前		2								兼2
	生命倫理	1後		2								兼1
	こどもと自然	1通		2								兼4
	英語基礎Ⅰ	1前	1									兼5
	英語総合Ⅰ	1前	1									兼7
	英語基礎Ⅱ	1後	1									兼5
	英語総合Ⅱ	1後	1									兼7
	日常の英会話	2前・後		1								兼3
	旅行の英会話	2後		1								兼2
	留学の英会話	2後		1								兼2
	おもてなしの英会話	2前		1								兼2
	やさしいビジネス英会話	2前		1								兼1
	歌って覚える英語表現	2後		1								兼1
	英語リスニング初級	2前		1								兼1
	英語リスニング中級	2後		1								兼1
	読むための英語	2前		1								兼1
	実用英語基礎	2後		1								兼1
	身近な英文法	2前		1								兼1
	アカデミック英語	3前		1								兼1
	ドイツ語	1前		2								兼1
	フランス語	1後		2								兼1
	スペイン語	1前		2								兼1
	アラビア語	1後		2								兼1
	中国語Ⅰ	1前・後		2								兼4
	中国語Ⅱ	1後		2								兼1
	中国語Ⅲ	2前		2								兼1
コリア語Ⅰ	1前・後		2								兼1	
コリア語Ⅱ	1後		2								兼1	
コリア語Ⅲ	2前		2								兼1	
海外研修（語学）Ⅰ	1+2+3+4休		2								兼1	
海外研修（語学）Ⅱa	1+2+3休		2								兼1	
海外研修（語学）Ⅱb	1+2+3+4休		2								兼1	
日本語講読Ⅰ	1前		1								兼1	
日本語講読Ⅱ	1後		1								兼1	
日本語表現Ⅰ	1前		1								兼1	
日本語表現Ⅱ	1後		1								兼1	
日本語特講Ⅰ	2前		1								兼1	

共通教育科目	日本語特講Ⅱ	2後	1																	兼1	
	文章表現法	1前・後	2																		兼1
	情報演習Ⅰ	1前・後	1																		兼1
	情報演習Ⅱ	2前・後	1																		兼1
	情報処理	2前・後	2																		兼3
	体育講義	1後	1																		兼1
	健康スポーツ演習	1前・後	2																		兼3
	体育実技	1前	1																		兼1
	キリスト教入門	1前・後	2																		兼1
	キリスト教音楽入門	1前・後	1																		兼1
	聖書と文化	2前	2																		兼1
	キリスト教と日本文化	2後	2																		兼2
	キリスト教思想	2前	2																		兼1
	キリスト教美術	2後	2																		兼1
	キリスト教音楽	2後	2																		兼1
	ノートルダム学	1前	2																		兼1
	女性とライフキャリア	1前・後	2							1											
	ホスピタリティ入門	1前・後	2																		兼1
	ホスピタリティ京都	2・3前	2																		兼2
	キャリア形成	3前・後	2																		兼1
キャリア形成ゼミ	2通	2																		兼1	
インターンシップ	2・3・4通	2																		兼1	
海外インターンシップ	2・3・4休	2																		兼1	
学部共通科目	現代社会とこども	1前	1																		兼2
	現代社会と女性・家族	1前	1							1											兼1
	現代社会と高齢者	1前	1				1														兼1
	現代社会と病者・障がい者	1前	1				1	1													兼2
	病児の発達と支援	1休	2																		兼10
	情報科学	3前	2																		兼1
専門教育科目	福祉生活デザイン基礎演習Ⅰ	1前	2				7	2	3												
	福祉生活デザイン基礎演習Ⅱ	1後	2				7	2	3												
	福祉生活デザイン基礎演習Ⅲ	2前	1				7	2	3												
	福祉生活デザイン基礎演習Ⅳ	2後	1				7	2	3												
	福祉生活デザイン概論	1前	2				7	2	3												
	衣生活概論	1前	2				1														
	食生活概論	1後	2				1														
	住居学概論	1前	2				1														
	現代社会と家庭経営	1後	2							1											
	現代社会と福祉Ⅰ	1前	2							1											
	衣生活材料学	2前	2							1											
	アパレルデザイン	2後	2				1														
	衣生活情報論	3後	2				1														
	服飾心理学	2後	2				1														
	繊維材料学	2後	2							1											
	染色加工学	3前	2							1											
	アパレル造形学（実習を含む）	2前	2				1														
	アパレルデザイン演習Ⅰ	2後	1				1														
	アパレルデザイン演習Ⅱ	3前	1				1														
	衣生活実験Ⅰ	3前	1							1											
	衣生活実験Ⅱ	3後	1							1											
	食品学	2前	2				1														
	食品加工学（実験を含む）	2後	3				1														
	食品官能評価論	2前	2				1														
	食品官能評価演習（実験を含む）	2前	1				1														

栄養学	2前	2						兼1
調理学	2後	2	1					
調理学実習	3前	2	1					
発展調理学実習	3後	2	1					
フードコーディネーター論	3後	2	1					
建築一般構造	2前	2	1					
住生活学	2前	2	1					
住環境学	2後	2	1					
住居史	2後	2	1					
インテリア装備学	3後	2	1					
福祉住環境デザイン	2前	2	1					
住居製図Ⅰ	2前	1	1					
住居製図Ⅱ	2後	1	1					
建築材料学	3前	2	1					
建築法規	2後	2	2					
京都生活論	2後	2						兼1
家族関係	2前	2		1				
家族社会学	3後	2		1				
消費者教育	3前	2						兼1
家庭電気・機械及び情報処理	1後	2						兼1
家庭科教育法Ⅰ（生活の自立と衣食住）	2前	2	1					
家庭科教育法Ⅱ（家族・家庭生活と福祉）	2後	2	1					
家庭科教育法Ⅲ（指導法と教材作成）	3前	2	1					
家庭科教育法Ⅳ（模擬授業）	3後	2	1					
保育学（実習および家庭看護を含む）	3後	2						兼1
医学一般	2前	2						兼1
現代社会と福祉Ⅱ	1後	2	1					
社会保障論Ⅰ	2前	2						
社会保障論Ⅱ	2後	2						
老人福祉論	2前	2	1					
介護概論	2後	2	1					
障害者福祉論	2後	2		1				
児童福祉論	2前	2						兼1
地域福祉論Ⅰ	3前	2		1				
地域福祉論Ⅱ	3後	2		1				
介護技術	2前	2	1					
精神保健学Ⅰ	2前	2		1				
精神保健学Ⅱ	2後	2		1				
医療ソーシャルワーク論	2後	2	1					
レクリエーション論	2前	2	1					
福祉コミュニティの実践	3通	2		1				
食品安全性学	2後	2						兼1
食品流通論	2後	2						兼1
フードスペシャリスト論	2前	2						兼1
住計画演習Ⅰ	3前	2						兼1
住計画演習Ⅱ	3後	2						兼1
建築構造力学	3前	2						兼1
建築施工	3後	2						兼1
デザイン論Ⅰ	3前	2						兼1
デザイン論Ⅱ	3後	2						兼1
色彩学	3前	2						兼1
ビジネスの基礎Ⅰ	2前	2						兼1
ビジネスの基礎Ⅱ	2後	2						兼1
マーケティング論	3前	2						兼1

専門教育科目

専門 教育 科目	ソーシャルマーケ ディング論	3後	2						兼1
	女性起業論	4前	2						兼1
	保健医療サービス	2後	2	1					
	公的扶助論	3前	2						
	福祉行財政と福祉計 画	3後	2						
	社会福祉運営論	3後	2						
	就労支援	3前	1						
	権利擁護と成年後見 制度	3前	2						兼1
	更生保護制度	3前	1						兼1
	社会福祉調査法	2前	2						兼1
	精神医学Ⅰ	2前	2						兼1
	精神医学Ⅱ	2後	2						兼1
	精神科リハビリテー ション学Ⅰ	3前	2						兼1
	精神科リハビリテー ション学Ⅱ	3後	2						兼1
	精神保健福祉論Ⅰ	2前	2	1					
	精神保健福祉論Ⅱ	2後	2	1					
	精神保健福祉論Ⅲ	4前	2	1					
	精神保健福祉相談援 助の基盤（基礎）	1後	2	1					
	精神保健福祉相談援 助の基盤（専門）	2前	2	1					
	精神保健福祉援助技 術各論Ⅰ	3後	2						兼1
	精神保健福祉援助技 術各論Ⅱ	4前	2						兼1
	リハビリテーション 論	2後	2						兼1
	ターミナルケア論	3前	2	1					
	ソーシャルワーク論 Ⅰ	1後	2	1					
	ソーシャルワーク論 Ⅱ	2前	2	1					
	ソーシャルワーク論 Ⅲ	2後	2	1					
	ソーシャルワーク論 Ⅳ	3前	2	1					
	ソーシャルワーク論 Ⅴ	3後	2	1					
	ソーシャルワーク論 Ⅵ	4前	2	1					
	ソーシャルワーク演 習Ⅰ	2通	2	1					
	ソーシャルワーク演 習Ⅱ	3通	2			1			
	ソーシャルワーク演 習Ⅲ	4前	1		1				
	医療ソーシャルワー ク演習Ⅰ	3前	1	1					
医療ソーシャルワー ク演習Ⅱ	3後	1	1						
ソーシャルワーク実 習指導Ⅰ	2後	2	1	1					
ソーシャルワーク実 習指導Ⅱ	3前	1	1		1				
ソーシャルワーク実 習指導Ⅲ	3通	2	3	1	1				
ソーシャルワーク現 場実習	3休	6	3	1	1				
精神保健福祉援助演 習（基礎）	3前	1		1				兼1	
精神保健福祉援助演 習（専門）Ⅰ	3後	1		1				兼1	
精神保健福祉援助演 習（専門）Ⅱ	4前	1		1				兼1	
精神保健福祉援助実 習指導	3後	3		1				兼1	

専門 教育 科目	精神保健福祉援助実 習Ⅰ	3休	2		1				兼1
	精神保健福祉援助実 習Ⅱ	3休	2		1				兼1
	精神保健福祉援助実 習Ⅲ	3休	3		1				兼1
	社会福祉特講Ⅰ	4通	2		1				
	社会福祉特講Ⅱ	4通	2			1			
	福祉生活デザイン特 論	3通	4		7	2	3		
	卒業研究	4通	8		7	2	3		
教 職 に 関 す る 科 目	教師論	2前		2					兼1
	教育原論	1後		2					兼1
	発達と学習の教育心 理	2前		2					兼1
	教育社会学	2後		2					兼1
	中等教育課程論	2・3前		2					兼1
	道徳の指導法（中 等）	2・3前		2					兼1
	特別活動の指導法 （中等）	2・3前		2					兼1
	教育の方法及び技術	3後		2					兼1
	生徒指導・進路指導の 理論及び方法	2・3休		2					兼1
	教育相談の理論及び 方法	2・3後		2					兼1
	中等教育実習事前事 後指導	4通		1	1				兼1
	中等教育実習Ⅰ	4通		2	1				兼1
	中等教育実習Ⅱ	4通		2	1				兼1
	教職実践演習（中・ 高）	4後		2	1				兼1
	介護等体験	2・3通		1			1		兼1

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

【共通教育科目】

- ・開講期変更により、「社会学概論」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・開講期変更により、「ジェンダー論」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。

【専門教育科目】

- ・専任補充の審査結果により、「現代社会と福祉Ⅰ」の専任教員等を「教授0」から「教授1」に配置。
- ・専任補充の審査結果により、「現代社会と福祉Ⅱ」の専任教員等を「教授0」から「教授1」に配置。
- ・専任補充の審査結果により、「介護技術」の専任教員等を「教授0」から「教授1」に配置。
- ・専任補充の審査結果により、「レクリエーション論」の専任教員等を「教授0」から「教授1」に配置。
- ・留意事項の対応、教育課程の充実により、授業科目の名称を「ビジネスの基礎」から「ビジネスの基礎Ⅰ」に変更。
- ・留意事項の対応により、「ビジネスの基礎Ⅱ」の追加。
- ・留意事項の対応により、「ソーシャルマーケティング論」の追加。

【教職に関する科目】

- ・課程認定申請上の理由により、授業科目の名称を「教育学」から「教育原論」に変更。

【平成30年度】

【専門教育科目】

- ・専任教員辞任により、「福祉生活デザイン基礎演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授6」に変更。
- ・専任教員辞任により、「福祉生活デザイン基礎演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授6」に変更。
- ・専任教員辞任により、「福祉生活デザイン基礎演習Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授6」に変更。
- ・専任教員辞任により、「福祉生活デザイン基礎演習Ⅳ」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授6」に変更。
- ・履修上の都合により、「衣生活実験Ⅰ」の配当年次を「3前」から「3後」に変更。
- ・資格指定科目の科目名称の指定により、授業科目の名称を「医学一般」から「人体の構造と機能及び疾病」に変更。
- ・専任補充の審査結果により、「社会保障論Ⅰ」の専任教員等を「教授0」から「教授1」に配置。
- ・専任補充の審査結果により、「社会保障論Ⅱ」の専任教員等を「教授0」から「教授1」に配置。
- ・専任補充の審査結果により、「公的扶助論」の専任教員等を「教授0」から「教授1」に配置。
- ・専任補充の審査結果により、「社会福祉運営論」の専任教員等を「教授0」から「教授1」に配置。
- ・専任教員辞任により、「ソーシャルワーク実習指導Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
- ・専任教員辞任により、「ソーシャルワーク現場実習」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
- ・留意事項の対応により、「医療ソーシャルワーク現場実習」を追加し、専任教員等の「教授1」を配置。
- ・専任教員辞任により、「福祉生活デザイン特論」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授6」に変更。
- ・専任教員辞任により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授6」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
20 科目	196 科目	15 科目	231 科目	20 科目 [-]	199 科目 [3]	15 科目 [-]	234 科目 [3]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{231} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	校舎敷地と運動場用地 1(300m,徒歩5分) 校舎敷地と運動場用地 2(3.5km,車で15分)		
	校舎敷地	17,206 m ²	0 m ²	0 m ²	17,206 m ²			
	運動場用地	19,625 m ²	0 m ²	0 m ²	19,625 m ²			
	小 計	25,966 m ²	0 m ²	0 m ²	25,966 m ²			
	そ の 他	0 m ²	0 m ²	0 m ²	0 m ²			
	合 計	36,831 m ²	0 m ²	0 m ²	36,831 m ²			
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
	(30,169 m ²)	(12,670 m ²)	(0 m ²)	(30,169 m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	41 室	6 室	14 室	4 室 (補助職員 2 人)	3 室 (補助職員 2 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			平成29年4月 専任教員1名を新規 採用のため(29)		
	現代人間学部 福祉生活デザイン学科		16 15 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 冊	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	大学全体での共用分を含む 図書40,000冊 [35,000冊]
	現代人間学部	128,000 [33,330] (118,000 [32,100])	310 [60] (310 [60])	1,100 [540] (1,100 [540])	400 (340)	400 (400)	0 (0)	
	計	128,000 [33,330] (118,000 [32,100])	310 [60] (310 [60])	1,100 [540] (1,100 [540])	400 (340)	400 (400)	0 (0)	
(6) 図 書 館	面 積	関 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体			
	3,625 m ²	198	278,111					
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体			
	2,004 m ²	トラック 1面 テニスコート 4面 トレーニングルーム 1室						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	「図書購入費」「設備購入費」を最新額に変更(29) 図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む。
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	13,328千円 10,000千円	11,677千円 9,000千円	
	共同研究費等	3,200千円	3,200千円	設備購入費	19,000千円 15,223千円	5,000千円 1,500千円	5,000千円 1,500千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,410千円	1,130千円	1,130千円	1,163千円	— 千円	— 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経営補助金, 雑収入, その他						

(注) ・ 設置時の計画を, 申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合, 複数の様式に分ける必要はありません。なお, 「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を, その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は, その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については, 上段に完成年度の予定数値を, 下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては, 変更部分を赤字で見え消し修正するとともに, その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお, 昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少, 建築計画の遅延)がある場合には, 「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学 の 名 称	京都ノートルダム女子大学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人間文化学部									
英語英文学科	4	80	3年次 5	420	学士 (文学)	0.81	昭和36年度	京都府京都市左京区 下鴨南野々神町1番地	平成29年度より入 学定員変更110→80
人間文化学科	4	50	-	230	学士 (人間文 化)	0.71	平成12年度	同上	平成29年度より入 学定員変更60→50
生活福祉文化学部									
生活福祉文化学科	4	-	-	-	学士 (生活福祉 文化)	-	平成19年度	同上	平成29年度より学 生募集停止
心理学部									
心理学科	4	-	-	-	学士 (心理)	-	平成17年度	同上	平成29年度より学 生募集停止
現代心理専攻	4	-	-	-		-		同上	
学校心理専攻	4	-	-	-		-		同上	
臨床心理専攻	4	-	-	-		-		同上	
現代人間学部									
福祉生活デザイン学科	4	70	-	280	学士 (福祉生活 デザイン)	0.56	平成29年度	同上	
心理学科	4	100	-	400	学士 (心理学)	0.61	平成29年度	同上	
こども教育学科	4	70	-	280	学士 (こども教 育)	0.79	平成29年度	同上	
大学 の 名 称	京都ノートルダム女子大学大学院								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
(修士課程) 人間文化研究科									
応用英語専攻	2	8	-	16	修士 (応用英 語)	0.18	平成14年度	京都府京都市左京区 下鴨南野々神町1番地	
生活福祉文化専攻	2	6	-	12	修士 (生活福祉 文化)	0.08	平成16年度	同上	
人間文化専攻	2	3	-	6	修士 (人間文 化)	0.00	平成17年度	同上	

(博士前期課程)									
心理学研究科									
発達・学校心理学専攻	2	5	-	13	修士 (心理)	0.22	平成17年度	同上	平成30年度より入学定員変更8→5
臨床心理学専攻	2	10	-	17	修士 (心理)	0.97	平成17年度	同上	平成30年度より入学定員変更7→10
(博士後期課程)									
心理学研究科									
心理学専攻	3	4	-	12	博士 (心理)	0.00	平成17年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<現代人間学部 福祉生活デザイン学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【平成29年度】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授	牛田 好美 (57) <平成29年4月> こどもと子育ての生活環境学※ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅰ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅱ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅲ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅳ 福祉生活デザイン概論 衣生活概論 アパレルデザイン 衣生活情報論 服飾心理学 アパレル造形学(実習を含む) アパレルデザイン演習Ⅰ アパレルデザイン演習Ⅱ 福祉生活デザイン特論 卒業研究	専	教授	牛田 好美 (58) <平成29年4月> こどもと子育ての生活環境学※ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅰ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅱ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅲ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅳ 福祉生活デザイン概論 衣生活概論 アパレルデザイン 衣生活情報論 服飾心理学 アパレル造形学(実習を含む) アパレルデザイン演習Ⅰ アパレルデザイン演習Ⅱ 福祉生活デザイン特論 卒業研究	専	教授	牛田 好美 (59) <平成29年4月> こどもと子育ての生活環境学※ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅰ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅱ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅲ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅳ 福祉生活デザイン概論 衣生活概論 アパレルデザイン 衣生活情報論 服飾心理学 アパレル造形学(実習を含む) アパレルデザイン演習Ⅰ アパレルデザイン演習Ⅱ 福祉生活デザイン特論 卒業研究
専	教授	加藤 佐千子 (59) <平成29年4月> 現代社会と高齢者※ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅰ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅱ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅲ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅳ 福祉生活デザイン概論 食生活概論 食品加工学(実験を含む) 食品官能評価論 食品官能評価演習(実験を含む) 家庭科教育法Ⅰ(生活の自立と衣食住) 家庭科教育法Ⅱ(家族・家庭生活と福祉) 家庭科教育法Ⅲ(指導法と教材作成) 家庭科教育法Ⅳ(模擬授業) 福祉生活デザイン特論 卒業研究 中等教育実習事前事後指導※ 中等教育実習Ⅰ 中等教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高)	専	教授	加藤 佐千子 (59) <平成29年4月> 現代社会と高齢者※ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅰ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅱ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅲ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅳ 福祉生活デザイン概論 食生活概論 食品加工学(実験を含む) 食品官能評価論 食品官能評価演習(実験を含む) 家庭科教育法Ⅰ(生活の自立と衣食住) 家庭科教育法Ⅱ(家族・家庭生活と福祉) 家庭科教育法Ⅲ(指導法と教材作成) 家庭科教育法Ⅳ(模擬授業) 福祉生活デザイン特論 卒業研究 中等教育実習事前事後指導※ 中等教育実習Ⅰ 中等教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高)	専	教授	加藤 佐千子 (60) <平成29年4月> 現代社会と高齢者※ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅰ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅱ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅲ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅳ 福祉生活デザイン概論 食生活概論 食品加工学(実験を含む) 食品官能評価論 食品官能評価演習(実験を含む) 家庭科教育法Ⅰ(生活の自立と衣食住) 家庭科教育法Ⅱ(家族・家庭生活と福祉) 家庭科教育法Ⅲ(指導法と教材作成) 家庭科教育法Ⅳ(模擬授業) 福祉生活デザイン特論 卒業研究 中等教育実習事前事後指導※ 中等教育実習Ⅰ 中等教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高)
専	教授	小池 桂 (49) <平成29年4月> 福祉生活デザイン基礎演習Ⅰ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅱ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅲ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅳ 福祉生活デザイン概論 ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク現場実習 福祉生活デザイン特論 卒業研究	専	教授	小池 桂 (49) <平成29年4月> 福祉生活デザイン基礎演習Ⅰ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅱ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅲ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅳ 福祉生活デザイン概論 ソーシャルワーク実習指導Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク現場実習 福祉生活デザイン特論 卒業研究			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専	教授	竹原 広実 (52) <平成29年4月>	竹原 広実 (53) <平成29年4月>	竹原 広実 (54) <平成29年4月>
		こどもと子育ての生活環境学※ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅰ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅱ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅲ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅳ 福祉生活デザイン概論 住環境学 インテリア装備学 福祉住環境デザイン 住居製図Ⅰ 建築材料学 建築法規※ 福祉生活デザイン特論 卒業研究	こどもと子育ての生活環境学※ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅰ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅱ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅲ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅳ 福祉生活デザイン概論 住環境学 インテリア装備学 福祉住環境デザイン 住居製図Ⅰ 建築材料学 建築法規※ 福祉生活デザイン特論 卒業研究	こどもと子育ての生活環境学※ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅰ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅱ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅲ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅳ 福祉生活デザイン概論 住環境学 インテリア装備学 福祉住環境デザイン 住居製図Ⅰ 建築材料学 建築法規※ 福祉生活デザイン特論 卒業研究
専	教授	中村 久美 (57) <平成29年4月>	中村 久美 (58) <平成29年4月>	中村 久美 (59) <平成29年4月>
		こどもと子育ての生活環境学※ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅰ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅱ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅲ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅳ 福祉生活デザイン概論 住居学概論 建築一般構造 住生活学 住居史 住居製図Ⅱ 建築法規※ 福祉生活デザイン特論 卒業研究	こどもと子育ての生活環境学※ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅰ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅱ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅲ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅳ 福祉生活デザイン概論 住居学概論 建築一般構造 住生活学 住居史 住居製図Ⅱ 建築法規※ 福祉生活デザイン特論 卒業研究	こどもと子育ての生活環境学※ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅰ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅱ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅲ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅳ 福祉生活デザイン概論 住居学概論 建築一般構造 住生活学 住居史 住居製図Ⅱ 建築法規※ 福祉生活デザイン特論 卒業研究
専	教授	藤原 智子 (54) <平成29年4月>	藤原 智子 (55) <平成29年4月>	藤原 智子 (56) <平成29年4月>
		こどもと子育ての生活環境学※ 海外研修(生活と社会) 福祉生活デザイン基礎演習Ⅰ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅱ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅲ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅳ 福祉生活デザイン概論 食品学 調理学 調理学実習 発展調理学実習 フードコーディネータ論 福祉生活デザイン特論 卒業研究	こどもと子育ての生活環境学※ 海外研修(生活と社会) 福祉生活デザイン基礎演習Ⅰ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅱ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅲ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅳ 福祉生活デザイン概論 食品学 調理学 調理学実習 発展調理学実習 フードコーディネータ論 福祉生活デザイン特論 卒業研究	こどもと子育ての生活環境学※ 海外研修(生活と社会) 福祉生活デザイン基礎演習Ⅰ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅱ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅲ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅳ 福祉生活デザイン概論 食品学 調理学 調理学実習 発展調理学実習 フードコーディネータ論 福祉生活デザイン特論 卒業研究
専	教授	三好 明夫 (58) <平成29年4月>	三好 明夫 (59) <平成29年4月>	三好 明夫 (60) <平成29年4月>
		現代社会と病者・障がい者※ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅰ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅱ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅲ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅳ 福祉生活デザイン概論 老人福祉論 介護概論 ソーシャルワーク論Ⅴ ソーシャルワーク演習Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク現場実習 社会福祉特講Ⅰ 福祉生活デザイン特論 卒業研究	現代社会と病者・障がい者※ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅰ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅱ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅲ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅳ 福祉生活デザイン概論 老人福祉論 介護概論 介護技術 レクリエーション論 ソーシャルワーク論Ⅴ ソーシャルワーク演習Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク現場実習 社会福祉特講Ⅰ 福祉生活デザイン特論 卒業研究	現代社会と病者・障がい者※ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅰ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅱ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅲ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅳ 福祉生活デザイン概論 老人福祉論 介護概論 介護技術 レクリエーション論 社会福祉運営論 ソーシャルワーク論Ⅴ ソーシャルワーク演習Ⅰ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク現場実習 社会福祉特講Ⅰ 福祉生活デザイン特論 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	桐野 由美子 (65) <平成29年10月>	専	教授	桐野 由美子 (66) <平成29年10月>	専	教授	桐野 由美子 (67) <平成29年10月>
		ソーシャルワーク論 I ソーシャルワーク論 II ソーシャルワーク論 III ソーシャルワーク論 IV ソーシャルワーク論 VI			ソーシャルワーク論 I ソーシャルワーク論 II ソーシャルワーク論 III ソーシャルワーク論 IV ソーシャルワーク論 VI			ソーシャルワーク論 I ソーシャルワーク論 II ソーシャルワーク論 III ソーシャルワーク論 IV ソーシャルワーク論 VI
専	教授	小西 加保留 (66) <平成30年10月>	専	教授	小西 加保留 (67) <平成30年10月>	専	教授	小西 加保留 (68) <平成30年10月>
		医療ソーシャルワーク論 保健医療サービス ターミナルケア論 医療ソーシャルワーク演習 I 医療ソーシャルワーク演習 II ソーシャルワーク実習指導 III ソーシャルワーク現場実習			医療ソーシャルワーク論 保健医療サービス ターミナルケア論 医療ソーシャルワーク演習 I 医療ソーシャルワーク演習 II ソーシャルワーク実習指導 III ソーシャルワーク現場実習			医療ソーシャルワーク論 保健医療サービス ターミナルケア論 医療ソーシャルワーク演習 I 医療ソーシャルワーク演習 II ソーシャルワーク実習指導 III ソーシャルワーク現場実習 医療ソーシャルワーク現場実習
			専	教授	室田 保夫 (68) <平成29年4月>	専	教授	室田 保夫 (69) <平成29年4月>
					現代社会と福祉 I 現代社会と福祉 II			現代社会と福祉 I 現代社会と福祉 II 福祉生活デザイン概論
						専	教授	柴田 周二 (69) <平成30年4月>
					社会保障論 I 社会保障論 II 公的扶助論			
専	准教授	酒井 久美子 (54) <平成29年4月>	専	准教授	酒井 久美子 (54) <平成29年4月>	専	准教授	酒井 久美子 (55) <平成29年4月>
		海外研修(生活と社会) 現代社会と病者・障がい者※ 福祉生活デザイン基礎演習 I 福祉生活デザイン基礎演習 II 福祉生活デザイン基礎演習 III 福祉生活デザイン基礎演習 IV 福祉生活デザイン概論 地域福祉論 I 地域福祉論 II 福祉コミュニティの実践 ソーシャルワーク演習 III ソーシャルワーク実習指導 I ソーシャルワーク実習指導 III ソーシャルワーク現場実習 福祉生活デザイン特論 卒業研究			海外研修(生活と社会) 現代社会と病者・障がい者※ 福祉生活デザイン基礎演習 I 福祉生活デザイン基礎演習 II 福祉生活デザイン基礎演習 III 福祉生活デザイン基礎演習 IV 福祉生活デザイン概論 地域福祉論 I 地域福祉論 II 福祉コミュニティの実践 ソーシャルワーク演習 III ソーシャルワーク実習指導 I ソーシャルワーク実習指導 III ソーシャルワーク現場実習 福祉生活デザイン特論 卒業研究			海外研修(生活と社会) 現代社会と病者・障がい者※ 福祉生活デザイン基礎演習 I 福祉生活デザイン基礎演習 II 福祉生活デザイン基礎演習 III 福祉生活デザイン基礎演習 IV 福祉生活デザイン概論 地域福祉論 I 地域福祉論 II 福祉コミュニティの実践 ソーシャルワーク演習 III ソーシャルワーク実習指導 I ソーシャルワーク実習指導 III ソーシャルワーク現場実習 福祉生活デザイン特論 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専任	准教授	佐藤 純 (52) <平成29年4月>	佐藤 純 (53) <平成29年4月>	佐藤 純 (54) <平成29年4月>
		福祉生活デザイン基礎演習Ⅰ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅱ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅲ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅳ 福祉生活デザイン概論 精神保健学Ⅰ 精神保健学Ⅱ 精神保健福祉論Ⅰ 精神保健福祉論Ⅱ 精神保健福祉論Ⅲ 精神保健福祉相談援助の基盤(基礎) 精神保健福祉相談援助の基盤(専門) 精神保健福祉援助演習(基礎) 精神保健福祉援助演習(専門)Ⅰ 精神保健福祉援助演習(専門)Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導 精神保健福祉援助実習Ⅰ 精神保健福祉援助実習Ⅱ 精神保健福祉援助実習Ⅲ 社会福祉特講Ⅱ 福祉生活デザイン特論 卒業研究	福祉生活デザイン基礎演習Ⅰ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅱ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅲ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅳ 福祉生活デザイン概論 精神保健学Ⅰ 精神保健学Ⅱ 精神保健福祉論Ⅰ 精神保健福祉論Ⅱ 精神保健福祉論Ⅲ 精神保健福祉相談援助の基盤(基礎) 精神保健福祉相談援助の基盤(専門) 精神保健福祉援助演習(基礎) 精神保健福祉援助演習(専門)Ⅰ 精神保健福祉援助演習(専門)Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導 精神保健福祉援助実習Ⅰ 精神保健福祉援助実習Ⅱ 精神保健福祉援助実習Ⅲ 社会福祉特講Ⅱ 福祉生活デザイン特論 卒業研究	福祉生活デザイン基礎演習Ⅰ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅱ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅲ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅳ 福祉生活デザイン概論 精神保健学Ⅰ 精神保健学Ⅱ 精神保健福祉論Ⅰ 精神保健福祉論Ⅱ 精神保健福祉論Ⅲ 精神保健福祉相談援助の基盤(基礎) 精神保健福祉相談援助の基盤(専門) 精神保健福祉援助演習(基礎) 精神保健福祉援助演習(専門)Ⅰ 精神保健福祉援助演習(専門)Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導 精神保健福祉援助実習Ⅰ 精神保健福祉援助実習Ⅱ 精神保健福祉援助実習Ⅲ 社会福祉特講Ⅱ 福祉生活デザイン特論 卒業研究
専任	講師	矢島 雅子 (38) <平成29年4月>	矢島 雅子 (39) <平成29年4月>	矢島 雅子 (40) <平成29年4月>
		福祉生活デザイン基礎演習Ⅰ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅱ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅲ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅳ 福祉生活デザイン概論 障害者福祉論 ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク現場実習 福祉生活デザイン特論 卒業研究 介護等体験	福祉生活デザイン基礎演習Ⅰ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅱ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅲ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅳ 福祉生活デザイン概論 障害者福祉論 ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク現場実習 福祉生活デザイン特論 卒業研究 介護等体験	福祉生活デザイン基礎演習Ⅰ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅱ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅲ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅳ 福祉生活デザイン概論 障害者福祉論 ソーシャルワーク演習Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅱ ソーシャルワーク実習指導Ⅲ ソーシャルワーク現場実習 福祉生活デザイン特論 卒業研究 介護等体験
専任	講師	青木(高柴)加奈子 (38) <平成29年4月>	青木(高柴)加奈子 (39) <平成29年4月>	青木(高柴)加奈子 (40) <平成29年4月>
		女性とライフキャリア 現代社会と女性・家族※ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅰ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅱ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅲ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅳ 福祉生活デザイン概論 現代社会と家庭経営 家族関係 家族社会学 福祉生活デザイン特論 卒業研究	女性とライフキャリア 現代社会と女性・家族※ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅰ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅱ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅲ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅳ 福祉生活デザイン概論 現代社会と家庭経営 家族関係 家族社会学 福祉生活デザイン特論 卒業研究	女性とライフキャリア 現代社会と女性・家族※ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅰ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅱ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅲ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅳ 福祉生活デザイン概論 現代社会と家庭経営 家族関係 家族社会学 福祉生活デザイン特論 卒業研究
専任	講師	安川 涼子 (40) <平成29年4月>	安川 涼子 (40) <平成29年4月>	安川 涼子 (41) <平成29年4月>
		福祉生活デザイン基礎演習Ⅰ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅱ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅲ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅳ 福祉生活デザイン概論 衣生活材料学 繊維材料学 染色加工学 衣生活実験Ⅰ 衣生活実験Ⅱ 福祉生活デザイン特論 卒業研究	福祉生活デザイン基礎演習Ⅰ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅱ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅲ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅳ 福祉生活デザイン概論 衣生活材料学 繊維材料学 染色加工学 衣生活実験Ⅰ 衣生活実験Ⅱ 福祉生活デザイン特論 卒業研究	福祉生活デザイン基礎演習Ⅰ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅱ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅲ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅳ 福祉生活デザイン概論 衣生活材料学 繊維材料学 染色加工学 衣生活実験Ⅰ 衣生活実験Ⅱ 福祉生活デザイン特論 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
兼任	教授	伊藤 一美 (48) <平成29年4月>	伊藤 一美 (49) <平成29年4月>	伊藤 一美 (50) <平成29年4月>
		現代社会と高齢者※ 病児の発達と支援※	現代社会と高齢者※ 病児の発達と支援※	現代社会と高齢者※ 病児の発達と支援※
兼任	教授	岩崎(馬詰)れい (49) <平成29年4月>	岩崎(馬詰)れい (49) <平成29年4月>	岩崎(馬詰)れい (50) <平成29年4月>
		子育てとワークライフ バランス 病児の発達と支援※	子育てとワークライフ バランス 病児の発達と支援※	子育てとワークライフ バランス 病児の発達と支援※
兼任	教授	河瀬 雅紀 (57) <平成29年4月>	河瀬 雅紀 (58) <平成29年4月>	河瀬 雅紀 (59) <平成29年4月>
		身近な医学※ 現代社会と病者・障 がい者※ 病児の発達と支援※ 精神医学Ⅰ 精神医学Ⅱ 精神保健福祉援助演 習(基礎) 精神保健福祉援助演 習(専門)Ⅰ 精神保健福祉援助演 習(専門)Ⅱ	身近な医学※ 現代社会と病者・障 がい者※ 病児の発達と支援※ 精神医学Ⅰ 精神医学Ⅱ 精神保健福祉援助演 習(基礎) 精神保健福祉援助演 習(専門)Ⅰ 精神保健福祉援助演 習(専門)Ⅱ	身近な医学※ 現代社会と病者・障 がい者※ 病児の発達と支援※ 精神医学Ⅰ 精神医学Ⅱ 精神保健福祉援助演 習(基礎) 精神保健福祉援助演 習(専門)Ⅰ 精神保健福祉援助演 習(専門)Ⅱ
兼任	教授	工藤 哲夫 (59) <平成29年4月>	工藤 哲夫 (59) <平成29年4月>	
		現代社会とこども※	現代社会とこども※	
兼任	教授	朱(佐藤) 鳳 (54) <平成29年4月>	朱(佐藤) 鳳 (54) <平成29年4月>	朱(佐藤) 鳳 (55) <平成29年4月>
		中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 海外研修(語学)Ⅰ	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 海外研修(語学)Ⅰ	中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 海外研修(語学)Ⅰ
兼任	教授	須川 いずみ (61) <平成29年4月>	須川 いずみ (62) <平成29年4月>	
		海外研修(語学)Ⅱa 海外研修(語学)Ⅱb	海外研修(語学)Ⅱa 海外研修(語学)Ⅱb	
兼任	教授	鷺見 朗子 (53) <平成29年10月>	鷺見 朗子 (54) <平成29年10月>	鷺見 朗子 (55) <平成29年10月>
		外国文学 アラビア語	外国文学 アラビア語	外国文学 アラビア語
兼任	教授	高井 直美 (58) <平成29年4月>	高井 直美 (58) <平成29年4月>	高井 直美 (59) <平成29年4月>
		身近な心理学 こどもと自然 現代社会とこども※	身近な心理学 こどもと自然 現代社会とこども※	身近な心理学 こどもと自然 現代社会とこども※
兼任	教授	萩原 暢子 (62) <平成29年4月>	萩原 暢子 (63) <平成29年4月>	萩原 暢子 (64) <平成29年4月>
		身近な医学※ 病児の発達と支援※ 保育学(実習および 家庭看護含む) 医学一般	身近な医学※ 病児の発達と支援※ 保育学(実習および 家庭看護含む) 医学一般	身近な医学※ 病児の発達と支援※ 保育学(実習および 家庭看護含む) 医学一般
兼任	教授	廣瀬 直哉 (50) <平成29年10月>	廣瀬 直哉 (50) <平成29年10月>	
		暮らしの統計学	暮らしの統計学	
兼任	教授	向山 泰代 (54) <平成29年4月>	向山 泰代 (54) <平成29年4月>	向山 泰代 (55) <平成29年4月>
		現代社会と女性・家 族※	現代社会と女性・家 族※	現代社会と女性・家 族※
兼任	教授	吉田 智子 (54) <平成29年4月>	吉田 智子 (55) <平成29年4月>	吉田 智子 (56) <平成30年4月>
		情報科学入門 情報演習Ⅰ 情報演習Ⅱ 情報処理	情報科学入門 情報演習Ⅰ 情報演習Ⅱ 情報処理	情報科学入門 情報演習Ⅰ 情報演習Ⅱ 情報処理 キャリア形成ゼミ 海外インターンシッ プ ノートルダム学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
兼任	准教授	石井 浩子 (46) <平成29年4月>	石井 浩子 (47) <平成29年4月>	石井 浩子 (48) <平成29年4月>
		病児の発達と支援※	病児の発達と支援※	病児の発達と支援※
兼任	准教授	植田 恵理子 (55) <平成29年4月>	植田 恵理子 (56) <平成29年4月>	植田 恵理子 (57) <平成29年4月>
		病児の発達と支援※	病児の発達と支援※	病児の発達と支援※
兼任	准教授	江川 正一 (61) <平成29年4月>	江川 正一 (62) <平成29年4月>	江川 正一 (63) <平成29年4月>
		現代社会と病者・障がい者※ 病児の発達と支援※	現代社会と病者・障がい者※ 病児の発達と支援※	現代社会と病者・障がい者※ 病児の発達と支援※
兼任	准教授	太田 容次 (52) <平成29年4月>	太田 容次 (53) <平成29年4月>	太田 容次 (54) <平成29年4月>
		病児の発達と支援※ 介護等体験	病児の発達と支援※ 介護等体験	病児の発達と支援※ 介護等体験
兼任	准教授	小川 博士 (35) <平成29年4月>	小川 博士 (35) <平成29年4月>	小川 博士 (36) <平成29年4月>
		身近な自然科学 こどもと自然	身近な自然科学 こどもと自然	身近な自然科学 こどもと自然
兼任	准教授	久野 将健 (51) <平成29年4月>	久野 将健 (51) <平成29年4月>	久野 将健 (52) <平成29年4月>
		キリスト教音楽入門 キリスト教音楽	キリスト教音楽入門 キリスト教音楽	キリスト教音楽入門 キリスト教音楽
兼任	准教授	神月 紀輔 (51) <平成31年4月>	神月 紀輔 (52) <平成31年4月>	神月 紀輔 (53) <平成31年4月>
		情報科学	情報科学	情報科学
兼任	准教授	藤田 未央 (46) <平成29年4月>	藤田 未央 (46) <平成29年4月>	藤田 未央 (47) <平成29年4月>
		こどもと自然 病児の発達と支援※ 精神保健福祉援助実習指導 精神保健福祉援助実習Ⅰ 精神保健福祉援助実習Ⅱ 精神保健福祉援助実習Ⅲ	こどもと自然 病児の発達と支援※ 精神保健福祉援助実習指導 精神保健福祉援助実習Ⅰ 精神保健福祉援助実習Ⅱ 精神保健福祉援助実習Ⅲ	こどもと自然 病児の発達と支援※ 精神保健福祉援助実習指導 精神保健福祉援助実習Ⅰ 精神保健福祉援助実習Ⅱ 精神保健福祉援助実習Ⅲ
兼任	准教授	東郷 多津 (53) <平成29年4月>	東郷 多津 (53) <平成29年4月>	東郷 多津 (54) <平成29年4月>
		英語総合Ⅰ 英語総合Ⅱ	英語総合Ⅰ 英語総合Ⅱ	英語総合Ⅰ 英語総合Ⅱ 海外研修(語学)Ⅱa 海外研修(語学)Ⅱb
		英語リスニング初級 英語リスニング中級 インターンシップ 教育の方法及び技術 教職実践演習(中・高)	英語リスニング初級 英語リスニング中級 インターンシップ 教育の方法及び技術 教職実践演習(中・高)	英語リスニング初級 英語リスニング中級 インターンシップ 教育の方法及び技術 教職実践演習(中・高)
兼任	准教授	長沼 光彦 (53) <平成29年4月>	長沼 光彦 (54) <平成29年4月>	長沼 光彦 (55) <平成29年4月>
		日本文学 ホスピタリティ京都	日本文学 ホスピタリティ京都	ホスピタリティ京都
兼任	准教授	畠山 寛 (44) <平成29年4月>	畠山 寛 (45) <平成29年4月>	畠山 寛 (46) <平成29年4月>
		病児の発達と支援※ 発達と学習の教育心理	病児の発達と支援※ 発達と学習の教育心理	病児の発達と支援※ 発達と学習の教育心理
兼任	准教授	平野 美保 (49) <平成30年4月>	平野 美保 (50) <平成30年4月>	
		キャリア形成 キャリア形成ゼミ	キャリア形成 キャリア形成ゼミ	
兼任	准教授	藤本(下村)陽三 (62) <平成29年4月>	藤本(下村)陽三 (63) <平成29年4月>	藤本(下村)陽三 (64) <平成29年4月>
		こどもと自然	こどもと自然	こどもと自然
兼任	准教授	河佐 英俊 (63) <平成30年4月>		河佐 英俊 (63) <平成30年4月>
		生徒指導・進路指導 の理論及び方法※		生徒指導・進路指導 の理論及び方法※
兼任	准教授	久野 将健 (52) <平成29年4月>		久野 将健 (52) <平成29年4月>
		キリスト教音楽入門 キリスト教音楽		キリスト教音楽入門 キリスト教音楽
兼任	教授	神月 紀輔 (53) <平成31年4月>		神月 紀輔 (53) <平成31年4月>
		情報科学		情報科学
兼任	准教授	藤田 未央 (47) <平成29年4月>		藤田 未央 (47) <平成29年4月>
		こどもと自然 病児の発達と支援※ 精神保健福祉援助実習指導 精神保健福祉援助実習Ⅰ 精神保健福祉援助実習Ⅱ 精神保健福祉援助実習Ⅲ		こどもと自然 病児の発達と支援※ 精神保健福祉援助実習指導 精神保健福祉援助実習Ⅰ 精神保健福祉援助実習Ⅱ 精神保健福祉援助実習Ⅲ
兼任	准教授	東郷 多津 (54) <平成29年4月>		東郷 多津 (54) <平成29年4月>
		英語総合Ⅰ 英語総合Ⅱ 海外研修(語学)Ⅱa 海外研修(語学)Ⅱb		英語総合Ⅰ 英語総合Ⅱ 海外研修(語学)Ⅱa 海外研修(語学)Ⅱb
		英語リスニング初級 英語リスニング中級 インターンシップ 教育の方法及び技術 教職実践演習(中・高)		英語リスニング初級 英語リスニング中級 インターンシップ 教育の方法及び技術 教職実践演習(中・高)
兼任	教授	長沼 光彦 (55) <平成29年4月>		長沼 光彦 (55) <平成29年4月>
		日本文学 ホスピタリティ京都		ホスピタリティ京都
兼任	講師	武田 悠希 (32) <平成30年4月>		武田 悠希 (32) <平成30年4月>
		日本文学		日本文学
兼任	准教授	畠山 寛 (46) <平成29年4月>		畠山 寛 (46) <平成29年4月>
		病児の発達と支援※ 発達と学習の教育心理		病児の発達と支援※ 発達と学習の教育心理
兼任	准教授	平野 美保 (50) <平成30年4月>		平野 美保 (50) <平成30年4月>
		キャリア形成 キャリア形成ゼミ		キャリア形成 キャリア形成ゼミ
兼任	准教授	藤本(下村)陽三 (63) <平成29年4月>		藤本(下村)陽三 (64) <平成29年4月>
		こどもと自然		こどもと自然
兼任	准教授	荒尾 千春 (51) <平成30年4月>		荒尾 千春 (51) <平成30年4月>
		キャリア形成		キャリア形成
兼任	准教授	藤本(下村)陽三 (64) <平成29年4月>		藤本(下村)陽三 (64) <平成29年4月>
		こどもと自然		こどもと自然

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	吉田(小野澤)朋子 (45) <平成30年10月>	兼任	准教授	吉田(小野澤)朋子 (45) <平成30年10月>	兼任	准教授	吉田 朋子 (46) <平成30年10月>
		キリスト教美術			キリスト教美術			キリスト教美術
兼任	講師	辻 敦子 (41) <平成29年10月>	兼任	講師	辻 敦子 (42) <平成29年10月>	兼任	講師	辻 敦子 (43) <平成29年10月>
		教師論 教育学 道徳の指導法(中等) 中等教育実習事前事後指導※ 中等教育実習Ⅰ 中等教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高)			教師論 教育原論 道徳の指導法(中等) 中等教育実習事前事後指導※ 中等教育実習Ⅰ 中等教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高)			教師論 教育原論 道徳の指導法(中等) 中等教育実習事前事後指導※ 中等教育実習Ⅰ 中等教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高)
兼任	講師	中里 郁子 (52) <平成29年4月>	兼任	講師	中里 郁子 (52) <平成29年4月>	兼任	准教授	中里 郁子 (53) <平成29年4月>
		キリスト教入門 聖書と文化			キリスト教入門 聖書と文化			キリスト教入門 聖書と文化
兼任	講師	York Weatherford (49) <平成30年4月>	兼任	講師	York Weatherford (50) <平成30年4月>	兼任	講師	York Weatherford (51) <平成30年4月>
		読むための英語 アカデミック英語			読むための英語 アカデミック英語			読むための英語 海外研修(語学)Ⅱa 海外研修(語学)Ⅱb 読むための英語 アカデミック英語
兼任	助教	住本 純 (33) <平成29年4月>	兼任	助教	住本 純 (34) <平成29年4月>	兼任	講師	住本 純 (35) <平成29年4月>
		体育講義 健康スポーツ演習			体育講義 健康スポーツ演習			体育講義 健康スポーツ演習
兼任	講師	青木 三陽 (40) <平成29年4月>	兼任	講師	青木 三陽 (41) <平成29年4月>	兼任	講師	青木 三陽 (42) <平成29年4月>
		ドイツ語			ドイツ語			ドイツ語
兼任	講師	池島 徳大 (65) <平成30年4月>	兼任	講師	池島 徳大 (65) <平成30年4月>	兼任	講師	池島 徳大 (66) <平成30年4月>
		生徒指導・進路指導の理論及び方法			生徒指導・進路指導の理論及び方法			生徒指導・進路指導の理論及び方法※
兼任	講師	石川 真美 (56) <平成29年4月>	兼任	講師	石川 真美 (57) <平成29年4月>	兼任	講師	石川 真美 (58) <平成29年4月>
		英語基礎Ⅰ 英語基礎Ⅱ			英語基礎Ⅰ 英語基礎Ⅱ			英語基礎Ⅰ 英語基礎Ⅱ
兼任	講師	伊藤 薫 (28) <平成29年4月>						
		英語基礎Ⅰ 英語基礎Ⅱ						
兼任	講師	伊藤 泰子 (51) <平成30年4月>	兼任	講師	伊藤 泰子 (51) <平成30年4月>	兼任	講師	伊藤 泰子 (52) <平成30年4月>
		情報処理			情報処理			情報処理
兼任	講師	稲垣 顕子 (63) <平成29年4月>	兼任	講師	稲垣 顕子 (63) <平成29年4月>	兼任	講師	稲垣 顕子 (64) <平成29年4月>
		日本語講読Ⅰ 日本語講読Ⅱ			日本語講読Ⅰ 日本語講読Ⅱ			日本語講読Ⅰ 日本語講読Ⅱ
兼任	講師	今井 里佳 (35) <平成30年4月>	兼任	講師	今井 里佳 (36) <平成30年4月>			
		フーズベシヤリスト論			フーズベシヤリスト論			
兼任	講師	伊村 大樹 (42) <平成29年4月>	兼任	講師	伊村 大樹 (42) <平成29年4月>	兼任	講師	伊村 大樹 (43) <平成29年4月>
		英語基礎Ⅰ 英語基礎Ⅱ			英語基礎Ⅰ 英語基礎Ⅱ			英語基礎Ⅰ 英語基礎Ⅱ 実用英語基礎 身近な英文法
兼任	講師	岩田 真理子 (62) <平成29年4月>	兼任	講師	岩田 真理子 (62) <平成29年4月>	兼任	講師	岩田 真理子 (63) <平成29年4月>
		ホスピタリティ入門			ホスピタリティ入門			ホスピタリティ入門
兼任	講師	翁 和美 (47) <平成29年10月>	兼任	講師	翁 和美 (47) <平成29年4月>	兼任	講師	翁 和美 (48) <平成29年4月>
		社会学概論			社会学概論			社会学概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	王 嵐 (60) <平成29年4月>
		中国語 I
兼任	講師	大畑 好司 (65) <平成31年4月>
		更生保護制度
兼任	講師	越智 淳子 (47) <平成30年10月>
		リハビリテーション論
兼任	講師	小都 晶子 (41) <平成29年4月>
		東アジア近現代史
兼任	講師	郭 南燕 (53) <平成30年10月>
		キリスト教と日本文化※
兼任	講師	梶山(十河)玉香 (50) <平成29年4月>
		暮らしの法律学
兼任	講師	片山 裕 (67) <平成29年4月>
		国際関係論入門 ノートルダム学 海外インターンシップ
兼任	講師	金 美仙 (52) <平成29年4月>
		コリア語 I コリア語 II コリア語 III
兼任	講師	岸 研一 (45) <平成31年4月>
		住計画演習 I 住計画演習 II 建築施工
兼任	講師	工藤 春代 (40) <平成30年10月>
		消費者教育 食品流通論
兼任	講師	久保 圭 (32) <平成29年4月>
		文章表現法
兼任	講師	黒田 一平 (29) <平成29年10月>
		英語総合 I 英語総合 II
兼任	講師	小島 秀信 (38) <平成29年10月>
		暮らしの経済学
兼任	講師	小林 ゆき子 (44) <平成30年4月>
		栄養学
兼任	講師	柴 礼敏 (62) <平成29年4月>
		中国語 I

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	王 嵐 (61) <平成29年4月>
		中国語 I
兼任	講師	大畑 好司 (66) <平成31年4月>
		更生保護制度
兼任	講師	越智 淳子 (48) <平成30年10月>
		リハビリテーション論
兼任	講師	小都 晶子 (41) <平成29年4月>
		東アジア近現代史
兼任	講師	郭 南燕 (54) <平成30年10月>
		キリスト教と日本文化※
兼任	講師	梶山(十河)玉香 (51) <平成29年4月>
		暮らしの法律学
兼任	講師	片山 裕 (67) <平成29年4月>
		国際関係論入門 ノートルダム学 海外インターンシップ
兼任	講師	金 美仙 (52) <平成29年4月>
		コリア語 I コリア語 II コリア語 III
兼任	講師	岸 研一 (45) <平成31年4月>
		住計画演習 I 住計画演習 II 建築施工
兼任	講師	工藤 春代 (41) <平成30年10月>
		消費者教育 食品流通論
兼任	講師	久保 圭 (33) <平成29年4月>
		文章表現法
兼任	講師	黒田 一平 (29) <平成29年10月>
		英語総合 I 英語総合 II 英語基礎 I 英語基礎 II
兼任	講師	小島 秀信 (39) <平成29年10月>
		暮らしの経済学
兼任	講師	小林 ゆき子 (45) <平成30年4月>
		栄養学
兼任	講師	柴 礼敏 (62) <平成29年4月>
		中国語 I
兼任	講師	陶 盈 (37) <平成29年4月>
		中国語 I

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	王 嵐 (62) <平成29年4月>
		中国語 I
兼任	講師	大畑 好司 (67) <平成31年4月>
		更生保護制度
兼任	講師	越智 淳子 (49) <平成30年10月>
		リハビリテーション論
兼任	講師	根岸 智代 (54) <平成30年4月>
		東アジア近現代史
兼任	講師	郭 南燕 (55) <平成30年10月>
		キリスト教と日本文化※
兼任	講師	梶山(十河)玉香 (52) <平成29年4月>
		暮らしの法律学
兼任	講師	片山 裕 (68) <平成30年4月>
		国際関係論入門
兼任	講師	金 美仙 (53) <平成29年4月>
		コリア語 I コリア語 II コリア語 III
兼任	講師	岸 研一 (46) <平成31年4月>
		住計画演習 I 住計画演習 II 建築施工
兼任	講師	鬼頭 弥生 (35) <平成30年10月>
		消費者教育 食品流通論
兼任	講師	久保 圭 (34) <平成29年4月>
		文章表現法
兼任	講師	黒田 一平 (30) <平成29年10月>
		英語総合 I 英語総合 II 英語基礎 I 英語基礎 II
兼任	講師	百木 漢 (35) <平成30年10月>
		暮らしの経済学
兼任	講師	小林 ゆき子 (46) <平成30年4月>
		栄養学
兼任	講師	柴 礼敏 (62) <平成29年4月>
		中国語 I
兼任	講師	陶 盈 (38) <平成29年4月>
		中国語 I

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	坂本 優一郎 (45) <平成29年10月> ヨーロッパ近現代史
兼任	講師	笹岡 隆甫 (41) <平成30年4月> ホスピタリティ京都
兼任	講師	杉山 生 (54) <平成30年10月> 食品安全性学
兼任	講師	須藤 英幸 (49) <平成30年4月> キリスト教思想
兼任	講師	高岸 雅子 (58) <平成29年4月> 日本語表現 I 日本語表現 II
兼任	講師	竹内 正明 (43) <平成31年4月> デザイン論 I デザイン論 II
兼任	講師	橋 健一 (51) <平成29年10月> 文化人類学
兼任	講師	田中 貴子 (61) <平成30年4月> 日本語特講 I
兼任	講師	田中 敏彦 (63) <平成29年10月> フランス語
兼任	講師	田中 美和子 (54) <平成29年4月> 英語総合 I 英語総合 II 実用英語基礎 身近な英文法
兼任	講師	玉井 雅人 (46) <平成29年4月> 地球と宇宙の科学
兼任	講師	大喜 直彦 (55) <平成29年4月> 日本近現代史 日本の宗教
兼任	講師	知名 純子 (43) <平成31年10月> 精神保健福祉援助技術各論 I 精神保健福祉援助技術各論 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	森本 慶太 (36) <平成29年10月> ヨーロッパ近現代史
兼任	講師	笹岡 隆甫 (42) <平成30年4月> ホスピタリティ京都
兼任	学長	嵐田 雅子 (74) <平成29年4月> 英語総合 I 英語総合 II
兼任	講師	杉山 生 (55) <平成30年10月> 食品安全性学
兼任	講師	須藤 英幸 (50) <平成30年4月> キリスト教思想
兼任	講師	高岸 雅子 (59) <平成29年4月> 日本語表現 I 日本語表現 II
兼任	講師	竹内 正明 (44) <平成31年4月> デザイン論 I デザイン論 II
兼任	講師	橋 健一 (52) <平成29年10月> 文化人類学
兼任	講師	田中 貴子 (62) <平成30年4月> 日本語特講 I
兼任	講師	田中 敏彦 (64) <平成29年10月> フランス語
兼任	講師	田中 美和子 (55) <平成29年4月> 実用英語基礎 身近な英文法
兼任	講師	高田 和美 (58) <平成29年4月> 英語総合 I 英語総合 II
兼任	講師	玉井 雅人 (47) <平成29年4月> 地球と宇宙の科学
兼任	講師	大喜 直彦 (56) <平成29年4月> 日本近現代史 日本の宗教
兼任	講師	知名 純子 (44) <平成31年10月> 精神保健福祉援助技術各論 I 精神保健福祉援助技術各論 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	森本 慶太 (37) <平成29年10月> ヨーロッパ近現代史
兼任	講師	笹岡 隆甫 (43) <平成30年4月> ホスピタリティ京都
兼任	講師	Daniel Pearce (31) <平成30年4月> 英語総合 I 英語総合 II
兼任	講師	杉山 生 (56) <平成30年10月> 食品安全性学
兼任	講師	須藤 英幸 (51) <平成30年4月> キリスト教思想
兼任	講師	高岸 雅子 (60) <平成29年4月> 日本語表現 I 日本語表現 II
兼任	講師	竹内 正明 (45) <平成31年4月> デザイン論 I デザイン論 II
兼任	講師	橋 健一 (53) <平成29年10月> 文化人類学
兼任	講師	田中 貴子 (63) <平成30年4月> 日本語特講 I
兼任	講師	田中 敏彦 (65) <平成29年10月> フランス語
兼任	講師	松岡 真由子 (34) <平成30年4月> 英語総合 I 英語総合 II 実用英語基礎 身近な英文法
兼任	講師	玉井 雅人 (48) <平成29年4月> 地球と宇宙の科学
兼任	講師	小林 健太 (29) <平成30年4月> 日本近現代史 日本の宗教
兼任	講師	知名 純子 (45) <平成31年10月> 精神保健福祉援助技術各論 I 精神保健福祉援助技術各論 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	職名	氏名 (年齢)	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>		<就任(予定)年月>		<就任(予定)年月>
兼任	講師	寺西 みどり (63) <平成29年4月>	講師	寺西 みどり (64) <平成29年4月>	講師	寺西 みどり (65) <平成29年4月>
		歴史の中の女性 英語基礎Ⅰ 英語基礎Ⅱ		歴史の中の女性 英語基礎Ⅰ 英語基礎Ⅱ		歴史の中の女性 英語基礎Ⅰ 英語基礎Ⅱ
兼任	講師	鳥居本 幸代 (63) <平成30年10月>	講師	鳥居本 幸代 (64) <平成30年10月>	講師	鳥居本 幸代 (65) <平成30年10月>
		京都生活論		京都生活論		京都生活論
兼任	講師	豊田 陽介 (38) <平成29年10月>	講師	豊田 陽介 (39) <平成29年10月>	講師	豊田 陽介 (40) <平成29年10月>
		環境学概論		環境学概論		環境学概論
兼任	講師	土井 裕明 (52) <平成31年4月>	講師	土井 裕明 (53) <平成31年4月>	講師	土井 裕明 (54) <平成31年4月>
		権利擁護と成年後見 制度		権利擁護と成年後見 制度		権利擁護と成年後見 制度
兼任	講師	ドイル 恵美 (46) <平成31年4月>	講師	ドイル 恵美 (46) <平成31年4月>	講師	ドイル 恵美 (47) <平成31年4月>
		建築構造力学		建築構造力学		建築構造力学
兼任	講師	中村 央希 (32) <平成29年4月>	講師	岡崎 央希 (33) <平成29年4月>	講師	岡崎 央希 (34) <平成29年4月>
		英語総合Ⅰ 英語総合Ⅱ		英語総合Ⅰ 英語総合Ⅱ		英語総合Ⅰ 英語総合Ⅱ
兼任	講師	中村 亮太 (34) <平成30年4月>	講師	中村 亮太 (35) <平成30年4月>	講師	中村 亮太 (36) <平成30年4月>
		情報処理		情報処理		情報処理
兼任	講師	中森 伸行 (67) <平成29年10月>	講師	中森 伸行 (68) <平成29年10月>	講師	
		家庭電気・機械およ び情報処理		家庭電気・機械およ び情報処理		
兼任	講師	新村 佳史 (56) <平成30年4月>	講師	新村 佳史 (56) <平成30年4月>	講師	新村 佳史 (57) <平成30年4月>
		ビジネスの基礎 マーケティング論		ビジネスの基礎Ⅰ ビジネスの基礎Ⅱ マーケティング論 ソーシャルマーケ ティング論		ビジネスの基礎Ⅰ ビジネスの基礎Ⅱ マーケティング論 ソーシャルマーケ ティング論
兼任	講師	沼野 尚美 (59) <平成29年4月>	講師		講師	
		ボランティア概論				
兼任	講師	野村 照夫 (58) <平成29年4月>	講師	野村 照夫 (59) <平成29年4月>	講師	野村 照夫 (60) <平成29年4月>
		健康スポーツ演習		健康スポーツ演習		健康スポーツ演習 体育実技
兼任	講師	野村 晴美 (57) <平成29年4月>	講師	野村 晴美 (58) <平成29年4月>	講師	野村 晴美 (59) <平成29年4月>
		健康スポーツ演習 体育実技		健康スポーツ演習 体育実技		健康スポーツ演習 体育実技
兼任	講師	橋本 史人 (44) <平成31年4月>	講師	橋本 史人 (45) <平成31年4月>	講師	橋本 史人 (46) <平成31年4月>
		精神科リハビリテー ション学Ⅰ 精神科リハビリテー ション学Ⅱ		精神科リハビリテー ション学Ⅰ 精神科リハビリテー ション学Ⅱ		精神科リハビリテー ション学Ⅰ 精神科リハビリテー ション学Ⅱ
兼任	講師	原 清治 (56) <平成30年10月>	講師	原 清治 (56) <平成30年10月>	講師	原 清治 (57) <平成30年10月>
		教育社会学		教育社会学		教育社会学
兼任	講師	日比 伊奈穂 (43) <平成30年10月>	講師	日比 伊奈穂 (44) <平成30年10月>	講師	日比 伊奈穂 (45) <平成30年10月>
		日本語特講Ⅱ		日本語特講Ⅱ		日本語特講Ⅱ
兼任	講師	平尾 良治 (58) <平成30年4月>	講師	平尾 良治 (59) <平成30年4月>	講師	平尾 良治 (60) <平成30年4月>
		社会福祉調査法		社会福祉調査法		社会福祉調査法
兼任	講師	福嶋 祐貴 (26) <平成30年4月>	講師	福嶋 祐貴 (27) <平成30年4月>	講師	
		中等教育課程論		中等教育課程論		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	藤田 朋子 (55) <平成29年4月>
		ジェンダー論
兼任	講師	藤本 幸治 (47) <平成29年4月>
		英語総合 I 英語総合 II
兼任	講師	松井 吉康 (54) <平成29年10月>
		生命倫理
兼任	講師	松田 修 (62) <平成30年4月>
		特別活動の指導法 (中等)
兼任	講師	松本 ドロタ (44) <平成29年4月>
		英語総合 I 英語総合 II
兼任	講師	村井 琢哉 (35) <平成30年4月>
		児童福祉論
兼任	講師	村上 裕美 (55) <平成29年4月>
		英語基礎 I 英語基礎 II
兼任	講師	室 千草 (42) <平成31年4月>
		色彩学
兼任	講師	山本 健治 (59) <平成30年10月>
		教育相談の理論及び 方法
兼任	講師	横山(須賀)真紀 (41) <平成32年4月>
		憲法と人権
兼任	講師	吉村(竹内)恵 (60) <平成29年10月>
		女性起業論
兼任	講師	Eric Hail (45) <平成30年4月>
		日常の英会話 旅行の英会話 やさしいビジネス英 会話
兼任	講師	Jacoba Akazawa (61) <平成30年4月>
		日常の英会話 旅行の英会話 留学の英会話 おもてなしの英会話
兼任	講師	Jodie Campbell (47) <平成30年4月>
		日常の英会話 留学の英会話 おもてなしの英会話 歌って覚える英語表 現

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	藤田 朋子 (55) <平成29年10月>
		ジェンダー論
兼任	講師	藤本 幸治 (47) <平成29年4月>
		英語総合 I 英語総合 II
兼任	講師	松井 吉康 (55) <平成29年10月>
		生命倫理
兼任	講師	松田 修 (63) <平成30年4月>
		特別活動の指導法 (中等)
兼任	講師	森 ユキエ (67) <平成29年4月>
		英語総合 I 英語総合 II
兼任	講師	村井 琢哉 (36) <平成30年4月>
		児童福祉論
兼任	講師	村上 裕美 (56) <平成29年4月>
		英語基礎 I 英語基礎 II
兼任	講師	室 千草 (43) <平成31年4月>
		色彩学
兼任	講師	山本 健治 (60) <平成30年10月>
		教育相談の理論及び 方法
兼任	講師	横山(須賀)真紀 (42) <平成32年4月>
		憲法と人権
兼任	講師	吉村(竹内)恵 (61) <平成29年10月>
		女性起業論
兼任	講師	Eric Hail (46) <平成30年4月>
		日常の英会話 旅行の英会話 やさしいビジネス英 会話
兼任	講師	Jacoba Akazawa (62) <平成30年4月>
		日常の英会話 旅行の英会話 留学の英会話 おもてなしの英会話
兼任	講師	Jodie Campbell (47) <平成30年4月>
		日常の英会話 留学の英会話 おもてなしの英会話 歌って覚える英語表 現

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	藤田 朋子 (56) <平成29年10月>
		ジェンダー論
兼任	講師	藤本 幸治 (48) <平成29年4月>
		英語総合 I 英語総合 II
兼任	講師	松井 吉康 (56) <平成29年10月>
		生命倫理
兼任	講師	松田 忠喜 (60) <平成30年4月>
		特別活動の指導法 (中等)
兼任	講師	森 ユキエ (68) <平成29年4月>
		英語総合 I 英語総合 II
兼任	講師	村井 琢哉 (37) <平成30年4月>
		児童福祉論
兼任	講師	村上 裕美 (57) <平成29年4月>
		英語基礎 I 英語基礎 II
兼任	講師	室 千草 (44) <平成31年4月>
		色彩学
兼任	講師	山本 健治 (61) <平成30年10月>
		教育相談の理論及び 方法
兼任	講師	横山(須賀)真紀 (43) <平成32年4月>
		憲法と人権
兼任	講師	吉村(竹内)恵 (62) <平成29年10月>
		女性起業論
兼任	講師	Eric Hail (47) <平成30年4月>
		日常の英会話 旅行の英会話 やさしいビジネス英 会話
兼任	講師	Jacques Wilburn Hardy (45) <平成30年4月>
		日常の英会話 留学の英会話 おもてなしの英会話
兼任	講師	Jodie Campbell (48) <平成30年4月>
		英語基礎 I 英語基礎 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	職名	氏名 (年齢)	職名	氏名 (年齢)		
		<就任(予定)年月>		<就任(予定)年月>		<就任(予定)年月>		
		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名		
						Katy Simpson (34) <平成30年4月> 日常の英会話 留学の英会話 おもてなしの英会話 やさしいビジネス英会話 歌って覚える英語表現		
兼任	講師	John Breen (60) <平成30年10月>	兼任	講師	John Breen (61) <平成30年10月>	兼任	講師	John Breen (62) <平成30年10月>
		キリスト教と日本文化※			キリスト教と日本文化※			キリスト教と日本文化※
兼任	講師	VALVERDE IBÁÑEZ María del Pilar (36) <平成29年4月>						
		スペイン語						
			兼任	講師	安藤 幸治 (43) <平成29年4月>			
					スペイン語			
						兼任	講師	平山 幸乃 (29) <平成30年4月>
								スペイン語

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、**属可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。**
・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・平成29年4月 室田保夫 教授の就任（平成29年1月教員審査済）
- ・伊藤 薫 兼任講師の辞退により、黒田一平 兼任講師に変更
- ・科目開講期の変更により、翁 和美 兼任講師の就任時期の変更。
- ・教育体制充実のため、陶 盈 兼任講師の追加補充。
- ・坂本優一郎 兼任講師の辞退により、森本慶太 兼任講師に変更。
- ・教育体制充実のため、真田雅子 兼任講師の追加補充
- ・田中美和子 兼任講師の辞退により、葛田和美 兼任講師に変更。
- ・中村央希 兼任講師の改姓により、岡崎央希 に変更。
- ・沼野尚美 兼任講師の辞退により、志藤修史 兼任講師に変更。
- ・科目開講期の変更により、藤田朋子 兼任講師の就任時期の変更。
- ・松本ドロタ 兼任講師の辞退により、森ユキエ 兼任講師に変更。
- ・VALVERDE IBANEZ Maria Pilar 兼任講師の辞退により、安藤幸治 兼任講師に変更

【平成30年度】

- ・平成30年3月 小池 桂 教授の辞任。
- ・平成30年4月 柴田周二 教授就任（平成30年2月教員審査済）
- ・工藤哲夫 兼任教授の辞任により、渡邊春美 兼任教授に変更。
- ・須川いずみ 兼任教授の辞退により、東郷多津 兼任准教授、York Weatherford 兼任講師に変更
- ・萩原暢子 兼任教授の辞退により、寺谷倫利子 兼任講師に変更。
- ・廣瀬直哉 兼任教授の辞退により、後藤伸彦 兼任講師に変更。
- ・オムニバス科目に変更により、河佐英俊 兼任准教授の補充。
- ・長沼光彦 兼任教員の職位が准教授から教授に変更。
- ・長沼光彦 兼任教授の辞退により、武田悠希 兼任講師の補充。
- ・平野美保 兼任准教授の辞退により、荒尾千春 兼任講師の補充。
- ・吉田（小野澤）朋子の改姓により、吉田朋子に変更。
- ・中里郁子 兼任講師の職位が講師から准教授に変更。
- ・住本 純 兼任助教の職位が助教から講師に変更。
- ・今井里佳 兼任講師の辞任により、戸川律子 兼任講師に変更。
- ・小都晶子 兼任講師の辞任により、根岸智代 兼任講師に変更。
- ・工藤春代 兼任講師の辞任により、鬼頭弥生 兼任講師に変更。
- ・小島秀信 兼任講師の辞任により、百木 漢 兼任講師に変更。
- ・真田雅子 兼任講師の辞任により、Daniel Pearce 兼任講師に変更。
- ・田中美和子 兼任講師、葛田和美 兼任講師の辞任により、松岡真由子 兼任講師に変更。
- ・大喜直彦 兼任講師の辞任により、小林健太 兼任講師に変更。
- ・中森伸行 兼任講師の辞任により、藪 哲郎 兼任講師に変更。
- ・福島祐貴 兼任講師の辞任により、渡邊春美 兼任教授に変更。
- ・松田 修 兼任講師の辞任により、松田忠喜 兼任講師に変更。
- ・Jacoba Akazawa 兼任講師の辞任により、Jacques Wilburnに変更。
- ・Jodie Campbell 兼任講師の辞退により、Katy Simpsonに変更。
- ・安藤幸治 兼任講師の辞任により、平山幸乃 兼任講師に変更。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（A C）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
11 名	6 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
9	2	3	0	14	9	2	3	0	14	10	2	3	0	15
(8)	(2)	(3)	(-)	(13)						[1]	[-]	[-]	[-]	[1]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を審査済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65または70 歳	0	0

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{15}{14} = \boxed{107.14} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{14} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし							
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)		
0 人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	教授	小池 桂	必修	福祉生活デザイン概論	①	H30.3.31付けで一身上の都合のため辞任 (30)			
			必修	福祉生活デザイン基礎演習Ⅰ	①				
			必修	福祉生活デザイン基礎演習Ⅱ	①				
			必修	福祉生活デザイン基礎演習Ⅳ	①				
			選択	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	①				
			選択	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	①				
			選択	ソーシャルワーク現場実習	①				
			必修	生活福祉デザイン特論	①				
必修	卒業研究	①							
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)		
1 人	必修	6	科目	必修	6	科目	必修	0	科目
	選択	3	科目	選択	3	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	9	科目	計	9	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)		
1 人	必修	6	科目	必修	6	科目	必修	0	科目
	選択	3	科目	選択	3	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	9	科目	計	9	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{1}{14} = \boxed{7.14} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし							
合計					後任補充状況の集計				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員（教授）の辞任については、同氏の専門分野から社会福祉の歴史・原論系学科での教育研究の希望があり、本学部・学科の設置趣旨・目的とは隔たりがあった。同氏の専門分野での活躍を期待し、辞任はやむを得ないと考えた。
 なお、既に後任の教員を補充しており、辞任教員の担当（予定）科目は、後任教員が担当するほか、他の適任専任教員が担当し、学生への教育および履修等への影響はない。
 科目担当教員の交代については、シラバスで担当教員を修正しているほか、年度当初に学生に対し周知を図っている。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年8月)	・社会福祉士と精神保健福祉士の両資格の取得は、修得単位数(157単位)や実習等から相当な過密スケジュールとなる。両資格を取得できる者の上限を設け、かつ、該当者については、コース選択時のみでなく、定期的に成績や受講状況を把握し、適切な指導を行うこと。 留意事項	・両資格取得には成績優秀者に限定し、2年進級時のコース所属への説明会で取得科目の多さを、実習スケジュールの厳しさを説明の上、面接において両資格取得の適正を図った上で可否を判断する。また、履修指導上においても定期的に成績や受講状況を把握し、実習担任のみならず所属教員全員による適切な指導体制をとることとした。(29)	履行済
設 置 時 (平成28年8月)	・医療ソーシャルワーカーのための実習施設を追加しているが、医療ソーシャルワーカーは特殊な技能や実技を必要とするものであるため、ソーシャルワークの実習の科目の中で1施設として加えるのではなく、医療ソーシャルワークに特化した実習科目を設けて実習を実施すること。(その際、短期間に集中して実施するのではなく、1年間をかけて長期的に病院での実習を行うことが望ましい。) 留意事項	・医療ソーシャルワークに特化した病院で行う通年の実習科目として、「医療ソーシャルワーク現場実習」(3年通年)を開設することとし、担当を予定する専任教員について、平成29年3月変更書提出済。(29)	履行済
設 置 時 (平成28年8月)	・福祉生活総合コースは、コミュニティビジネスや起業をテーマにしているため、ソーシャルマーケティングやソーシャルビジネスに関する知識の修得が重要である。ビジネス系3科目を設定しているが、コミュニティビジネスの中核となるソーシャルマーケティングやソーシャルビジネスを扱う科目を開設するよう改善すること。 留意事項	・ソーシャルビジネスの概念やコミュニティビジネスについて解説する「ビジネスの基礎Ⅱ」(2年後期)及び「ソーシャルマーケティング論」(3年後期)の授業科目を開設する。 なお、当初科目の「ビジネスの基礎」を「ビジネスの基礎Ⅰ」(2年前期)に変更した。(29)	履行済
設 置 時 (平成28年8月)	・教員の補充を必要とされた11授業科目については、科目開講時までに確実に専任教員を配置して教員を充足すること。 留意事項	・教員補充が必要とされた科目のうち、4科目については、平成28年11月教員審査済。(29) ・教員補充が必要とされた科目のうち、更に4科目については、平成30年2月教員審査済(30)	・現時点で未補充である以下の7科目については、科目開講時までに確実に専任教員を配置・充足する。(29) 社会保障論Ⅰ (平成29年10月AC教員審査予定) 社会保障論Ⅱ (平成30年3月AC教員審査予定) 公的扶助論 (平成30年3月AC教員審査予定) 福祉行政と福祉計画 (平成31年3月AC教員審査予定) 社会福祉運営論 (平成29年10月AC教員審査予定) 就労支援 (平成30年10月AC教員審査予定) 就労支援 (平成30年10月AC教員審査予定) ・現時点で未補充である以下の3科目については、科目開講時までに確実に専任教員を配置・充足する。(30) 福祉行政と福祉計画 (平成31年3月AC教員審査予定) 就労支援(オムニバス) (平成30年10月AC教員審査予定) 就労支援(オムニバス) (平成30年10月AC教員審査予定)

設置計画履行状況 調査時 (平成30年2月)	・現代人間学部福祉生活デザイン学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	・平成30年度は、昨年度と比べて、入学生の増加はあったが、未だ定員充足率の平均が0.7倍未満である。今後も学科の特色を発信し続けることで、定員充足率の上昇が可能と思われるため、広報戦略を見直し学生確保に努める。 (30)	未履行	・引き続き、学生確保のため最大限の広報活動を行う。なお、完成年度までの入学者状況をみて、入学定員の見直しや学科の改革を行う (30)
設置計画履行状況 調査時 (平成30年2月)	・同一設置者が設置する既設学部等（人間文化学部人間文化学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	・平成30年度における人間文化学部人間文化学科の4年間の定員充足率の平均は、0.71倍となった。今後も一層、広報活動に力を入れ学生確保に努める。また、平成31年度から学びの特性をより明確に示す、国際日本文化学科に名称変更して学生確保に繋げる。 (30)	履行済	

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<現代人間学部 福祉生活デザイン学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

FD活動

- ・京都ノートルダム女子大学FD委員会を設置（別添1参照）

SD活動

- ・学校法人または大学事務局において実施

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

FD活動

- ・毎月1回（8月及び12月を除く）年間10回開催
- ・委員は各学科から選出された教員と担当課長で構成し、開催は全員出席を原則としている。

c 委員会の審議事項等

FD活動

- ・FD活動の企画立案
- ・FD活動の実施計画の策定及び評価
- ・FDに関する研修及び研究
- ・FD報告書の作成
- ・FDに関する情報の収集と提供
- ・FD関係団体との連携に関すること 等

② 実施状況

a 実施内容

FD活動

- ・FD研修会
- ・全学教員FD研修会
- ・大学コンソーシアム京都主催の「FDフォーラム」に委員として参画及び教職員の参加
- ・オープンクラス開催

SD活動

- ・ノートルダム三校合同研修会
- ・新任教職員研修会
- ・教職員研修会

b 実施方法

FD活動・・・複数の機会を提供し教員参加の機会を確保

- ・全学教員FD研修会（授業方法等について）
平成29年度は学内教員による「特色ある授業」の報告と意見交換
- ・大学コンソーシアム京都主催のFD研修会への参加
- ・平成29年度オープンクラス・・・教員相互の授業参観・コメント提出

SD活動

- ・ノートルダム三校合同研修会・・・設立理念（ミッション・コミットメント）
- ・新任教職員研修・・・大学・学部・学科の設置趣旨等
- ・教職員研修・・・①外部講師による講義（大学改革等）およびワークショップ
②学内職員による大学関係基本法令の理解と解釈および就業規則関係の説明

c 開催状況（教員の参加状況含む）

FD活動

・全学FD研修会

- 参加者数 83名（教員68名のうち、55名参加、参加率77.5%）
- ・大学コンソーシアム京都主催のFD研修会参加（FD研修会欠席者に対する措置）させた。
- ・オープンクラス
ほぼ全科目について、3週間の「オープンクラス・ウィーク」を実施した。授業参観者の「参観者コメントシート」は、29件であった。

SD活動

- ・ノートルダム三校合同研修会・・・参加者数 教員45名、事務系38名
- ・新任教職員研修・・・新規採用教職員 教員6名、事務系3名
- ・教職員研修 ①参加者数 事務系36名
②参加者数 事務系42名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・研修会によって、大学教育の動向や考え方、PBLの手法、ゼミ授業での指導方法等が教員間で共有され、授業改善に活かされている。
- ・オープンクラスでは、教員間で授業について検討することにより、授業方法の知識や技能を共有し授業改善に反映されるよう意識共有を図っている。
- ・大学の設立理念や学部の設置趣旨等を再確認することにより、教育・指導に活かしている。
- ・SD活動によって主に事務系職員が基本的な教育関係法令の高い業務手法が提供でき得ることで、質の高い教員サービスに繋げ、間接的に授業改善に活かされている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・全学的にほぼ全科目実施している。
- ・実施時期は、毎年、前期 7月、後期 12～1月

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・実施結果は、教職員及び学生が閲覧できるようにしている。また、WEB上においても公表している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

今日、少子高齢化とともに人口減少時代を迎えて、これまでとは違う新たな社会の創造が求められている。このような社会状況を背景に、生活の質の観点から、個人や家族、高齢者や子ども、障がい者など、多様な立場の人にとっての望ましい生活を、衣、食、住、家族の諸点から多角的に追究する生活科学に対し、その生活科学が描く望ましい生活の実現と保障に向けて、高齢者や子ども、障がい者やひとり親世帯など、困難性の高い立場の人への支援のあり方やその実践について追究する社会福祉学の両者を内包し、現代社会における人間生活の目標とその実現への方策を総合的、包括的に教育、研究を行うことの意義は大きい。そして、意義を理解し、関連しあう生活科学、社会福祉学を包括的に学んだうえで、目標となる生活のあり方の追求、あるいはその実現を支える支援に取り組む人材を養成することが現代人間学部福祉生活デザイン学科設置の趣旨・目的である。

平成29年4月に入学した第1期37名は、2年次より、生活デザインコース、社会福祉コース、福祉生活総合コースのいずれかに分属が決定し、ひとり一人が目指す専門の学びをスタートさせている。平成30年4月には、第2期42名の入学者を迎え、昨年同様に、新入生を対象として、オリエンテーションを実施し、本学の教育理念および学部・学科の教育目標、学位授与方針をはじめ、共通教育、学部共通教育、学科専門科目などのカリキュラム説明を含む履修ガイダンスを行い、きめ細やかな履修指導を実施した。1年間に取得できる単位の上限を46単位と定め、資格取得や2年次からのコース分属へ向けての十分な説明と共に、初年次教育の担当教員全員が履修登録時も個別の質問等に対応した。その後、フレッシュマンセミナーで、充実した学生生活が送れるように、学科独自の企画内容により、上級生、教員との交流を深めた。

以上のとおり、設置の趣旨・目的を達成するための初年次教育および専門教育を順調にスタートさせている。なお、今年度は、昨年度と比べて、志願者数（68→76人）、合格者数（62→71人）、入学者数（37→42人）ともに増加したが、定員充足には至らなかった。平成31年度の学生募集にあたっては、入試広報（大学ホームページ、学科オリジナルサイト（スマートフォン対応を含めて）や高等学校への学校訪問、個別説明会等）及び高等学校の模擬授業などを通じて、高校3年生だけでなく、2年生への情報発信を含めて、福祉生活デザイン学科の設置の目的や意義、教育課程の特色の周知を図り、さらなる志願者数の拡大に努めたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成30年5月1日 公表

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、関係機関及び希望があった学生に各1冊を配布予定
- ・大学ホームページ上に公開予定（平成30年8月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成34年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (有 無)

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (平成30年 8月 1日)

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人ノートルダム女学院

(2) 大学名

京都ノートルダム女子大学

(3) 大学の位置

〒606-0847
京都府京都市左京区下鴨南野々神町1番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ワダ タマキ) 和田 環 (平成20年11月)		
学長	(セリタ ケンタロウ) 芹田 健太郎 (平成25年4月)	(サナダ マサコ) 眞田 雅子 (平成29年4月)	前任者は平成29年3月31日任期満了、平成29年4月に後任者が就任したため(29)
学部長	(ナカムラ クミ) 中村 久美 (平成29年4月)	(カトウ サチコ) 加藤 佐千子 (平成29年4月)	予定者は副学長に就任、平成29年4月に交代就任したため(29)
学科主任	未定	(タカイ ナオミ) 高井 直美 (平成29年4月)	平成29年3月に決定したため(29)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
現代人間学部 心理学科 学士(心理学)	文学関係	4年	100人	- 年次人	400人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	100 (-) [-]	(-) [-]	100 (-) [-]	(-) [-]	0.61倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	103 (-) [2]	(-) [-]	120 (-) [4]	(-) [-]		
受験者数	() []	() []	() []	() []	98 (-) [2]	(-) [-]	114 (-) [4]	(-) [-]		
合格者数	() []	() []	() []	() []	89 (-) [2]	(-) [-]	111 (-) [4]	(-) [-]		
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	58 (-) [-]	(-) [-]	65 (-) [2]	(-) [-]		
入学定員超過率 B/A					0.58		0.65			

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	58 [—] (—)	— [—] (—)	65 [2] (—)	— [—] (—)	—
2年次	/		— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	56 [—] (—)	— [—] (—)	
3年次			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
4年次			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
計			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	58 [—] (—)	— [—] (—)	

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
平成28年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
平成29年度	56 人	2 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	2 人	— 人	他の教育機関への入学・転学
平成30年度	65 人	0 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	— 人	— 人	
合計	121 人	2 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{56} = \boxed{3.57} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{65} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<現代人間学部 心理学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	日本文学	1前	2								兼1
	外国文学	1後	2								兼1
	日本近現代史	1前	2								兼1
	日本の宗教	1後	2								兼1
	東アジア近現代史	1前	2								兼1
	ヨーロッパ近現代史	1後	2								兼1
	歴史の中の女性	1後	2								兼1
	身近な心理学	1前	2			1					
	文化人類学	1後	2								兼1
	暮らしの法律学	1前	2								兼1
	憲法と人権	1後	2								兼1
	暮らしの経済学	1後	2								兼1
	国際関係論入門	1前	2								兼1
	社会学概論	1後	2								兼1
	ジェンダー論	1前	2								兼1
	ボランティア概論	1前	2								兼1
	子育てとワークライフバランス	2前	1								兼1
	こどもと子育ての生活環境学	2前	1								兼4
	海外研修(生活と社会)	1-2-3-4修	1								兼2
	身近な自然科学	1前	2								兼1
	暮らしの統計学	1後	2			1					
	地球と宇宙の科学	1前	2								兼1
	情報科学入門	1後	2								兼1
	環境学概論	1後	2								兼1
	身近な医学	1-2前	2			1					兼1
	生命倫理	1後	2								兼1
	こどもと自然	1通	2			1	1				兼2
共通教育科目	英語基礎Ⅰ	1前	1								兼5
	英語総合Ⅰ	1前	1								兼6
	英語基礎Ⅱ	1後	1								兼5
	英語総合Ⅱ	1後	1								兼6
	日常の英会話	2前・後	1								兼3
	旅行の英会話	2後	1								兼2
	留学の英会話	2後	1								兼2
	おもてなしの英会話	2前	1								兼2
	やさしいビジネス英会話	2前	1								兼1
	歌って覚える英語表現	2後	1								兼1
	英語リスニング初級	2前	1								兼1
	英語リスニング中級	2後	1								兼1
	読むための英語	2前	1								兼1
	実用英語基礎	2後	1								兼2
	身近な英文法	2前	1								兼2
	アカデミック英語	3前	1								兼1
	ドイツ語	1前	2								兼1
	フランス語	1後	2								兼1
	スペイン語	1前	2								兼1
	アラビア語	1後	2								兼1
中国語Ⅰ	1前・後	2								兼3	
中国語Ⅱ	1後	2								兼1	
中国語Ⅲ	2前	2								兼1	
コリア語Ⅰ	1前・後	2								兼1	
コリア語Ⅱ	1後	2								兼1	
コリア語Ⅲ	2前	2								兼1	
海外研修(語学)Ⅰ	1-2-3-4修	2								兼1	
海外研修(語学)Ⅱa	1-2-3修	2								兼1	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	日本文学	1前	2									兼1
	外国文学	1後	2									兼1
	日本近現代史	1前	2									兼1
	日本の宗教	1後	2									兼1
	東アジア近現代史	1前	2									兼1
	ヨーロッパ近現代史	1後	2									兼1
	歴史の中の女性	1後	2									兼1
	身近な心理学	1前	2					1				
	文化人類学	1後	2									兼1
	暮らしの法律学	1前	2									兼1
	憲法と人権	1後	2									兼1
	暮らしの経済学	1後	2									兼1
	国際関係論入門	1前	2									兼1
	社会学概論	1前	2									兼1
	ジェンダー論	1後	2									兼1
	ボランティア概論	1前	2									兼1
	子育てとワークライフバランス	2前	1									兼1
	こどもと子育ての生活環境学	2前	1									兼4
	海外研修(生活と社会)	1-2-3-4修	1									兼2
	身近な自然科学	1前	2									兼1
	暮らしの統計学	1後	2							1		
	地球と宇宙の科学	1前	2									兼1
	情報科学入門	1後	2									兼1
	環境学概論	1後	2									兼1
	身近な医学	1-2前	2					1				兼1
	生命倫理	1後	2									兼1
	こどもと自然	1通	2					1	1			兼2
共通教育科目	英語基礎Ⅰ	1前	1									兼5
	英語総合Ⅰ	1前	1									兼6
	英語基礎Ⅱ	1後	1									兼5
	英語総合Ⅱ	1後	1									兼6
	日常の英会話	2前・後	1									兼3
	旅行の英会話	2後	1									兼2
	留学の英会話	2後	1									兼2
	おもてなしの英会話	2前	1									兼2
	やさしいビジネス英会話	2前	1									兼1
	歌って覚える英語表現	2後	1									兼1
	英語リスニング初級	2前	1									兼1
	英語リスニング中級	2後	1									兼1
	読むための英語	2前	1									兼1
	実用英語基礎	2後	1									兼2
	身近な英文法	2前	1									兼2
	アカデミック英語	3前	1									兼1
	ドイツ語	1前	2									兼1
	フランス語	1後	2									兼1
	スペイン語	1前	2									兼1
	アラビア語	1後	2									兼1
中国語Ⅰ	1前・後	2									兼3	
中国語Ⅱ	1後	2									兼1	
中国語Ⅲ	2前	2									兼1	
コリア語Ⅰ	1前・後	2									兼1	
コリア語Ⅱ	1後	2									兼1	
コリア語Ⅲ	2前	2									兼1	
海外研修(語学)Ⅰ	1-2-3-4修	2									兼1	
海外研修(語学)Ⅱa	1-2-3修	2									兼2	

共通教育科目	海外研修(語学)Ⅱb	1・2・3・4休	2						兼1	海外研修(語学)Ⅱb	1・2・3・4休	2							兼2
	日本語講読Ⅰ	1前	1						兼1	日本語講読Ⅰ	1前	1							兼1
	日本語講読Ⅱ	1後	1						兼1	日本語講読Ⅱ	1後	1							兼1
	日本語表現Ⅰ	1前	1						兼1	日本語表現Ⅰ	1前	1							兼1
	日本語表現Ⅱ	1後	1						兼1	日本語表現Ⅱ	1後	1							兼1
	日本語特講Ⅰ	2前	1						兼1	日本語特講Ⅰ	2前	1							兼1
	日本語特講Ⅱ	2後	1						兼1	日本語特講Ⅱ	2後	1							兼1
	文章表現法	1前・後	2						兼1	文章表現法	1前・後	2							兼1
	情報演習Ⅰ	1前・後	1						兼1	情報演習Ⅰ	1前・後	1							兼1
	情報演習Ⅱ	2前・後	1						兼1	情報演習Ⅱ	2前・後	1							兼1
	情報処理	2前・後	2						兼3	情報処理	2前・後	2							兼3
	体育講義	1後	1						兼1	体育講義	1後	1							兼1
	健康スポーツ演習	1前・後	2						兼3	健康スポーツ演習	1前・後	2							兼3
	体育実技	1前	1						兼1	体育実技	1前	1							兼2
	キリスト教入門	1前・後	2						兼1	キリスト教入門	1前・後	2							兼1
	キリスト教音楽入門	1前・後	1						兼1	キリスト教音楽入門	1前・後	1							兼1
	聖書と文化	2前	2						兼1	聖書と文化	2前	2							兼1
	キリスト教と日本文化	2後	2						兼2	キリスト教と日本文化	2後	2							兼2
	キリスト教思想	2前	2						兼1	キリスト教思想	2前	2							兼1
	キリスト教美術	2後	2						兼1	キリスト教美術	2後	2							兼1
キリスト教音楽	2後	2						兼1	キリスト教音楽	2後	2							兼1	
ノートルダム学	1前	2						兼1	ノートルダム学	1前	2							兼1	
女性とライフキャリア	1前・後	2						兼1	女性とライフキャリア	1前・後	2							兼1	
ホスピタリティ入門	1前・後	2						兼1	ホスピタリティ入門	1前・後	2							兼1	
ホスピタリティ京都	2・3前	2						兼2	ホスピタリティ京都	2・3前	2							兼2	
キャリア形成	3前・後	2						兼1	キャリア形成	3前・後	2							兼1	
キャリア形成ゼミ	2通	2						兼1	キャリア形成ゼミ	2通	2							兼1	
インターンシップ	2・3・4通	2						兼1	インターンシップ	2・3・4通	2							兼1	
海外インターンシップ	2・3・4休	2						兼1	海外インターンシップ	2・3・4休	2							兼1	
学部共通科目	現代社会とこども	1前	1		1				兼1	現代社会とこども	1前	1		1					兼1
	現代社会と女性・家族	1前	1		1				兼1	現代社会と女性・家族	1前	1		1					兼1
	現代社会と高齢者	1前	1		1				兼1	現代社会と高齢者	1前	1		1					兼1
	現代社会と病者・障がい者	1前	1		1				兼3	現代社会と病者・障がい者	1前	1		1					兼3
	病児の発達と支援	1休	2		2		1		兼7	病児の発達と支援	1休	2		2		1			兼7
	情報科学	3前	2						兼1	情報科学	3前	2							兼1
専門教育科目	心理学概論	1前	2		1					心理学概論	1前	2		1					
	心理統計Ⅰ	1前	2		1					心理統計Ⅰ	1前	2		1					
	心理統計Ⅱ	1後	2		1					心理統計Ⅱ	1後	2		1					
	心理学基礎演習Ⅰ	1前	2		4		2			心理学基礎演習Ⅰ	1前	2		3		3			
	心理学基礎演習Ⅱ	1後	2		3		4			心理学基礎演習Ⅱ	1後	2		3		4			
	初級実験演習Ⅰ	1後	2		1		1		兼1	初級実験演習Ⅰ	1後	2		1		2			兼1
	初級実験演習Ⅱ	2前	2		2				兼1	心理学実験演習Ⅱ	2前	2		2				1	兼1
	現代社会調査入門	1前	2		1					現代社会調査入門	1前	2		1					
	行動科学概論	1後	2		1					行動科学概論	1後	2						1	
	心理学研究法	2前	2		1					心理学研究法	2前	2		1					
	推測統計Ⅰ	2前	2				1			推測統計Ⅰ	2前	2		2		1			
	推測統計Ⅱ	2後	2				1			推測統計Ⅱ	2後	2		2		1			
	心理テスト演習	2前	2		1		1		兼2	心理テスト演習	2前	2		1		2			兼2
	質問紙調査法	2前	2				1			質問紙調査法	2前	2				1			
	心理学英文講読(基礎)	2後	2						兼1	心理学英文講読(基礎)	2後	2							兼1
	心理学英文講読(応用)	3後	2						兼1	心理学英文講読(応用)	3後	2							兼1
	上級実験演習	3前	2		1		1			上級実験演習	3前	2		1		1			
	心理学情報処理	3前・後	2		1					心理学情報処理	3前・後	2		1					
	心理カウンセリング実践(面接技法)	3前	2				2		兼2	心理カウンセリング実践(面接技法)	3前	2				2			兼2
	知覚心理学	2・3前	2		1					知覚心理学	2・3前	2		1					
学習の心理学	2後	2		1					学習の心理学	2後	2		1						
認知心理学	3前	2						兼1	認知心理学	3前	2							兼1	
神経心理学	3・4後	2		1					神経心理学	3・4後	2		1						
教育心理学概論	1・2後	2		1					教育心理学概論	1・2後	2		1						
発達心理学概論	2・3前	2		1					発達心理学概論	2・3前	2		1						
現代青年の心理学	2・3後	2				1			現代青年の心理学	2・3後	2				1				
高齢者の心理学	3・4前	2		1					高齢者の心理学	3・4前	2		1						

専門教育科目	精神保健福祉援助技術各論 I	3後	2						兼1
	精神保健福祉援助技術各論 II	4前	2						兼1
	精神保健福祉援助演習 (基礎)	3前		1	1				兼1
	精神保健福祉援助演習 (専門) I	3後		1	1				兼1
	精神保健福祉援助演習 (専門) II	4前		1	1				兼1
	精神保健福祉援助実習指導	3後		3		1			兼1
	精神保健福祉援助実習 I	3休		2		1			兼1
	精神保健福祉援助実習 II	3休		2		1			兼1
	精神保健福祉援助実習 III	3休		3		1			兼1
	社会福祉特講 II	4通		2					兼1
	心理学演習	3通	4		7	6			
	卒業研究	4通	4		7	6			
卒業論文	4通		4	7	6				

専門教育科目	精神保健福祉援助技術各論 I	3後	2						兼1
	精神保健福祉援助技術各論 II	4前	2						兼1
	精神保健福祉援助演習 (基礎)	3前		1	1				兼1
	精神保健福祉援助演習 (専門) I	3後		1	1				兼1
	精神保健福祉援助演習 (専門) II	4前		1	1				兼1
	精神保健福祉援助実習指導	3後		3		1			兼1
	精神保健福祉援助実習 I	3休		2		1			兼1
	精神保健福祉援助実習 II	3休		2		1			兼1
	精神保健福祉援助実習 III	3休		3		1			兼1
	社会福祉特講 II	4通		2					兼1
	心理学演習	3通	4		7	6	6	7	
	卒業研究	4通	4		7	6	6	7	
卒業論文	4通		4	7	6	6	7		

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	日本文学	1前		2								兼1
	外国文学	1後		2								兼1
	日本近現代史	1前		2								兼1
	日本の宗教	1後		2								兼1
	東アジア近現代史	1前		2								兼1
	ヨーロッパ近現代史	1後		2								兼1
	歴史の中の女性	1後		2								兼1
	身近な心理学	1前		2		1						
	文化人類学	1後		2								兼1
	暮らしの法律学	1前		2								兼1
	憲法と人権	1後		2								兼1
	暮らしの経済学	1後		2								兼1
	国際関係論入門	1前		2								兼1
	社会学概論	1前		2								兼1
	ジェンダー論	1後		2								兼1
	ボランティア概論	1前		2								兼1
	子育てとワークライフバランス	2前		1								兼1
	子どもと子育ての生活環境学	2前		1								兼4
	海外研修（生活と社会）	1・2・3・4休		1								兼2
	身近な自然科学	1前		2								兼1
	暮らしの統計学	1後		2		1						
	地球と宇宙の科学	1前		2								兼1
	情報科学入門	1後		2								兼1
	環境学概論	1後		2								兼1
	身近な医学	1・2前		2		1						兼1
	生命倫理	1後		2								兼1
	子どもと自然	1通		2		1	1					兼2
	英語基礎Ⅰ	1前	1									兼5
	英語総合Ⅰ	1前	1									兼7
	英語基礎Ⅱ	1後	1									兼5
	英語総合Ⅱ	1後	1									兼7
	日常の英会話	2前・後		1								兼3
	旅行の英会話	2後		1								兼2
	留学の英会話	2後		1								兼2
	おもてなしの英会話	2前		1								兼2
	やさしいビジネス英会話	2前		1								兼1
	歌って覚える英語表現	2後		1								兼1
	英語リスニング初級	2前		1								兼1
	英語リスニング中級	2後		1								兼1
	読むための英語	2前		1								兼1
	実用英語基礎	2後		1								兼1
	身近な英文法	2前		1								兼1
	アカデミック英語	3前		1								兼1
	ドイツ語	1前		2								兼1
	フランス語	1後		2								兼1
	スペイン語	1前		2								兼1
	アラビア語	1後		2								兼1
	中国語Ⅰ	1前・後		2								兼4
	中国語Ⅱ	1後		2								兼1
	中国語Ⅲ	2前		2								兼1
コリア語Ⅰ	1前・後		2								兼1	
コリア語Ⅱ	1後		2								兼1	
コリア語Ⅲ	2前		2								兼1	
海外研修(語学)Ⅰ	1・2・3・4休		2								兼1	
海外研修(語学)Ⅱa	1・2・3休		2								兼1	
海外研修(語学)Ⅱb	1・2・3・4休		2								兼1	
日本語講読Ⅰ	1前		1								兼1	
日本語講読Ⅱ	1後		1								兼1	
日本語表現Ⅰ	1前		1								兼1	
日本語表現Ⅱ	1後		1								兼1	
日本語特講Ⅰ	2前		1								兼1	

社会・ビジネス心理 フィールド研修	2通	2	3	1		
服飾心理学	2後	2			兼1	
産業心理学	3後	2			兼1	
心理カウンセリング 概論	1前	2		1		
心理テスト論	1後	2		1		
臨床心理学概論	2前	2		1		
精神保健学Ⅰ	2前	2			兼1	
精神保健学Ⅱ	2後	2			兼1	
パーソナリティ心理 学	2・3前	2		1		
障害児・者の心理学	2・3前	2		1		
臨床心理アセスメン ト	2後	2		1		
無意識の心理学	2・3後	2		1		
スクールカウンセリ ング論	3・4前	2		1		
心理療法論	3・4前	2		1		
心理関係法規論	3休	2			兼1	
精神医学Ⅰ	2・3前	2		1		
精神医学Ⅱ	2・3後	2		1		
犯罪心理学	3・4後	2			兼1	
認知行動療法概論	3後	2		1		
心理カウンセリング 実践（アートセラ ピー）	3後	2		2	兼1	
心理カウンセリング フィールド研修	3通	2		2	2	
現代ジャーナリズム 論	1・2・3・4B	2			兼1	
福祉住環境デザイン	2前	2			兼1	
食品流通論	2後	2			兼1	
消費者教育	3前	2			兼1	
衣生活情報論	3後	2			兼1	
ビジネスの基礎	2前	2			兼1	
マーケティング論	3前	2			兼1	
女性起業論	4前	2			兼1	
現代社会と福祉Ⅰ	1前	2			兼1	
現代社会と福祉Ⅱ	1後	2			兼1	
地域福祉論Ⅰ	3前	2			兼1	
地域福祉論Ⅱ	3後	2			兼1	
医学一般	2前	2			兼1	
社会保障論Ⅰ	2前	2				
社会保障論Ⅱ	2後	2				
障害者福祉論	2後	2			兼1	
保健医療サービス	2後	2			兼1	
公的扶助論	3前	2				
福祉行政と福祉計 画	3後	2				
権利擁護と成年後見 制度	3前	2			兼1	
精神科リハビリテー ション学Ⅰ	3前	2			兼1	
精神科リハビリテー ション学Ⅱ	3後	2			兼1	
精神保健福祉論Ⅰ	2前	2			兼1	
精神保健福祉論Ⅱ	2後	2			兼1	
精神保健福祉論Ⅲ	4前	2			兼1	
精神保健福祉相談援 助の基盤（基礎）	1後	2			兼1	
精神保健福祉相談援 助の基盤（専門）	2前	2			兼1	
精神保健福祉援助技 術各論Ⅰ	3後	2			兼1	
精神保健福祉援助技 術各論Ⅱ	4前	2			兼1	
精神保健福祉援助演 習（基礎）	3前		1	1	兼1	
精神保健福祉援助演 習（専門）Ⅰ	3後		1	1	兼1	

専
門
教
育
科
目

専 門 教 育 科 目	精神保健福祉援助演習(専門)Ⅱ	4前		1	1				兼1
	精神保健福祉援助実習指導	3後		3		1			兼1
	精神保健福祉援助実習Ⅰ	3休		2		1			兼1
	精神保健福祉援助実習Ⅱ	3休		2		1			兼1
	精神保健福祉援助実習Ⅲ	3休		3		1			兼1
	社会福祉特講Ⅱ	4通		2					兼1
	心理学演習	3通	4		7	7			
	卒業研究	4通	4		7	7			
	卒業論文	4通		4		7	7		

- (注)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

【共通教育科目】

- ・開講期変更により、「社会学概論」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・開講期変更により、「ジェンダー論」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。

【専門教育科目】

- ・専任教員の充実により、「心理学基礎演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授3」に変更。
- ・専任教員の充実により、「初級実験演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・専任教員の充実により、「心理テスト演習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・専任教員の充実により、「心理療法論」の兼任教員等の配置を「兼1」から「准教授1」に変更。
- ・専任教員の充実により、「心理学演習」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授7」に変更。
- ・専任教員の充実により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授7」に変更。
- ・専任教員の充実により、「卒業論文」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授7」に変更。

【平成30年度】

【共通教育科目】

- ・担当教員の交代の理由により、「暮らしの統計学」の専任教員等の配置を「教授1」から「講師1」に変更。

【専門教育科目】

- ・資格指定科目の科目名称の指定により、授業科目の名称を「心理統計法Ⅰ」から「心理学統計法Ⅰ」に変更。
- ・資格指定科目の科目名称の指定により、授業科目の名称を「心理統計法Ⅱ」から「心理学統計法Ⅱ」に変更。
- ・専任教員辞任により、「心理学基礎演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授3」に変更。
- ・資格指定科目の科目名称の指定により、授業科目の名称を「初級実験演習Ⅱ」から「心理学実験演習Ⅱ」に変更及び専任教員等の配置を「准教授1」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の交代の理由により、「行動科学概論」の専任教員等の配置を「教授1」から「講師1」に変更。
- ・資格指定科目の科目名称の指定により、授業科目の名称を「現代社会の心理学」から「社会・集団・家族心理学Ⅰ（社会・集団）」に変更及び専任教員等の配置を「教授1」から「講師1」に変更。
- ・専任教員辞任により、「対人関係論」の専任教員等の配置を「教授1」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の担当授業科目数の見直しの理由により、「消費者行動の心理学」の専任教員等の配置を「教授1」から「講師1」に変更。
- ・資格指定科目の科目名称の指定により、「家族心理学」から「社会・集団・家族心理学Ⅱ（家族）」に変更。
- ・専任教員辞任により、「社会・ビジネス心理フィールド研修」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
- ・履修上の都合の理由により、「精神医学Ⅰ」の配当年次を「2・3前」から「2前」に変更。
- ・履修上の都合の理由により、「精神医学Ⅱ」の配当年次を「2・3後」から「2後」に変更。
- ・履修上の都合の理由により、「心理カウンセリングフィールド研修」の配当年次を「3通」から「2通」に変更及び専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授5」に変更。
- ・履修上の都合の理由により、授業科目の名称を「ビジネスの基礎」から「ビジネスの基礎Ⅰ」に変更。
- ・資格指定科目の科目名称の指定により、授業科目の名称を「医学一般」から「人体の構造と機能及び疾病」に変更。
- ・専任教員辞任により、「心理学演習」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授6」に変更。
- ・専任教員辞任により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授6」に変更。
- ・専任教員辞任により、「卒業論文」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授6」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
17 科目	158 科目	8 科目	183 科目	17 科目 [0]	158 科目 [0]	8 科目 [0]	183 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{183} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	校舎敷地と運動場用地 1(300m.徒歩5分) 校舎敷地と運動場用地 2(3.5km.車で15分)			
	校舎敷地	17,206 m ²	0 m ²	0 m ²	17,206 m ²				
	運動場用地	19,625 m ²	0 m ²	0 m ²	19,625 m ²				
	小 計	25,966 m ²	0 m ²	0 m ²	25,966 m ²				
	そ の 他	0 m ²	0 m ²	0 m ²	0 m ²				
	合 計	36,831 m ²	0 m ²	0 m ²	36,831 m ²				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体				
	(30,169 m ²)	(12,670 m ²)	(0 m ²)	(30,169 m ²)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	41 室	6 室	14 室	4 室 (補助職員 2 人)	3 室 (補助職員 2 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			平成29年4月 専任准教授1名を新規 採用のため(29)			
	現代人間学部 心理学科		14 13 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌	視聴覚資料	機械・器具	標 本	大学全体での共用分を含む図書40,000冊 [35,000冊]		
		[うち外国書]冊	[うち外国書]種					電子ジャーナル	
								[うち外国書]点	
現代人間学部	128,000 [33,330] (118,000 [32,100])	310 [60] (310 [60])	1,100 [540] (1,100 [540])	400 (340)	400 (400)	0 (0)			
計	128,000 [33,330] (118,000 [32,100])	310 [60] (310 [60])	1,100 [540] (1,100 [540])	400 (340)	400 (400)	0 (0)			
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数			大学全体		
	3,625 m ²		198	278,111					
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	2,004 m ²		トラック 1面 テニスコート 4面 トレーニングルーム 1室						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	「図書購入費」「設備購入費」を最新額に変更(29) 図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む。
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	13,328千円 10,000千円	11,677千円 9,000千円	11,677千円 9,000千円	
	共同研究費等	3,200千円	3,200千円	設備購入費	19,000千円 15,223千円	5,000千円 1,500千円	5,000千円 1,500千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	1,410千円	1,130千円	1,130千円	1,163千円	— 千円	— 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経営補助金, 雑収入, その他							

(注) ・ 設置時の計画を, 申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合, 複数の様式に分ける必要はありません。なお, 「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を, その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は, その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については, 上段に完成年度の予定数値を, 下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては, 変更部分を赤字で見え消し修正するとともに, その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお, 昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少, 建築計画の遅延)がある場合には, 「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学 の 名 称	京都ノートルダム女子大学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人間文化学部									
英語英文学科	4	80	3年次 5	420	学士 (文学)	0.81	昭和36年度	京都府京都市左京区 下鴨南野々神町1番地	平成29年度より入 学定員変更110→80
人間文化学科	4	50	-	230	学士 (人間文 化)	0.71	平成12年度	同上	平成29年度より入 学定員変更60→50
生活福祉文化学部									
生活福祉文化学科	4	-	-	-	学士 (生活福祉 文化)	-	平成19年度	同上	平成29年度より学 生募集停止
心理学部									
心理学科	4	-	-	-	学士 (心理)	-	平成17年度	同上	平成29年度より学 生募集停止
現代心理専攻	4	-	-	-		-		同上	
学校心理専攻	4	-	-	-		-		同上	
臨床心理専攻	4	-	-	-		-		同上	
現代人間学部									
福祉生活デザイン学科	4	70	-	280	学士 (福祉生活 デザイン)	0.56	平成29年度	同上	
心理学科	4	100	-	400	学士 (心理学)	0.61	平成29年度	同上	
こども教育学科	4	70	-	280	学士 (こども教 育)	0.79	平成29年度	同上	
大学 の 名 称	京都ノートルダム女子大学大学院								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
(修士課程) 人間文化研究科									
応用英語専攻	2	8	-	16	修士 (応用英 語)	0.18	平成14年度	京都府京都市左京区 下鴨南野々神町1番地	
生活福祉文化専攻	2	6	-	12	修士 (生活福祉 文化)	0.08	平成16年度	同上	
人間文化専攻	2	3	-	6	修士 (人間文 化)	0.00	平成17年度	同上	

(博士前期課程)									
心理学研究科									
発達・学校心理学専攻	2	5	-	13	修士 (心理)	0.22	平成17年度	同上	平成30年度より入学定員変更8→5
臨床心理学専攻	2	10	-	17	修士 (心理)	0.97	平成17年度	同上	平成30年度より入学定員変更7→10
(博士後期課程)									
心理学研究科									
心理学専攻	3	4	-	12	博士 (心理)	0.00	平成17年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<現代人間学部 心理学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【平成29年度】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授	伊藤 一美 (48) <平成29年4月> 現代社会と高齢者※ 病児の発達と支援※ 心理学基礎演習Ⅰ 高齢者の心理学 心理テスト論 心理カウンセリング フィールド研修 心理学演習 卒業研究 卒業論文	専	教授	伊藤 一美 (49) <平成29年4月> 現代社会と高齢者※ 病児の発達と支援※ 心理学基礎演習Ⅰ 高齢者の心理学 心理テスト論 心理カウンセリング フィールド研修 心理学演習 卒業研究 卒業論文	専	教授	伊藤 一美 (50) <平成29年4月> 現代社会と高齢者※ 病児の発達と支援※ 心理学基礎演習Ⅰ 高齢者の心理学 心理テスト論 心理学演習 卒業研究 卒業論文
専	教授	上田 恵津子 (58) <平成29年4月> 心理学概論 心理学基礎演習Ⅰ 初級実験演習Ⅰ 学習の心理学 現代社会の心理学 対人関係論 社会・ビジネス心理 フィールド研修 心理学演習 卒業研究 卒業論文	専	教授	上田 恵津子 (58) <平成29年4月> 心理学概論 心理学基礎演習Ⅰ 初級実験演習Ⅰ 学習の心理学 現代社会の心理学 対人関係論 社会・ビジネス心理 フィールド研修 心理学演習 卒業研究 卒業論文			
専	教授	河瀬 雅紀 (57) <平成29年4月> 身近な医学※ 現代社会と病者・障 がい者※ 病児の発達と支援※ 心理学基礎演習Ⅱ 神経心理学 精神医学Ⅰ 精神医学Ⅱ 心理カウンセリング フィールド研修 精神保健福祉援助演 習(基礎) 精神保健福祉援助演 習(専門)Ⅰ 精神保健福祉援助演 習(専門)Ⅱ 心理学演習 卒業研究 卒業論文	専	教授	河瀬 雅紀 (58) <平成29年4月> 身近な医学※ 現代社会と病者・障 がい者※ 病児の発達と支援※ 心理学基礎演習Ⅱ 神経心理学 精神医学Ⅰ 精神医学Ⅱ 心理カウンセリング フィールド研修 精神保健福祉援助演 習(基礎) 精神保健福祉援助演 習(専門)Ⅰ 精神保健福祉援助演 習(専門)Ⅱ 心理学演習 卒業研究 卒業論文	専	教授	河瀬 雅紀 (59) <平成29年4月> 身近な医学※ 現代社会と病者・障 がい者※ 病児の発達と支援※ 心理学基礎演習Ⅱ 神経心理学 精神医学Ⅰ 精神医学Ⅱ 精神保健福祉援助演 習(基礎) 精神保健福祉援助演 習(専門)Ⅰ 精神保健福祉援助演 習(専門)Ⅱ 心理学演習 卒業研究 卒業論文
専	教授	高井 直美 (58) <平成29年4月> 身近な心理学 こどもと自然 現代社会とこども※ 心理統計法Ⅰ 心理統計法Ⅱ 心理学基礎演習Ⅰ 初級実験演習Ⅱ 発達心理学概論 心理学演習 卒業研究 卒業論文	専	教授	高井 直美 (58) <平成29年4月> 身近な心理学 こどもと自然 現代社会とこども※ 心理統計法Ⅰ 心理統計法Ⅱ 心理学基礎演習Ⅰ 初級実験演習Ⅱ 発達心理学概論 心理学演習 卒業研究 卒業論文	専	教授	高井 直美 (59) <平成29年4月> 身近な心理学 こどもと自然 現代社会とこども※ 心理統計法Ⅰ 心理統計法Ⅱ 心理学基礎演習Ⅰ 心理学基礎演習Ⅱ 初級実験演習Ⅱ 発達心理学概論 心理カウンセリング フィールド研修 心理学演習 卒業研究 卒業論文
専	教授	廣瀬 直哉 (50) <平成29年4月> 暮らしの統計学 心理学基礎演習Ⅰ 行動科学概論 上級実験演習 知覚心理学 生活環境の心理学 消費者行動の心理学 社会・ビジネス心理 フィールド研修 心理学演習 卒業研究 卒業論文	専	教授	廣瀬 直哉 (50) <平成29年4月> 暮らしの統計学 心理学基礎演習Ⅰ 行動科学概論 上級実験演習 知覚心理学 生活環境の心理学 消費者行動の心理学 社会・ビジネス心理 フィールド研修 心理学演習 卒業研究 卒業論文	専	教授	廣瀬 直哉 (51) <平成29年4月> 心理学概論 心理学基礎演習Ⅰ 上級実験演習 知覚心理学 学習の心理学 生活環境の心理学 社会・ビジネス心理 フィールド研修 心理学演習 卒業研究 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	職名
		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
専	松島 るみ (41) <平成29年4月>	教授	松島 るみ (42) <平成29年4月>	教授	松島 るみ (43) <平成29年4月>	教授
		心理学基礎演習Ⅱ 初級実験演習Ⅱ 現代社会調査入門 心理学情報処理 教育心理学概論 社会・ビジネス心理 フィールド研修 心理学演習 卒業研究 卒業論文		心理学基礎演習Ⅱ 初級実験演習Ⅱ 現代社会調査入門 心理学情報処理 教育心理学概論 社会・ビジネス心理 フィールド研修 心理学演習 卒業研究 卒業論文		心理学基礎演習Ⅱ 心理学実験演習Ⅱ 現代社会調査入門 心理学情報処理 教育心理学概論 社会・ビジネス心理 フィールド研修 心理学演習 卒業研究 卒業論文
専	向山 泰代 (54) <平成29年4月>	教授	向山 泰代 (54) <平成29年4月>	教授	向山 泰代 (55) <平成29年4月>	教授
		現代社会と女性・ 家族※ 心理学基礎演習Ⅱ 心理学研究法 心理テスト演習 臨床心理学概論 パーソナリティ心理 学 心理学演習 卒業研究 卒業論文		現代社会と女性・ 家族※ 心理学基礎演習Ⅱ 心理学研究法 心理テスト演習 臨床心理学概論 パーソナリティ心理 学 心理学演習 卒業研究 卒業論文		現代社会と女性・ 家族※ 心理学基礎演習Ⅱ 心理学研究法 心理テスト演習 臨床心理学概論 パーソナリティ心理 学 心理カウンセリング フィールド研修 心理学演習 卒業研究 卒業論文
専	尾崎(湯川)仁美 (45) <平成29年4月>	准教授	尾崎(湯川)仁美 (45) <平成29年4月>	准教授	尾崎(湯川)仁美 (46) <平成29年4月>	准教授
		心理学基礎演習Ⅱ 初級実験演習Ⅰ 推測統計学Ⅰ 推測統計学Ⅱ 質問紙調査法 現代青年の心理学 社会・ビジネス心理 フィールド研修 心理学演習 卒業研究 卒業論文		心理学基礎演習Ⅱ 初級実験演習Ⅰ 推測統計学Ⅰ 推測統計学Ⅱ 質問紙調査法 現代青年の心理学 社会・ビジネス心理 フィールド研修 心理学演習 卒業研究 卒業論文		心理学基礎演習Ⅱ 初級実験演習Ⅰ 推測統計学Ⅰ 推測統計学Ⅱ 質問紙調査法 現代青年の心理学 社会・ビジネス心理 フィールド研修 心理学演習 卒業研究 卒業論文
専	高田 未央 (46) <平成29年4月>	准教授	高田 未央 (46) <平成29年4月>	准教授	高田 未央 (47) <平成29年4月>	准教授
		こどもと自然 病児の発達と支援※ 心理学基礎演習Ⅱ 上級実験演習 障害児・者の心理学 精神保健福祉援助 実習指導 精神保健福祉援助実 習Ⅰ 精神保健福祉援助実 習Ⅱ 精神保健福祉援助実 習Ⅲ 心理学演習 卒業研究 卒業論文		こどもと自然 病児の発達と支援※ 心理学基礎演習Ⅱ 上級実験演習 障害児・者の心理学 精神保健福祉援助 実習指導 精神保健福祉援助実 習Ⅰ 精神保健福祉援助実 習Ⅱ 精神保健福祉援助実 習Ⅲ 心理学演習 卒業研究 卒業論文		こどもと自然 病児の発達と支援※ 心理学基礎演習Ⅱ 上級実験演習 障害児・者の心理学 精神保健福祉援助 実習指導 精神保健福祉援助実 習Ⅰ 精神保健福祉援助実 習Ⅱ 精神保健福祉援助実 習Ⅲ 心理カウンセリング フィールド研修 心理学演習 卒業研究 卒業論文
専	佐藤 睦子 (55) <平成29年4月>	准教授	佐藤 睦子 (56) <平成29年4月>	准教授	佐藤 睦子 (57) <平成29年4月>	准教授
		心理学基礎演習Ⅱ スクールカウンセリ ング論 心理カウンセリング 実践(アートセラ ピー) 心理カウンセリング フィールド研修 心理学演習 卒業研究 卒業論文		心理学基礎演習Ⅱ スクールカウンセリ ング論 心理カウンセリング 実践(アートセラ ピー) 心理カウンセリング フィールド研修 心理学演習 卒業研究 卒業論文		心理学基礎演習Ⅱ スクールカウンセリ ング論 心理カウンセリング 実践(アートセラ ピー) 心理カウンセリング フィールド研修 心理学演習 卒業研究 卒業論文
専	田中 蒼樹 (54) <平成29年4月>	准教授	田中 蒼樹 (55) <平成29年4月>	准教授	田中 蒼樹 (56) <平成29年4月>	准教授
		心理学基礎演習Ⅰ 心理テスト演習 臨床心理アッセメン ト 無意識の心理学 心理学演習 卒業研究 卒業論文		心理学基礎演習Ⅰ 心理テスト演習 臨床心理アッセメン ト 無意識の心理学 心理学演習 卒業研究 卒業論文		心理学基礎演習Ⅰ 心理テスト演習 臨床心理アッセメン ト 無意識の心理学 心理カウンセリング フィールド研修 心理学演習 卒業研究 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専	准教授	三好(鶴田) 智子 (42) <平成29年4月> 心理学基礎演習Ⅱ 心理カウンセリング 実践(面接技法) 心理カウンセリング 概論 心理カウンセリング 実践(アートセラ ピー) 心理学演習 卒業研究 卒業論文	三好(鶴田) 智子 (43) <平成29年4月> 心理学基礎演習Ⅱ 心理カウンセリング 実践(面接技法) 心理カウンセリング 概論 心理カウンセリング 実践(アートセラ ピー) 心理学演習 卒業研究 卒業論文	三好(鶴田) 智子 (44) <平成29年4月> 心理学基礎演習Ⅱ 心理カウンセリング 実践(面接技法) 心理カウンセリング 概論 心理カウンセリング 実践(アートセラ ピー) 心理カウンセリング フィールド研修 心理学演習 卒業研究 卒業論文
専	准教授	空間(福富) 美智子 (38) <平成29年4月> 心理学基礎演習Ⅰ 心理カウンセリング 実践(面接技法) 認知行動療法概論 心理カウンセリング フィールド研修 心理学演習 卒業研究 卒業論文	空間(福富) 美智子 (39) <平成29年4月> 心理学基礎演習Ⅰ 心理カウンセリング 実践(面接技法) 認知行動療法概論 心理カウンセリング フィールド研修 心理学演習 卒業研究 卒業論文	空間(福富) 美智子 (40) <平成29年4月> 心理学基礎演習Ⅰ 心理カウンセリング 実践(面接技法) 認知行動療法概論 心理カウンセリング フィールド研修 心理学演習 卒業研究 卒業論文
			村松 朋子 (43) <平成29年4月> 心理学基礎演習Ⅰ 初級実験演習Ⅰ 心理テスト演習 心理療法論 心理学演習 卒業研究 卒業論文	村松 朋子 (44) <平成29年4月> 心理学基礎演習Ⅰ 初級実験演習Ⅰ 心理テスト演習 心理療法論 心理学演習 卒業研究 卒業論文
				後藤 伸彦 (33) <平成30年4月> 暮らしの統計学 心理学実験演習Ⅱ 行動科学概論 社会・集団・家族心 理学Ⅰ(社会・集 団) 対人関係論 消費者行動の心理学
兼任	教授	岩崎(馬詰) れい (49) <平成29年4月> 子育てとワークライ フバランス 病児の発達と支援※	岩崎(馬詰) れい (49) <平成29年4月> 子育てとワークライ フバランス 病児の発達と支援※	岩崎(馬詰) れい (50) <平成29年4月> 子育てとワークライ フバランス 病児の発達と支援※
兼任	教授	牛田 好美 (57) <平成30年4月> こどもと子育ての生 活環境学※ 服飾心理学 衣生活情報論	牛田 好美 (58) <平成30年4月> こどもと子育ての生 活環境学※ 服飾心理学 衣生活情報論	牛田 好美 (59) <平成30年4月> こどもと子育ての生 活環境学※ 服飾心理学 衣生活情報論
兼任	教授	加藤 佐千子 (59) <平成29年4月> 現代社会と高齢者※	加藤 佐千子 (59) <平成29年4月> 現代社会と高齢者※	加藤 佐千子 (60) <平成29年4月> 現代社会と高齢者※
兼任	教授	小西 加保留 (66) <平成30年10月> 保健医療サービス	小西 加保留 (67) <平成30年10月> 保健医療サービス	小西 加保留 (68) <平成30年10月> 保健医療サービス
兼任	教授	工藤 哲夫 (59) <平成29年4月> 現代社会とこども※	工藤 哲夫 (59) <平成29年4月> 現代社会とこども※	
				渡邊 幸美 (67) <平成30年4月> 現代社会とこども※
兼任	教授	朱(佐藤) 鳳 (54) <平成29年4月> 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 海外研修(語学)Ⅰ	朱(佐藤) 鳳 (54) <平成29年4月> 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 海外研修(語学)Ⅰ	朱(佐藤) 鳳 (55) <平成29年4月> 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 中国語Ⅲ 海外研修(語学)Ⅰ
兼任	教授	須川 いずみ (61) <平成29年4月> 海外研修(語学)Ⅱa 海外研修(語学)Ⅱb	須川 いずみ (62) <平成29年4月> 海外研修(語学)Ⅱa 海外研修(語学)Ⅱb	
兼任	教授	鷺見 朗子 (53) <平成29年10月> 外国文学 アラビア語	鷺見 朗子 (54) <平成29年10月> 外国文学 アラビア語	鷺見 朗子 (55) <平成29年10月> 外国文学 アラビア語

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名		
兼任	教授	竹原 広実 (52) <平成30年4月> こどもと子育ての生活環境学※ 福祉住環境デザイン	竹原 広実 (53) <平成30年4月> こどもと子育ての生活環境学※ 福祉住環境デザイン	竹原 広実 (54) <平成30年4月> こどもと子育ての生活環境学※ 福祉住環境デザイン
兼任	教授	中村 久美 (57) <平成30年4月> こどもと子育ての生活環境学※	中村 久美 (58) <平成30年4月> こどもと子育ての生活環境学※	中村 久美 (59) <平成30年4月> こどもと子育ての生活環境学※
兼任	教授	萩原 暢子 (62) <平成29年4月> 身近な医学※ 病児の発達と支援※ 医学一般	萩原 暢子 (63) <平成29年4月> 身近な医学※ 病児の発達と支援※ 医学一般	萩原 暢子 (64) <平成29年4月> 身近な医学※ 病児の発達と支援※
				兼任 講師 寺谷 倫利子 (64) <平成30年4月> 人体の構造と機能及び疾病
兼任	教授	藤原 智子 (54) <平成29年4月> こどもと子育ての生活環境学※ 海外研修(生活と社会)	藤原 智子 (55) <平成29年4月> こどもと子育ての生活環境学※ 海外研修(生活と社会)	藤原 智子 (56) <平成29年4月> こどもと子育ての生活環境学※ 海外研修(生活と社会)
兼任	教授	三好 明夫 (58) <平成29年4月> 現代社会と病者・障がい者※	三好 明夫 (59) <平成29年4月> 現代社会と病者・障がい者※	三好 明夫 (60) <平成29年4月> 現代社会と病者・障がい者※
兼任	教授	吉田 智子 (54) <平成29年4月> 情報科学入門 情報演習Ⅰ 情報演習Ⅱ 情報処理	吉田 智子 (55) <平成29年4月> 情報科学入門 情報演習Ⅰ 情報演習Ⅱ 情報処理	吉田 智子 (56) <平成30年4月> 情報科学入門 情報演習Ⅰ 情報演習Ⅱ 情報処理 キャリア形成ゼミ 海外インターンシップ ノートルダム学
			兼任 教授 室田 保夫 (68) <平成29年4月> 現代社会と福祉Ⅰ 現代社会と福祉Ⅱ	兼任 教授 室田 保夫 (69) <平成29年4月> 現代社会と福祉Ⅰ 現代社会と福祉Ⅱ
				兼任 教授 柴田 周二 (69) <平成30年4月> 社会保障論Ⅰ 社会保障論Ⅱ 公的扶助論
兼任	准教授	石井 浩子 (46) <平成29年4月> 病児の発達と支援※	石井 浩子 (47) <平成29年4月> 病児の発達と支援※	石井 浩子 (48) <平成29年4月> 病児の発達と支援※
兼任	准教授	植田 恵理子 (55) <平成29年4月> 病児の発達と支援※	植田 恵理子 (56) <平成29年4月> 病児の発達と支援※	植田 恵理子 (57) <平成29年4月> 病児の発達と支援※
兼任	准教授	江川 正一 (61) <平成29年4月> 現代社会と病者・障がい者※ 病児の発達と支援※	江川 正一 (62) <平成29年4月> 現代社会と病者・障がい者※ 病児の発達と支援※	江川 正一 (63) <平成29年4月> 現代社会と病者・障がい者※ 病児の発達と支援※
兼任	准教授	太田 容次 (52) <平成29年4月> 病児の発達と支援※	太田 容次 (53) <平成29年4月> 病児の発達と支援※	太田 容次 (54) <平成29年4月> 病児の発達と支援※
兼任	准教授	小川 博士 (35) <平成29年4月> 身近な自然科学 こどもと自然	小川 博士 (35) <平成29年4月> 身近な自然科学 こどもと自然	小川 博士 (36) <平成29年4月> 身近な自然科学 こどもと自然
兼任	准教授	久野 将健 (51) <平成29年4月> キリスト教音楽入門 キリスト教音楽	久野 将健 (51) <平成29年4月> キリスト教音楽入門 キリスト教音楽	久野 将健 (52) <平成29年4月> キリスト教音楽入門 キリスト教音楽
兼任	准教授	神月 紀輔 (51) <平成31年4月> 情報科学	神月 紀輔 (52) <平成31年4月> 情報科学	神月 紀輔 (53) <平成31年4月> 情報科学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
兼任	准教授	酒井 久美子 (54) <平成29年4月>	酒井 久美子 (54) <平成29年4月>	酒井 久美子 (55) <平成29年4月>
		海外研修(生活と社会) 現代社会と病者・障がい者※ 地域福祉論Ⅰ 地域福祉論Ⅱ	海外研修(生活と社会) 現代社会と病者・障がい者※ 地域福祉論Ⅰ 地域福祉論Ⅱ	海外研修(生活と社会) 現代社会と病者・障がい者※ 地域福祉論Ⅰ 地域福祉論Ⅱ
兼任	准教授	佐藤 純 (52) <平成29年4月>	佐藤 純 (53) <平成29年4月>	佐藤 純 (54) <平成29年4月>
		精神保健学Ⅰ 精神保健学Ⅱ 精神保健福祉論Ⅰ 精神保健福祉論Ⅱ 精神保健福祉論Ⅲ 精神保健福祉相談援助の基盤(基礎) 精神保健福祉相談援助の基盤(専門) 精神保健福祉援助演習(基礎) 精神保健福祉援助演習(専門)Ⅰ 精神保健福祉援助演習(専門)Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導 精神保健福祉援助実習Ⅰ 精神保健福祉援助実習Ⅱ 精神保健福祉援助実習Ⅲ 社会福祉特講Ⅱ	精神保健学Ⅰ 精神保健学Ⅱ 精神保健福祉論Ⅰ 精神保健福祉論Ⅱ 精神保健福祉論Ⅲ 精神保健福祉相談援助の基盤(基礎) 精神保健福祉相談援助の基盤(専門) 精神保健福祉援助演習(基礎) 精神保健福祉援助演習(専門)Ⅰ 精神保健福祉援助演習(専門)Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導 精神保健福祉援助実習Ⅰ 精神保健福祉援助実習Ⅱ 精神保健福祉援助実習Ⅲ 社会福祉特講Ⅱ	精神保健学Ⅰ 精神保健学Ⅱ 精神保健福祉論Ⅰ 精神保健福祉論Ⅱ 精神保健福祉論Ⅲ 精神保健福祉相談援助の基盤(基礎) 精神保健福祉相談援助の基盤(専門) 精神保健福祉援助演習(基礎) 精神保健福祉援助演習(専門)Ⅰ 精神保健福祉援助演習(専門)Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導 精神保健福祉援助実習Ⅰ 精神保健福祉援助実習Ⅱ 精神保健福祉援助実習Ⅲ 社会福祉特講Ⅱ
兼任	准教授	東郷 多津 (53) <平成29年4月>	東郷 多津 (53) <平成29年4月>	東郷 多津 (54) <平成29年4月>
		英語総合Ⅰ 英語総合Ⅱ	英語総合Ⅰ 英語総合Ⅱ	英語総合Ⅰ 英語総合Ⅱ 海外研修(語学)Ⅰ 海外研修(語学)Ⅱ 海外研修(語学)Ⅱa 海外研修(語学)Ⅱb
		英語リスニング初級 英語リスニング中級 インターンシップ 教育の方法及び技術 教職実践演習(中・高)	英語リスニング初級 英語リスニング中級 インターンシップ 教育の方法及び技術 教職実践演習(中・高)	英語リスニング初級 英語リスニング中級 インターンシップ 教育の方法及び技術 教職実践演習(中・高)
兼任	准教授	長沼 光彦 (53) <平成29年4月>	長沼 光彦 (54) <平成29年4月>	長沼 光彦 (55) <平成29年4月>
		日本文学 ホスピタリティ京都	日本文学 ホスピタリティ京都	ホスピタリティ京都
兼任	准教授	畠山 寛 (44) <平成29年4月>	畠山 寛 (45) <平成29年4月>	畠山 寛 (46) <平成29年4月>
		病児の発達と支援※	病児の発達と支援※	病児の発達と支援※
兼任	准教授	平野 美保 (49) <平成29年4月>	平野 美保 (50) <平成29年4月>	
		キャリア形成 キャリア形成ゼミ	キャリア形成 キャリア形成ゼミ	
兼任	准教授	藤本(下村)陽三 (62) <平成29年4月>	藤本(下村)陽三 (63) <平成29年4月>	藤本(下村)陽三 (64) <平成29年4月>
		こどもと自然	こどもと自然	こどもと自然
兼任	准教授	吉田(小野澤)朋子 (45) <平成30年10月>	吉田(小野澤)朋子 (45) <平成30年10月>	吉田 朋子 (46) <平成30年10月>
		キリスト教美術	キリスト教美術	キリスト教美術
兼任	講師	青木(高柴)加奈子 (38) <平成29年4月>	青木(高柴)加奈子 (39) <平成29年4月>	青木(高柴)加奈子 (40) <平成29年4月>
		女性とライフキャリア 現代社会と女性・家族※	女性とライフキャリア 現代社会と女性・家族※	女性とライフキャリア 現代社会と女性・家族※
兼任	講師	中里 郁子 (52) <平成29年4月>	中里 郁子 (52) <平成29年4月>	中里 郁子 (53) <平成30年4月>
		キリスト教入門 聖書と文化	キリスト教入門 聖書と文化	キリスト教入門 聖書と文化

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
兼任	講師	矢島 雅子 (38) <平成30年10月>	矢島 雅子 (39) <平成30年10月>	矢島 雅子 (40) <平成30年10月>
		障害者福祉論	障害者福祉論	障害者福祉論
兼任	講師	York Weatherford (49) <平成30年4月>	York Weatherford (50) <平成30年4月>	York Weatherford (51) <平成30年4月>
		読むための英語 アカデミック英語	読むための英語 アカデミック英語	読むための英語 アカデミック英語
兼任	助教	住本 純 (33) <平成30年4月>	住本 純 (34) <平成30年4月>	住本 純 (35) <平成30年4月>
		体育講義 健康スポーツ演習	体育講義 健康スポーツ演習	体育講義 健康スポーツ演習
兼任	講師	青木 三陽 (40) <平成29年4月>	青木 三陽 (41) <平成29年4月>	青木 三陽 (42) <平成29年4月>
		ドイツ語	ドイツ語	ドイツ語
兼任	講師	石川 真美 (56) <平成29年4月>	石川 真美 (57) <平成29年4月>	石川 真美 (58) <平成29年4月>
		英語基礎Ⅰ 英語基礎Ⅱ	英語基礎Ⅰ 英語基礎Ⅱ	英語基礎Ⅰ 英語基礎Ⅱ
兼任	講師	石田 正浩 (54) <平成31年10月>	石田 正浩 (55) <平成31年10月>	石田 正浩 (56) <平成31年10月>
		産業心理学	産業心理学	産業心理学
兼任	講師	伊藤 薫 (28) <平成29年4月>		
		英語基礎Ⅰ 英語基礎Ⅱ		
兼任	講師	伊藤 奏子 (51) <平成30年4月>	伊藤 奏子 (51) <平成30年4月>	伊藤 奏子 (52) <平成30年4月>
		情報処理	情報処理	情報処理
兼任	講師	稲垣 顕子 (63) <平成29年4月>	稲垣 顕子 (63) <平成29年4月>	稲垣 顕子 (64) <平成29年4月>
		日本語講読Ⅰ 日本語講読Ⅱ	日本語講読Ⅰ 日本語講読Ⅱ	日本語講読Ⅰ 日本語講読Ⅱ
兼任	講師	伊村 大樹 (42) <平成29年4月>	伊村 大樹 (42) <平成29年4月>	伊村 大樹 (43) <平成29年4月>
		英語基礎Ⅰ 英語基礎Ⅱ	英語基礎Ⅰ 英語基礎Ⅱ	英語基礎Ⅰ 英語基礎Ⅱ 実用英語基礎 身近な英文法
兼任	講師	岩田 真理子 (62) <平成29年4月>	岩田 真理子 (62) <平成29年4月>	岩田 真理子 (63) <平成29年4月>
		ホスピタリティ入門	ホスピタリティ入門	ホスピタリティ入門
兼任	講師	翁 和美 (47) <平成29年10月>	翁 和美 (47) <平成29年4月>	翁 和美 (48) <平成29年4月>
		社会学概論	社会学概論	社会学概論
兼任	講師	王 嵐 (60) <平成29年4月>	王 嵐 (61) <平成29年4月>	王 嵐 (62) <平成29年4月>
		中国語Ⅰ	中国語Ⅰ	中国語Ⅰ
兼任	講師	大畑 好司 (65) <平成31年4月>	大畑 好司 (66) <平成31年4月>	大畑 好司 (67) <平成31年4月>
		心理関係概論	心理関係概論	心理関係概論
兼任	講師	荻原 靖史 (57) <平成29年4月>	荻原 靖史 (58) <平成29年4月>	荻原 靖史 (59) <平成29年4月>
		現代ジャーナリズム論	現代ジャーナリズム論	現代ジャーナリズム論
兼任	講師	小都 晶子 (41) <平成29年4月>	小都 晶子 (41) <平成29年4月>	
		東アジア近現代史	東アジア近現代史	
兼任	講師	郭 南燕 (53) <平成30年10月>	郭 南燕 (54) <平成30年10月>	郭 南燕 (55) <平成30年10月>
		キリスト教と日本文化※	キリスト教と日本文化※	キリスト教と日本文化※
兼任	講師	梶山(十河)玉香 (50) <平成29年4月>	梶山(十河)玉香 (51) <平成29年4月>	梶山(十河)玉香 (52) <平成29年4月>
		暮らしの法律学	暮らしの法律学	暮らしの法律学
兼任	講師			根岸 智代 (54) <平成30年4月> 東アジア近現代史

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	講師	片山 裕 (67) <平成29年4月> 国際関係論入門 ノートルダム学 海外インターンシッ プ	兼任	講師	片山 裕 (67) <平成29年4月> 国際関係論入門 ノートルダム学 海外インターンシッ プ	兼任	講師	片山 裕 (68) <平成30年4月> 国際関係論入門
兼任	講師	金 美仙 (52) <平成29年4月> コリア語Ⅰ コリア語Ⅱ コリア語Ⅲ	兼任	講師	金 美仙 (52) <平成29年4月> コリア語Ⅰ コリア語Ⅱ コリア語Ⅲ	兼任	講師	金 美仙 (53) <平成29年4月> コリア語Ⅰ コリア語Ⅱ コリア語Ⅲ
兼任	講師	工藤 春代 (41) <平成30年10月> 消費者教育 食品流通論	兼任	講師	工藤 春代 (41) <平成30年10月> 消費者教育 食品流通論			
						兼任	講師	鬼頭 弥生 (35) <平成30年10月> 消費者教育 食品流通論
兼任	講師	久保 圭 (32) <平成29年4月> 文章表現法	兼任	講師	久保 圭 (33) <平成29年4月> 文章表現法	兼任	講師	久保 圭 (34) <平成29年4月> 文章表現法
兼任	講師	黒田 一平 (29) <平成29年10月> 英語総合Ⅰ 英語総合Ⅱ	兼任	講師	黒田 一平 (29) <平成29年10月> 英語総合Ⅰ 英語総合Ⅱ 英語基礎Ⅰ 英語基礎Ⅱ	兼任	講師	黒田 一平 (30) <平成29年10月> 英語総合Ⅰ 英語総合Ⅱ 英語基礎Ⅰ 英語基礎Ⅱ
兼任	講師	小島 秀信 (38) <平成29年10月> 暮らしの経済学	兼任	講師	小島 秀信 (39) <平成29年10月> 暮らしの経済学			
						兼任	講師	百木 漢 (35) <平成30年10月> 暮らしの経済学
兼任	講師	柴 礼敏 (62) <平成29年4月> 中国語Ⅰ	兼任	講師	柴 礼敏 (62) <平成29年4月> 中国語Ⅰ	兼任	講師	柴 礼敏 (62) <平成29年4月> 中国語Ⅰ
			兼任	講師	陶 盈 (37) <平成29年4月> 中国語Ⅰ	兼任	講師	陶 盈 (38) <平成29年4月> 中国語Ⅰ
兼任	講師	坂本 優一郎 (45) <平成29年10月> ヨーロッパ近現代史				兼任	講師	森本 慶太 (37) <平成29年10月> ヨーロッパ近現代史
			兼任	講師	森本 慶太 (36) <平成29年10月> ヨーロッパ近現代史	兼任	講師	森本 慶太 (37) <平成29年10月> ヨーロッパ近現代史
兼任	講師	笹岡 隆甫 (41) <平成30年4月> ホスピタリティ京都	兼任	講師	笹岡 隆甫 (42) <平成30年4月> ホスピタリティ京都	兼任	講師	笹岡 隆甫 (43) <平成30年4月> ホスピタリティ京都
			兼任	学長	眞田 雅子 (74) <平成29年4月> 英語総合Ⅰ 英語総合Ⅱ			
						兼任	講師	Daniel Pearce (31) <平成30年4月> 英語総合Ⅰ 英語総合Ⅱ
兼任	講師	須藤 英幸 (49) <平成30年4月> キリスト教思想	兼任	講師	須藤 英幸 (50) <平成30年4月> キリスト教思想	兼任	講師	須藤 英幸 (51) <平成30年4月> キリスト教思想
兼任	講師	高岸 雅子 (58) <平成29年4月> 日本語表現Ⅰ 日本語表現Ⅱ	兼任	講師	高岸 雅子 (59) <平成29年4月> 日本語表現Ⅰ 日本語表現Ⅱ	兼任	講師	高岸 雅子 (60) <平成29年4月> 日本語表現Ⅰ 日本語表現Ⅱ
兼任	講師	橋 健一 (51) <平成29年10月> 文化人類学	兼任	講師	橋 健一 (52) <平成29年10月> 文化人類学	兼任	講師	橋 健一 (53) <平成29年10月> 文化人類学
兼任	講師	多田(茂木)昌代 (48) <平成31年4月> 心理療法論						
兼任	講師	田中 貴子 (61) <平成30年4月> 日本語特講Ⅰ	兼任	講師	田中 貴子 (62) <平成30年4月> 日本語特講Ⅰ	兼任	講師	田中 貴子 (63) <平成30年4月> 日本語特講Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	田中 敏彦 (63) <平成29年10月>	兼任	講師	田中 敏彦 (64) <平成29年10月>	兼任	講師	田中 敏彦 (65) <平成29年10月>
		フランス語			フランス語			フランス語
兼任	講師	田中 美和子 (54) <平成29年4月>	兼任	講師	田中 美和子 (55) <平成29年4月>			
		英語総合 I 英語総合 II 実用英語基礎 身近な英文法			実用英語基礎 身近な英文法			
			兼任	講師	高田 和美 (58) <平成29年4月>			
					英語総合 I 英語総合 II			
兼任	講師	玉井 雅人 (46) <平成29年4月>	兼任	講師	玉井 雅人 (47) <平成29年4月>	兼任	講師	玉井 雅人 (48) <平成29年4月>
		地球と宇宙の科学			地球と宇宙の科学			地球と宇宙の科学
兼任	講師	大喜 直彦 (55) <平成29年4月>	兼任	講師	大喜 直彦 (56) <平成29年4月>			
		日本近現代史 日本の宗教			日本近現代史 日本の宗教			
兼任	講師	知名 純子 (43) <平成31年10月>	兼任	講師	知名 純子 (44) <平成31年10月>	兼任	講師	知名 純子 (45) <平成31年10月>
		精神保健福祉援助技術各論 I 精神保健福祉援助技術各論 II			精神保健福祉援助技術各論 I 精神保健福祉援助技術各論 II			精神保健福祉援助技術各論 I 精神保健福祉援助技術各論 II
兼任	講師	鶴田 薫 (54) <平成30年4月>	兼任	講師	鶴田 薫 (54) <平成30年4月>	兼任	講師	鶴田 薫 (55) <平成30年4月>
		心理テスト演習 心理カウンセリング 実践(面接技法)			心理テスト演習 心理カウンセリング 実践(面接技法)			心理テスト演習 心理カウンセリング 実践(面接技法)
兼任	講師	寺西 みどり (63) <平成29年4月>	兼任	講師	寺西 みどり (64) <平成29年4月>	兼任	講師	寺西 みどり (65) <平成29年4月>
		歴史の中の女性 英語基礎 I 英語基礎 II			歴史の中の女性 英語基礎 I 英語基礎 II			歴史の中の女性 英語基礎 I 英語基礎 II
兼任	講師	豊田 陽介 (38) <平成29年10月>	兼任	講師	豊田 陽介 (39) <平成29年10月>	兼任	講師	豊田 陽介 (40) <平成29年10月>
		環境学概論			環境学概論			環境学概論
兼任	講師	土井 裕明 (52) <平成31年4月>	兼任	講師	土井 裕明 (53) <平成31年4月>	兼任	講師	土井 裕明 (54) <平成31年4月>
		権利擁護と成年後見 制度			権利擁護と成年後見 制度			権利擁護と成年後見 制度
兼任	講師	中村 央希 (32) <平成29年4月>	兼任	講師	岡崎 央希 (33) <平成29年4月>	兼任	講師	岡崎 央希 (34) <平成29年4月>
		英語総合 I 英語総合 II			英語総合 I 英語総合 II			英語総合 I 英語総合 II
兼任	講師	中村 千珠 (39) <平成29年10月>	兼任	講師	中村 千珠 (39) <平成29年10月>	兼任	講師	中村 千珠 (40) <平成29年10月>
		初級実験演習 I 初級実験演習 II 心理学英文購読(基礎) 心理学英文購読(応用)			初級実験演習 I 初級実験演習 II 心理学英文購読(基礎) 心理学英文購読(応用)			初級実験演習 I 心理学実験演習 II 心理学英文購読(基礎) 心理学英文購読(応用)
兼任	講師	中村 亮太 (34) <平成30年4月>	兼任	講師	中村 亮太 (35) <平成30年4月>	兼任	講師	中村 亮太 (36) <平成30年4月>
		情報処理			情報処理			情報処理
兼任	講師	新村 佳史 (56) <平成30年4月>	兼任	講師	新村 佳史 (56) <平成30年4月>	兼任	講師	新村 佳史 (57) <平成30年4月>
		ビジネスの基礎 マーケティング論			ビジネスの基礎 I ビジネスの基礎 II マーケティング論 ソーシャルマーケティング論			ビジネスの基礎 I マーケティング論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	講師	沼野 尚美 (59) <平成29年4月>	ボランティア概論
兼任	講師	野村 昭夫 (58) <平成29年4月>	健康スポーツ演習
兼任	講師	野村 晴美 (57) <平成29年4月>	健康スポーツ演習 体育実技
兼任	講師	橋本 史人 (44) <平成31年4月>	精神科リハビリテーション学Ⅰ 精神科リハビリテーション学Ⅱ
兼任	講師	日比 伊奈穂 (43) <平成30年10月>	日本語特講Ⅱ
兼任	講師	福山 幸子 (48) <平成30年4月>	心理テスト演習 心理カウンセリング 実践(面接技法) 家族心理学 心理カウンセリング 実践(アートセラピー)
兼任	講師	藤川 洋子 (65) <平成31年10月>	犯罪心理学
兼任	講師	藤田 朋子 (55) <平成29年4月>	ジェンダー論
兼任	講師	藤本 幸治 (47) <平成29年4月>	英語総合Ⅰ 英語総合Ⅱ
兼任	講師	松井 吉康 (54) <平成29年10月>	生命倫理
兼任	講師	松本 ドロタ (44) <平成29年4月>	英語総合Ⅰ 英語総合Ⅱ
兼任	講師	村上 裕美 (55) <平成29年4月>	英語基礎Ⅰ 英語基礎Ⅱ
兼任	講師	森下 正修 (43) <平成31年4月>	認知心理学
兼任	講師	横山(須賀)真紀 (41) <平成29年10月>	憲法と人権
兼任	講師	吉村(竹内)恵 (60) <平成29年10月>	女性起業論
兼任	講師	Eric Hail (45) <平成30年4月>	日常の英会話 旅行の英会話 やさしいビジネス英会話

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	講師	志藤 修史 (53) <平成29年4月>	ボランティア概論
兼任	講師	野村 昭夫 (59) <平成29年4月>	健康スポーツ演習
兼任	講師	野村 晴美 (58) <平成29年4月>	健康スポーツ演習 体育実技
兼任	講師	橋本 史人 (45) <平成31年4月>	精神科リハビリテーション学Ⅰ 精神科リハビリテーション学Ⅱ
兼任	講師	日比 伊奈穂 (44) <平成30年10月>	日本語特講Ⅱ
兼任	講師	福山 幸子 (49) <平成30年4月>	心理テスト演習 心理カウンセリング 実践(面接技法) 家族心理学 心理カウンセリング 実践(アートセラピー)
兼任	講師	藤川 洋子 (66) <平成31年10月>	犯罪心理学
兼任	講師	藤田 朋子 (55) <平成29年10月>	ジェンダー論
兼任	講師	藤本 幸治 (47) <平成29年4月>	英語総合Ⅰ 英語総合Ⅱ
兼任	講師	松井 吉康 (55) <平成29年10月>	生命倫理
兼任	講師	森 ユキエ (67) <平成29年4月>	英語総合Ⅰ 英語総合Ⅱ
兼任	講師	村上 裕美 (56) <平成29年4月>	英語基礎Ⅰ 英語基礎Ⅱ
兼任	講師	森下 正修 (43) <平成31年4月>	認知心理学
兼任	講師	横山(須賀)真紀 (42) <平成29年10月>	憲法と人権
兼任	講師	吉村(竹内)恵 (61) <平成29年10月>	女性起業論
兼任	講師	Eric Hail (46) <平成30年4月>	日常の英会話 旅行の英会話 やさしいビジネス英会話

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	講師	志藤 修史 (54) <平成29年4月>	ボランティア概論
兼任	講師	野村 昭夫 (60) <平成29年4月>	健康スポーツ演習 体育実技
兼任	講師	野村 晴美 (59) <平成29年4月>	健康スポーツ演習 体育実技
兼任	講師	橋本 史人 (46) <平成31年4月>	精神科リハビリテーション学Ⅰ 精神科リハビリテーション学Ⅱ
兼任	講師	日比 伊奈穂 (45) <平成30年10月>	日本語特講Ⅱ
兼任	講師	福山 幸子 (50) <平成30年4月>	心理テスト演習 心理カウンセリング 実践(面接技法) 社会・集団・家族心理学Ⅱ(家族) 心理カウンセリング 実践(アートセラピー)
兼任	講師	藤川 洋子 (67) <平成31年10月>	犯罪心理学
兼任	講師	藤田 朋子 (56) <平成29年10月>	ジェンダー論
兼任	講師	藤本 幸治 (48) <平成29年4月>	英語総合Ⅰ 英語総合Ⅱ
兼任	講師	松井 吉康 (56) <平成29年10月>	生命倫理
兼任	講師	森 ユキエ (68) <平成29年4月>	英語総合Ⅰ 英語総合Ⅱ
兼任	講師	村上 裕美 (57) <平成29年4月>	英語基礎Ⅰ 英語基礎Ⅱ
兼任	講師	森下 正修 (44) <平成31年4月>	認知心理学
兼任	講師	横山(須賀)真紀 (43) <平成29年10月>	憲法と人権
兼任	講師	吉村(竹内)恵 (62) <平成29年10月>	女性起業論
兼任	講師	Eric Hail (47) <平成30年4月>	日常の英会話 旅行の英会話 やさしいビジネス英会話

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名		担当授業科目名		担当授業科目名
兼任	講師	Jacoba Akazawa (61) <平成30年4月>	兼任	講師	Jacoba Akazawa (62) <平成30年4月>	
		日常の英会話 旅行の英会話 留学の英会話 おもてなしの英会話			日常の英会話 旅行の英会話 留学の英会話 おもてなしの英会話	
兼任	講師	Jodie Campbell (47) <平成30年4月>	兼任	講師	Jodie Campbell (47) <平成30年4月>	
		日常の英会話 留学の英会話 おもてなしの英会話 歌って覚える英語表現			日常の英会話 留学の英会話 おもてなしの英会話 歌って覚える英語表現	
兼任	講師	John Breen (61) <平成30年10月>	兼任	講師	John Breen (61) <平成30年10月>	
		キリスト教と 日本文化※			キリスト教と 日本文化※	
兼任	講師	VALVERDE IBANEZ María del Pilar (36) <平成29年4月>				
		スペイン語				
			兼任	講師	安藤 幸治 (43) <平成29年4月>	
					スペイン語	
			兼任	講師	平山 幸乃 (29) <平成30年4月>	
					スペイン語	

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。**
・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・平成29年4月 村松朋子 准教授の就任。平成29年1月教員審査済
- ・室田保夫 兼任教授の補充。
- ・伊藤 薫 兼任講師の辞退により、黒田一平 兼任講師に変更。
- ・科目開講期の変更により、翁 和美 兼任講師の就任時期の変更。
- ・教育体制充実のため、陶 盈 兼任講師の補充
- ・坂本優一郎 兼任講師の辞退により、森本慶太 兼任講師に変更。
- ・教育体制充実のため、真田雅子 兼任講師の追加補充。
- ・田中美和子 兼任講師の科目辞退により、葛田和美 兼任講師に変更。
- ・中村央希 兼任講師の改姓により、岡崎央希に変更。
- ・沼野尚美 兼任講師の辞退により、志藤修史 兼任講師に変更。
- ・科目開講期の変更により、藤田朋子 兼任講師の就任時期の変更。
- ・松本ドロタ 兼任講師の辞退により、森ユキエ 兼任講師に変更。
- ・VALVERDE IBANEZ Maria Pilar 兼任講師の辞退により、安藤幸治 兼任講師に変更。

【平成30年度】

- ・平成30年3月 上田恵津子 教授の辞任。
- ・平成30年4月 後藤伸彦 講師の就任。平成30年1月教員資格審査済。
- ・工藤哲夫 兼任教授の辞任により、渡邊春美 兼任教授に変更。
- ・須川いずみ 兼任教授の辞退により、東郷多津 兼任准教授、York Weatherford 兼任講師に変更。
- ・萩原暢子 兼任教授の辞退により、寺谷倫利子 兼任講師に変更。
- ・柴田周二 兼任教授の補充。
- ・神月紀輔 兼任教員の職位が、平成30年4月准教授から教授に変更。
- ・長沼光彦 兼任教員の職位が、平成30年4月准教授から教授に変更。
- ・長沼光彦 兼任教授の辞退により、武田悠希 兼任講師の補充。
- ・平野美保 兼任准教授の辞退により、荒尾千春 兼任講師の補充。
- ・吉田(小野澤)朋子の改姓のため、吉田朋子に変更。
- ・中里郁子 兼任講師の職位が、平成30年4月講師から准教授に変更。
- ・住本 純 兼任助教の職位が、平成30年4月助教から講師に変更。
- ・小都晶子 兼任講師の辞任により、根岸智代 兼任講師に変更。
- ・工藤春代 兼任講師の辞任により、鬼頭弥生 兼任講師に変更。
- ・小島秀信 兼任講師の辞任により、百木 漢 兼任講師に変更。
- ・真田雅子 兼任講師の辞任により、Daniel Pearce 兼任講師に変更。
- ・田中美和子 兼任講師、葛田和美 兼任講師の辞任により、松岡真由子 兼任講師に変更。
- ・大喜直彦 兼任講師の辞任により、小林健太 兼任講師に変更。
- ・Jacoba Akazawa 兼任講師の辞任により、Jacques Wilburnに変更。
- ・Jodie Campbell 兼任講師の辞退により、Katy Simpson兼任講師に変更。
- ・安藤幸治 兼任講師の辞任により、平山幸乃 兼任講師に変更。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、**大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(A/C)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
10	5
名	名

- (注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)	教授	准教授	講師	助教	計(C)
7	6	0	0	13	6	6	1	0	13	6	6	1	0	13
(7)	(6)	(-)	(-)	(13)						[Δ1]	[-]	[1]	[-]	[-]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 - ・ 「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、「**現在(報告書提出時)の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65または70 歳	0 名	0 名

(注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告書提出時)の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{13}{13} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在(報告書提出時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告書提出時)の状況(B)}} = \frac{0}{13} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
		該当なし					
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授	上田 恵津子	必修	心理学概論	①	H30. 3. 31付けで病氣療養のため辞任 (30)	
			選択	学習の心理学	①		
			選択	現代社会の心理学	①		
			選択	対人関係論	①		
			必修	卒業研究	①		
			選択	卒業論文	①		
			必修	心理学基礎演習 I	①		
			必修	心理学演習	①		
			選択	社会・ビジネス心理フィールド研修	①		
必修	初級実験演習 I	①					
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
1 人	必修	5 科目	必修	5 科目	必修	0 科目	
	選択	5 科目	選択	5 科目	選択	0 科目	
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	
	計	10 科目	計	10 科目	計	0 科目	

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
1 人	必修	5 科目	必修	5 科目	必修	0 科目	
	選択	5 科目	選択	5 科目	選択	0 科目	
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	
	計	10 科目	計	10 科目	計	0 科目	

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-(3)合計(D)+(F)}{(2)-(2)設置時の計画(A)} = \frac{1}{13} = \boxed{7.69} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計					後任補充状況の集計		
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0 人	必修		0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択		0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由		0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計		0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員(教授)の辞任については、病氣療養の理由のためやむを得ないと考えている。
 なお、既に後任の教員を補充しており、辞任教員の担当(予定)科目は後任教員が担当するほか、他の適任専任教員が担当し、学生への教育および履修等への影響はない。
 科目担当教員の交代については、シラバスで担当教員を修正しているほか、年度当初に学生に対し周知を図っている。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成28年8月)	<p>・「卒業研究」も「卒業論文」も4年次通年科目であるにもかかわらず、「『卒業研究』で個人による心理学的研究を行ったもの」を「卒業論文」の履修対象者との記載があるため、学生がどの時点で「卒業論文」の履修を決定するのか、口頭試問を行う主査・副査の選定方法等を明確にした上で、学生に対して適切な履修指導を行うことが望ましい。また、大学院進学者や認定心理士資格取得希望者以外でも、希望があれば「卒業論文」を選択履修できるよう配慮することが望ましい。</p>	<p>改善意見</p> <p>・平成29年2月に心理学科において、「コース選択・ゼミ分け・卒業研究・卒業論文」検討ワーキング・グループ（以下「WG」）を設置した。本WGは、教務委員をリーダーとし、5名の専任教員で構成し、平成29年度入学生が2年次進級時にコースを選択する方法及び3年次進級時のゼミ選択と卒業研究・卒業論文に関する詳細な取り決めを検討している。検討の過程については、心理学科において共有し、最終的に心理学科の履修上の指導要領として取り決める。(29)</p> <p>・学科WGでの検討を経て、学科において、平成29年度入学生の2年次からのコース分属は学生の希望を基本として決定した。今後、3年次進級前にゼミ選択方法等の取り決め、3年次後期に、卒業研究・卒業論文に関する指導要領を作成して履修</p>	<p>未履行</p> <p>・平成31年度前半に卒業研究・卒業論文に関する指導要領に基づき履修指導を行う。また、「卒業論文」の口頭試問を行う主査・副査の選定方法等を示して、3年次後期に可能な限り学生の「卒業論文」の履修希望を尊重して履修決定をする。</p>
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年2月)	<p>・現代人間学部心理学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>改善意見</p> <p>・平成30年度は、昨年度と比べて、入学生の増加はあったが、未だ定員充足率の平均が0.7倍未満である。今後、他大学との差別化の観点も考慮した広報活動に力を入れ、学生確保に努める。(30)</p>	<p>未履行</p> <p>・引き続き、学生確保のため最大限の広報活動を行う。なお、完成年度までの入学者状況をみて、入学定員の見直しや学科の改革を行う。(30)</p>
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年2月)	<p>・同一設置者が設置する既設学部等（人間文化学部人間文化学科）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	<p>改善意見</p> <p>・平成30年度における人間文化学部人間文化学科の4年間の定員充足率の平均は、0.71倍となった。今後も一層、広報活動に力を入れ学生確保に努める。また、平成31年度から学びの特性をより明確に示す、国際日本文化学科に名称変更して学生確保に繋げる。(30)</p>	<p>履行済</p>

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。

その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。

・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<現代人間学部 心理学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

FD活動

- ・ 京都ノートルダム女子大学FD委員会を設置(別添1 参照)

SD活動

- ・ 学校法人または大学事務局において実施

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

FD活動

- ・ 毎月1回(8月及び12月を除く)年間10回開催
- ・ 委員は各学科から選出された教員と担当課長で構成し、開催は全員出席を原則としている。

c 委員会の審議事項等

FD活動

- ・ FD活動の企画立案
- ・ FD活動の実施計画の策定及び評価
- ・ FDに関する研修及び研究
- ・ FD報告書の作成
- ・ FDに関する情報の収集と提供
- ・ FD関係団体との連携に関すること 等

② 実施状況

a 実施内容

FD活動

- ・ FD研修会
- ・ 全学教員FD研修会
- ・ 大学コンソーシアム京都主催の「FDフォーラム」に委員として参画及び教職員の参加
- ・ オープンクラス開催

SD活動

- ・ ノートルダム三校合同研修会
- ・ 新任教職員研修会
- ・ 教職員研修会

b 実施方法

FD活動

- ・ 複数の機会を提供し教員参加の機会を確保
- ・ 全学教員FD研修会(授業方法等について)
- ・ 平成29年度は学内教員による「特色ある授業」の報告と意見交換
- ・ 大学コンソーシアム京都主催のFD研修会への参加
- ・ 平成29年度オープンクラス・・・教員相互の授業参観・コメント提出

SD活動

- ・ ノートルダム三校合同研修会・・・設立理念(ミッション・コミットメント)
- ・ 新任教職員研修・・・大学・学部・学科の設置趣旨等
- ・ 教職員研修・・・①外部講師による講義(大学改革等)およびワークショップ
②学内職員による大学関係基本法令の理解と解釈および就業規則関係の説明

c 開催状況（教員の参加状況含む）

FD活動

・全学FD研修会

参加者数 83名（教員68名のうち、55名参加、参加率77.5%）

・大学コンソーシアム京都主催のFD研修会参加（FD研修会欠席者に対する措置）させた。

・オープンクラス

ほぼ全科目について、3週間の「オープンクラス・ウィーク」を実施した。授業参観者の「参観者コメントシート」は、29件であった。

SD活動

・ノートルダム三校合同研修会・・・参加者数 教員45名、事務系38名

・新任教職員研修・・・新規採用教職員 教員6名、事務系3名

・教職員研修 ①参加者数 事務系36名

②参加者数 事務系42名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・研修会によって、大学教育の動向や考え方、PBLの手法、ゼミ授業での指導方法等が教員間で共有され、授業改善に活かされている。

・オープンクラスでは、教員間で授業について検討することにより、授業方法の知識や技能を共有し授業改善に反映されるよう意識共有を図っている。

・大学の設立理念や学部の設置趣旨等を再確認することにより、教育・指導に活かしている。

・SD活動によって主に事務系職員が基本的な教育関係法令の高い業務手法が提供でき得ることで、質の高い教員サービスに繋げ、間接的に授業改善に活かされている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

・全学的にほぼ全科目実施している。

・実施時期は、毎年、前期 7月、後期 12～1月

b 教員や学生への公開状況、方法等

・実施結果は、教職員及び学生が閲覧できるようにしている。また、WEB上においても公表している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

現代人間学部心理学科の設置の趣旨・目的は、「現代社会の要請に応えるために、心理学の専門性を高度にしつつ生活科学や社会福祉学などの隣接分野を融合させ、急速に進展するグローバル化・情報化社会及び少子高齢化社会が抱える諸課題について広い視野から心理学教育及び研究を行うことにより、多様化・複雑化する現代社会が抱える諸問題を柔軟にかつ創造的に解決へと導くことのできる人材の養成をめざす。心理学科では、臨床心理領域、社会心理領域を主な領域に据え、認知心理学、学習心理学、教育心理学、発達心理学などの心理学諸領域を統合させ、さらには生活科学、社会福祉学などの隣接領域とも有機的に関連づけた教育・研究をめざす。これにより、社会のさまざまな現場で必要とされる心理学の実証的な理論と技法を身につけ、幅広くかつ多様な観点から「人間の行動・こころ」の理解を深化させ、心理学の実践的技能を社会の安寧と人々の幸福の実現に向けて応用できる人材養成に向けた教育・研究を可能にする」とした。

これらの趣旨・目的を達成するため、平成29年度に入学した新入生に対しては、1年次必修の「心理学基礎演習Ⅰ」「心理学基礎演習Ⅱ」において、2年次から分かれる2コース（臨床心理領域の心理カウンセリングコース、社会心理領域の社会・ビジネス心理コース）の専門性について、上級生の活動紹介も含めた、具体的な情報を提供し、将来の資格取得やキャリア形成について意識づけた。その結果、1年次の終わりに、学生たちは混乱なく、自らの意志で所属コースを選択することができ、2年次以降の専門教育に期待を寄せている。

また、平成29年9月に公認心理師法が施行されたことにより、在学生には、公認心理師受験資格を得るための経過措置のカリキュラムを設定し、平成30年度以降の入学生には、法令で定められた公認心理師カリキュラムを整備するためのカリキュラム改訂を行った。

以上のことから、設置の趣旨・目的を実現させるための取り組みを着実に展開していると評価できる。

なお、学生確保については、昨年度と比較すると、志願者（103→120人）、合格者数（89→100人）、入学者数（58→65人）は、それぞれ増加したが、入学定員の充足に至らなかった。ただし、学科オリジナルサイト、オープンキャンパス、高校訪問、出張模擬授業などによる学科独自の学生確保の広報活動の成果は出てきており、今後も更なる学生確保策の推進や心理学科の専門教育の充実した内容や学生への丁寧なサポートをアピールし、学生確保につなげる。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成30年5月1日 公表

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、関係機関及び希望があった学生に各1冊を配布予定
- ・大学ホームページ上に公開予定（平成30年8月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成34年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（4）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無

（ 有 ・ 無 ）

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期

（平成30年 8月 1日）

（注）・「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人ノートルダム女学院

(2) 大学名

京都ノートルダム女子大学

(3) 大学の位置

〒606-0847
京都府京都市左京区下鴨南野々神町1番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ワダ タマキ) 和田 環 (平成20年11月)		
学長	(セリタ ケンタロウ) 芹田 健太郎 (平成25年4月)	(サナダ マサコ) 眞田 雅子 (平成29年4月)	前任者は平成29年3月31日任期満了、平成29年4月に後任者が就任したため(29)
学部長	(ナカムラ クミ) 中村 久美 (平成29年4月)	(カトウ サチコ) 加藤 佐千子 (平成29年4月)	予定者は副学長に就任、平成29年4月に交代就任したため(29)
学科主任	未定	(タナカ ヒロキ) (クドウ テツオ) 田中 裕喜 工藤 哲夫 (平成30年4月) (平成29年4月)	前任者が退職のため、平成30年4月に後任者が就任(30) 平成29年3月に決定したため (29)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
現代人間学部 こども教育学科 学士(こども教育)	教育学・保育学関係	4年	70人	- 年次人	280人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	70 (-) [-]	(-) [-]	70 (-) [-]	(-) [-]	0.79倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	83 (-) [-]	- (-) [-]	106 (-) [-]	- (-) [-]		
受験者数	() []	() []	() []	() []	82 (-) [1]	- (-) [-]	100 (-) [-]	- (-) [-]		
合格者数	() []	() []	() []	() []	68 (-) [1]	- (-) [-]	95 (-) [-]	- (-) [-]		
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	46 (-) [-]	- (-) [-]	66 (-) [-]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A					0.65	0.94				

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	46	-	66	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2年次			-	-	-	-	46	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3年次					-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	
4年次							-	-	
							[-]	[-]	
							(-)	(-)	
計	-	-	-	-	46		112		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		[-]		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		(-)		

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
平成28年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
平成29年度	46 人	0 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	— 人	— 人	
平成30年度	66 人	0 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	— 人	— 人	
合計	112 人	0 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{46} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{66} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<現代人間学部 こども教育学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	日本文学	1前	2								兼1
	外国文学	1後	2								兼1
	日本近現代史	1前	2								兼1
	日本の宗教	1後	2								兼1
	東アジア近現代史	1前	2								兼1
	ヨーロッパ近現代史	1後	2								兼1
	歴史の中の女性	1後	2								兼1
	身近な心理学	1前	2								兼1
	文化人類学	1後	2								兼1
	暮らしの法律学	1前	2								兼1
	憲法と人権	1後	2								兼1
	暮らしの経済学	1後	2								兼1
	国際関係論入門	1前	2								兼1
	社会学概論	1後	2								兼1
	ジェンダー論	1前	2								兼1
	ボランティア概論	1前	2								兼1
	子育てとワークライフバランス	2前	1								兼1
	こどもと子育ての生活環境学	2前	1								兼4
	海外研修(生活と社会)	1・2・3・4年	1								兼2
	身近な自然科学	1前	2				1				
	暮らしの統計学	1後	2								兼1
	地球と宇宙の科学	1前	2								兼1
	情報科学入門	1後	2								兼1
	環境学概論	1後	2								兼1
	身近な医学	1・2前	2			1					兼1
	生命倫理	1後	2								兼1
	こどもと自然	1通	2				2				兼2
	英語基礎Ⅰ	1前	1								兼5
	英語総合Ⅰ	1前	1								兼6
	英語基礎Ⅱ	1後	1								兼5
	英語総合Ⅱ	1後	1								兼6
	日常の英会話	2前・後	1								兼3
	旅行の英会話	2後	1								兼2
	留学の英会話	2後	1								兼2
	おもてなしの英会話	2前	1								兼2
	やさしいビジネス英会話	2前	1								兼1
	歌って覚える英語表現	2後	1								兼1
	英語リスニング初級	2前	1								兼1
	英語リスニング中級	2後	1								兼1
	読むための英語	2前	1								兼1
	実用英語基礎	2後	1								兼2
	身近な英文法	2前	1								兼2
アカデミック英語	3前	1								兼1	
ドイツ語	1前	2								兼1	
フランス語	1後	2								兼1	
スペイン語	1前	2								兼1	
アラビア語	1後	2								兼1	
中国語Ⅰ	1前・後	2								兼3	
中国語Ⅱ	1後	2								兼1	
中国語Ⅲ	2前	2								兼1	
ロシア語Ⅰ	1前・後	2								兼1	
ロシア語Ⅱ	1後	2								兼1	
ロシア語Ⅲ	2前	2								兼1	
海外研修(語学)Ⅰ	1・2・3・4年	2								兼1	
海外研修(語学)Ⅱa	1・2・3年	2								兼1	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	日本文学	1前	2								兼1
	外国文学	1後	2								兼1
	日本近現代史	1前	2								兼1
	日本の宗教	1後	2								兼1
	東アジア近現代史	1前	2								兼1
	ヨーロッパ近現代史	1後	2								兼1
	歴史の中の女性	1後	2								兼1
	身近な心理学	1前	2								兼1
	文化人類学	1後	2								兼1
	暮らしの法律学	1前	2								兼1
	憲法と人権	1後	2								兼1
	暮らしの経済学	1後	2								兼1
	国際関係論入門	1前	2								兼1
	社会学概論	1前	2								兼1
	ジェンダー論	1後	2								兼1
	ボランティア概論	1前	2								兼1
	子育てとワークライフバランス	2前	1								兼1
	こどもと子育ての生活環境学	2前	1								兼4
	海外研修(生活と社会)	1・2・3・4年	1								兼2
	身近な自然科学	1前	2					1			
	暮らしの統計学	1後	2								兼1
	地球と宇宙の科学	1前	2								兼1
	情報科学入門	1後	2								兼1
	環境学概論	1後	2								兼1
	身近な医学	1・2前	2				1				兼1
	生命倫理	1後	2								兼1
	こどもと自然	1通	2					2			兼2
	英語基礎Ⅰ	1前	1								兼5
	英語総合Ⅰ	1前	1								兼6
	英語基礎Ⅱ	1後	1								兼5
	英語総合Ⅱ	1後	1								兼6
	日常の英会話	2前・後	1								兼3
	旅行の英会話	2後	1								兼2
	留学の英会話	2後	1								兼2
	おもてなしの英会話	2前	1								兼2
	やさしいビジネス英会話	2前	1								兼1
	歌って覚える英語表現	2後	1								兼1
	英語リスニング初級	2前	1								兼1
	英語リスニング中級	2後	1								兼1
	読むための英語	2前	1								兼1
	実用英語基礎	2後	1								兼2
	身近な英文法	2前	1								兼2
アカデミック英語	3前	1								兼1	
ドイツ語	1前	2								兼1	
フランス語	1後	2								兼1	
スペイン語	1前	2								兼1	
アラビア語	1後	2								兼1	
中国語Ⅰ	1前・後	2								兼3	
中国語Ⅱ	1後	2								兼1	
中国語Ⅲ	2前	2								兼1	
ロシア語Ⅰ	1前・後	2								兼1	
ロシア語Ⅱ	1後	2								兼1	
ロシア語Ⅲ	2前	2								兼1	
海外研修(語学)Ⅰ	1・2・3・4年	2								兼1	
海外研修(語学)Ⅱa	1・2・3年	2								兼2	

共通教育科目	海外研修(語学)Ⅱb	1・2・3・4休	2						兼1	海外研修(語学)Ⅱb	1・2・3・4休	2								兼2	
	日本語講読Ⅰ	1前	1						兼1	日本語講読Ⅰ	1前	1								兼1	
	日本語講読Ⅱ	1後	1						兼1	日本語講読Ⅱ	1後	1								兼1	
	日本語表現Ⅰ	1前	1						兼1	日本語表現Ⅰ	1前	1								兼1	
	日本語表現Ⅱ	1後	1						兼1	日本語表現Ⅱ	1後	1								兼1	
	日本語特講Ⅰ	2前	1						兼1	日本語特講Ⅰ	2前	1								兼1	
	日本語特講Ⅱ	2後	1						兼1	日本語特講Ⅱ	2後	1								兼1	
	文章表現法	1前・後	2						兼1	文章表現法	1前・後	2									兼1
	情報演習Ⅰ	1前・後	1						兼1	情報演習Ⅰ	1前・後	1									兼1
	情報演習Ⅱ	2前・後	1						兼1	情報演習Ⅱ	2前・後	1									兼1
	情報処理	2前・後	2						兼3	情報処理	2前・後	2									兼3
	体育講義	1後	1				1			体育講義	1後	1					1				
	健康スポーツ演習	1前・後	2				1		兼2	健康スポーツ演習	1前・後	2					1				兼2
	体育実技	1前	1						兼1	体育実技	1前	1									兼2
	キリスト教入門	1前・後	2						兼1	キリスト教入門	1前・後	2									兼1
	キリスト教音楽入門	1前・後	1						兼1	キリスト教音楽入門	1前・後	1									兼1
	聖書と文化	2前	2						兼1	聖書と文化	2前	2									兼1
	キリスト教と日本文化	2後	2						兼2	キリスト教と日本文化	2後	2									兼2
	キリスト教思想	2前	2						兼1	キリスト教思想	2前	2									兼1
	キリスト教美術	2後	2						兼1	キリスト教美術	2後	2									兼1
キリスト教音楽	2後	2						兼1	キリスト教音楽	2後	2									兼1	
ノートルダム学	1前	2						兼1	ノートルダム学	1前	2									兼1	
女性とライフキャリア	1前・後	2						兼1	女性とライフキャリア	1前・後	2									兼1	
ホスピタリティ入門	1前・後	2						兼1	ホスピタリティ入門	1前・後	2									兼1	
ホスピタリティ京都	2・3前	2						兼2	ホスピタリティ京都	2・3前	2									兼2	
キャリア形成	3前・後	2						兼1	キャリア形成	3前・後	2									兼1	
キャリア形成ゼミ	2通	2						兼1	キャリア形成ゼミ	2通	2									兼1	
インターンシップ	2・3・4通	2						兼1	インターンシップ	2・3・4通	2									兼1	
海外インターンシップ	2・3・4休	2						兼1	海外インターンシップ	2・3・4休	2									兼1	
学部共通科目	現代社会とこども	1前	1		1				兼1	現代社会とこども	1前	1		1							兼1
	現代社会と女性・家族	1前	1						兼2	現代社会と女性・家族	1前	1									兼2
	現代社会と高齢者	1前	1						兼2	現代社会と高齢者	1前	1									兼2
	現代社会と病者・障がい者	1前	1		1				兼3	現代社会と病者・障がい者	1前	1		1							兼3
	病児の発達と支援	1休	2		1	5			兼4	病児の発達と支援	1休	2		1	5						兼4
情報科学	3前	2		1					情報科学	3前	2		1								
専門教育科目	こども教育基礎演習	1前	1		4	10	1	1		こども教育基礎演習	1前	1		5	10	1					
	こども教育フィールド研修	1前	1		3	10	1	1		こども教育フィールド研修	1前	1		4	10	1					
	教職論	1前	2			1				教職論	1前	2			1						
	教育原理	1前	2		1					教育原理	1前	2		1							
	教育史	3後	2						兼1	教育史	3後	2									兼1
	こどもの教育心理学	1前	2			1				こどもの教育心理学	1前	2			1						
	こどもの発達心理学	1後	2			1				こどもの発達心理学	1後	2		2	1						
	教育と社会	2後	2		1					教育と社会	2後	2		2	1						
	教育経営論	2後	2			1				教育経営論	2後	2		2	1						
	教育課程論	2後	2		1					教育課程論	2後	2		2	1						
	教育の方法と技術	2後	2		1					教育の方法と技術	2後	2		2	1						
	教育評価	3後	2			1				教育評価	3後	2		2	1						
	教育相談の理論と方法	3前	2						兼1	教育相談の理論と方法	3前	2									兼1
	教育実習事前事後指導	3前	1		1	1				教育実習事前事後指導	3前	1		2							
	初等教育実習Ⅰa	3前	2		2	7	1	1		初等教育実習Ⅰa	3前	2		3	7	1					
	初等教育実習Ⅱa	4前	2		2	7	1	1		初等教育実習Ⅱa	4前	2		3	7	1					
	初等教育実習Ⅰb	3前	2		2	7	1	1		初等教育実習Ⅰb	3前	2		3	7	1					
	初等教育実習Ⅱb	4前	2		2	7	1	1		初等教育実習Ⅱb	4前	2		3	7	1					
	教職実践演習(幼・小)	4後	2		2	1				教職実践演習(幼・小)	4後	2		2	1						
	国語	1後	2		1					国語	1後	2		2	1						
算数	1後	2			1				算数	1後	2		2	1							
生活	1後	2			1	1			生活	1後	2		2			2					
障害児・者の心理学	2前	2						兼1	障害児・者の心理学	2前	2		2							兼1	
学習の心理学	2後	2						兼1	学習の心理学	2後	2		2							兼1	
スクールカウンセリング論	3前	2						兼1	スクールカウンセリング論	3前	2		2							兼1	
教職専門ゼミナール	3前	2			1				教職専門ゼミナール	3前	2			1							
保育課程論	3前	2		1					保育課程論	3前	2		1								

保育内容総論	1後	2		1					保育内容総論	1後	2		1					
保育内容 (健康)	2前	2		1					保育内容 (健康)	2前	2		1					
保育内容 (人間関係)	2前	2	1						保育内容 (人間関係)	2前	2	1						
保育内容 (環境)	2前	2						兼1	保育内容 (環境)	2前	2							兼1
保育内容 (言葉)	2後	2						兼1	保育内容 (言葉)	2後	2							兼1
保育内容 (表現)	2後	2		1					保育内容 (表現)	2後	2		2					
幼児理解の理論と方法	1後	2		1					幼児理解の理論と方法	1後	2		1					兼1
保育・教職実践演習	4後	2		3					保育・教職実践演習	4後	2		3					
乳児保育	3後	2		1					乳児保育	3後	2		1					
障害児保育	3後	2		1					障害児保育	3後	2		1					
こどもの保健 I	2後	2		1					こどもの保健 I	2後	2		1					
こどもの保健 II	3前	2		1					こどもの保健 II	3前	2		1					
こどもの保健演習	2休	1	1						こどもの保健演習	2休	1	1						
こどもの食と栄養	3前	2		2				兼1	こどもの食と栄養	3前	2		2					兼1
家族援助論	3前	2		2				兼1	家族援助論	3前	2		2					兼1
保育相談支援	3後	1						兼1	保育相談支援	3後	1							兼1
保育表現演習 I	3前	1	1	4					保育表現演習 I	3前	1	1	4					
保育表現演習 II	3後	1	1	4					保育表現演習 II	3後	1	1	4					
保育心理学演習	2前	1		1					保育心理学演習	2前	1		1					
保育原理	1後	2		1					保育原理	1後	2		1					
保育者論	1後	2		1					保育者論	1後	2		1					
保育実習指導 I-1	2前	1	1	4					保育実習指導 I-1	2前	1	1	4					
保育実習指導 I-2	2後	1	1	2					保育実習指導 I-2	2後	1	1	2					
保育実習指導 II	3後	1	1	3					保育実習指導 II	3後	1	1	3					
保育実習 I-1	2休	2	1	4					保育実習 I-1	2休	2	1	4					
保育実習 I-2	2休	2	1	2					保育実習 I-2	2休	2	1	2					
保育実習 II	3休	2	1	4					保育実習 II	3休	2	1	4					
児童福祉論	2前	2						兼1	児童福祉論	2前	2							兼1
現代社会と福祉 I	2前	2							現代社会と福祉 I	2前	2							兼1
現代社会と福祉 II	2後	2							現代社会と福祉 II	2後	2							兼1
地域福祉論 I	2後	2						兼1	地域福祉論 I	2前	2							兼1
相談援助演習	2前	1						兼1	相談援助演習	2前	1							兼1
社会的養護	2後	2						兼1	社会的養護	2後	2							兼1
社会的養護内容	2後	1						兼1	社会的養護内容	2後	1							兼1
ピアノ実技	1前	1		2					ピアノ実技	1前	1		2					兼1
音楽 I	1後	1		2					音楽 I	1後	1		2					兼1
音楽 II	2前	1		2					音楽 II	2前	1		2					
音楽 III	2後	1		2					音楽 III	2後	1		2					
図工 I	2前	1		1					図工 I	2前	1		1					
図工 II	2前	1		1					図工 II	2前	1		1					
体育 I	2前	1				1			体育 I	2前	1				1			
体育 II	2前	1				1			体育 II	2前	1				1			
環境教育	3後	2		1					環境教育	3後	2		1					
情報教育	3前	2		1					情報教育	3前	2		1					
食と健康の教育	3後	2						兼1	食と健康の教育	3後	2				1			
こども英語教育 I	2前	2						兼1	こども英語教育 I	2前	2							兼1
こども英語教育 II	2後	2						兼1	こども英語教育 II	2後	2							兼1
国際理解教育	4前	2						兼1	国際理解教育	4前	2							兼1
国語科指導法	2前	2		1					国語科指導法	2前	2		1					
社会科指導法	2前	2				1			社会科指導法	2前	2				1			
算数科指導法	2前	2		1					算数科指導法	2前	2		1					
理科指導法	2前	2		1					理科指導法	2前	2		1					
生活科指導法	2前	2		1	1				生活科指導法	2前	2		1	2				
音楽科指導法	2後	2		1					音楽科指導法	2後	2		1					
図工科指導法	2後	2		1					図工科指導法	2後	2		1					
家庭科指導法	2後	2						兼1	家庭科指導法	2後	2							兼1
体育科指導法	2後	2				1			体育科指導法	2後	2				1			
道徳の指導法	3前	2		1					道徳の指導法	3前	2		1					
特別活動の指導法	3前	2		1					特別活動の指導法	3前	2		1					
生徒指導・進路指導	3前	2		1					生徒指導・進路指導	3前	2		1					
社会	1後	2				1			社会	1後	2				1			
理科	1後	2		1					理科	1後	2		1					
書写	2後	1						兼1	書写	2後	1							兼1
家庭	2前	2						兼1	家庭	2前	2							兼1
小学校英語教育 I	2前	2						兼1	小学校英語教育 I	2前	2							兼1
小学校英語教育 II	2後	2						兼1	小学校英語教育 II	2後	2							兼1
総合的な学習の指導法	3後	2				1			総合的な学習の指導法	3後	2				1			
アクティブラーニングの指導法	3後	2		1					アクティブラーニングの指導法	3後	2				1			

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	日本文学	1前		2								兼1
	外国文学	1後		2								兼1
	日本近現代史	1前		2								兼1
	日本の宗教	1後		2								兼1
	東アジア近現代史	1前		2								兼1
	ヨーロッパ近現代史	1後		2								兼1
	歴史の中の女性	1後		2								兼1
	身近な心理学	1前		2								兼1
	文化人類学	1後		2								兼1
	暮らしの法律学	1前		2								兼1
	憲法と人権	1後		2								兼1
	暮らしの経済学	1後		2								兼1
	国際関係論入門	1前		2								兼1
	社会学概論	1前		2								兼1
	ジェンダー論	1後		2								兼1
	ボランティア概論	1前		2								兼1
	子育てとワークライフバランス	2前		1								兼1
	こどもと子育ての生活環境学	2前		1								兼4
	海外研修（生活と社会）	1+2+3+4休		1								兼2
	身近な自然科学	1前		2			1					
	暮らしの統計学	1後		2								兼1
	地球と宇宙の科学	1前		2								兼1
	情報科学入門	1後		2								兼1
	環境学概論	1後		2								兼1
	身近な医学	1・2前		2			1					兼1
	生命倫理	1後		2								兼1
	こどもと自然	1通		2				2				兼2
	英語基礎Ⅰ	1前	1									兼5
	英語総合Ⅰ	1前	1									兼7
	英語基礎Ⅱ	1後	1									兼5
	英語総合Ⅱ	1後	1									兼7
	日常の英会話	2前・後		1								兼3
	旅行の英会話	2後		1								兼2
	留学の英会話	2後		1								兼2
	おもてなしの英会話	2前		1								兼2
	やさしいビジネス英会話	2前		1								兼1
	歌って覚える英語表現	2後		1								兼1
	英語リスニング初級	2前		1								兼1
	英語リスニング中級	2後		1								兼1
	読むための英語	2前		1								兼1
	実用英語基礎	2後		1								兼1
	身近な英文法	2前		1								兼1
	アカデミック英語	3前		1								兼1
	ドイツ語	1前		2								兼1
	フランス語	1後		2								兼1
	スペイン語	1前		2								兼1
	アラビア語	1後		2								兼1
	中国語Ⅰ	1前・後		2								兼4
	中国語Ⅱ	1後		2								兼1
	中国語Ⅲ	2前		2								兼1
コリア語Ⅰ	1前・後		2								兼1	
コリア語Ⅱ	1後		2								兼1	
コリア語Ⅲ	2前		2								兼1	
海外研修（語学）Ⅰ	1+2+3+4休		2								兼1	
海外研修（語学）Ⅱa	1+2+3休		2								兼1	
海外研修（語学）Ⅱb	1+2+3+4休		2								兼1	
日本語講読Ⅰ	1前		1								兼1	
日本語講読Ⅱ	1後		1								兼1	
日本語表現Ⅰ	1前		1								兼1	
日本語表現Ⅱ	1後		1								兼1	
日本語特講Ⅰ	2前		1								兼1	

専門 教育 科目	保育内容（表現）	2後	2		2				
	幼児理解の理論と方法	1後	2		1				兼2
	保育・教職実践演習	4後	2		3				
	乳児保育	3後	2		1				
	障害児保育	3後	2		1				
	こどもの保健Ⅰ	2後	2		1				
	こどもの保健Ⅱ	3前	2		1				
	こどもの保健演習	2休	1		1				
	こどもの食と栄養	3前	2						兼1
	家族援助論	3前	2						兼1
	保育相談支援	3後	1						兼1
	保育表現演習Ⅰ	3前	1		1	4			
	保育表現演習Ⅱ	3後	1		1	4			
	保育心理学演習	2前	1			1			
	保育原理	1後	2			1			
	保育者論	1後	2		1				
	保育実習指導Ⅰ－1	2前	1		1	4			
	保育実習指導Ⅰ－2	2後	1		1	2			
	保育実習指導Ⅱ	3後	1		1	3			
	保育実習Ⅰ－1	2休	2		1	4			
	保育実習Ⅰ－2	2休	2		1	2			
	保育実習Ⅱ	3休	2		1	4			
	児童福祉論	2前	2						兼1
	現代社会と福祉Ⅰ	2前	2						兼1
	現代社会と福祉Ⅱ	2後	2						兼1
	地域福祉論Ⅰ	2後	2						兼1
	相談援助演習	2前	1						兼1
	社会的養護	2後	2						兼1
	社会的養護内容	2後	1						兼1
	ピアノ実技	1前	1			2			
	音楽Ⅰ	1後	1			2			
	音楽Ⅱ	2前	1			2			
	音楽Ⅲ	2後	1			2			
	図工Ⅰ	2前	1			1			
	図工Ⅱ	2前	1			1			
	体育Ⅰ	2前	1					1	
	体育Ⅱ	2前	1					1	
	環境教育	3後	2			1			
	情報教育	3前	2			1			
	食と健康の教育	3後	2						兼1
	こども英語教育Ⅰ	2前	2						兼1
	こども英語教育Ⅱ	2後	2						兼1
	国際理解教育	4前	2						兼1
	国語科指導法	2前	2		1				
	社会科指導法	2前	2				1		
	算数科指導法	2前	2			1			
	理科指導法	2前	2			1			
	生活科指導法	2前	2				1	1	
	音楽科指導法	2後	2			1			
	図工科指導法	2後	2			1			
	家庭科指導法	2後	2						兼1
体育科指導法	2後	2				1			
道徳の指導法	3前	2			1				
特別活動の指導法	3前	2			1				
生徒指導・進路指導	3前	2			1				
社会	1後	2					1		
理科	1後	2				1			
書写	2後	1						兼1	
家庭	2前	2						兼1	
小学校英語教育Ⅰ	2前	2						兼1	
小学校英語教育Ⅱ	2後	2						兼1	
総合的な学習の指導法	3後	2					1		
アクティブラーニングの指導法	3後	2			1				
学習デザイン論	4前	2			1				
初等教材開発論	4前	2					1		
小学校表現活動論	4前	2			3		1		
消費者教育	3前	2						兼1	
こども情報リテラシー	1前	2						1	

専 門 教 育 科 目	子どもの読書とメディア	2・3・4後	2								兼1
	特別支援教育基礎理論	1後	2				1				兼1
	知的障害者の心理・生理・病理	2前	2			1					兼1
	肢体不自由者の心理・生理・病理	2前	2			1					
	病弱者の心理・生理・病理	2前	2			2					
	知的障害者教育論Ⅰ	2後	2				1				
	知的障害者教育論Ⅱ	3前	2				1				
	肢体不自由者教育論Ⅰ	2後	2				1				
	肢体不自由者教育論Ⅱ	3前	2				1				
	病弱者教育論Ⅰ	3前	2				1				
	病弱者教育論Ⅱ	3後	2				1				
	視覚障害者の心理・生理・病理	3後	1								兼1
	聴覚障害者の心理・生理・病理	2後	1		1	1					
	視覚障害者教育論	3後	1								兼1
	聴覚障害者教育論	2後	1			1					
	障害者教育課程論	3後	2			1					
	LD等教育総論	3後	2			1					
	特別支援教育実習事前事後指導	4前	1				2				
	特別支援教育実習	4前	2				2				
	心理統計法Ⅰ	1前	2								兼1
	心理統計法Ⅱ	1後	2								兼1
	基礎統計学	1後	2			1					
	推測統計学Ⅰ	2前	2								兼1
	推測統計学Ⅱ	2後	2								兼1
	介護等体験	2・3通	1			1					兼1
	学校経営と学校図書館	2・3・4前		2							兼1
	学校図書館メディアの構成	2・3・4後		2							兼1
	学習指導と学校図書館	2・3・4前		2							兼1
読書と豊かな人間性	2・3・4後		2							兼1	
情報メディアの活用	2・3・4前		2							兼1	
こども教育演習	3通	4			3	7	1	1			
卒業論文	4通	4			3	6	1	1			

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
- ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

【共通教育科目】

- ・開講期変更により、「社会学概論」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・開講期変更により、「ジェンダー論」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。

【専門教育科目】

- ・オムニバス科目への変更により、「保育内容（表現）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。

【平成30年度】

【共通教育科目】

- ・専任教員の昇任により、「体育講義」の専任教員等の配置を「助教1」から「講師1」に変更。
- ・専任教員の昇任により、「健康スポーツ演習」の専任教員等の配置を「助教1」から「講師1」に変更。

【学部共通科目】

- ・専任教員の昇任により、「情報科学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。

【専門教育科目】

- ・専任教員の昇任により、「こども教育基礎演習」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授5」, 「助教1」から「助教0」に変更。
- ・専任教員の昇任により, 「こども教育フィールド研修」専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」, 「助教1」から「助教0」に変更。
- ・専任教員の昇任により, 「教育実習事前事後指導」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」, 「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・専任教員の昇任により, 「初等教育実習Ⅰa」専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」, 「助教1」から「助教0」に変更。
- ・専任教員の昇任により, 「初等教育実習Ⅰb」専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」, 「助教1」から「助教0」に変更。
- ・専任教員の昇任により, 「初等教育実習Ⅱa」専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」, 「助教1」から「助教0」に変更。
- ・専任教員の昇任により, 「初等教育実習Ⅱb」専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」, 「助教1」から「助教0」に変更。
- ・専任教員の昇任により, 「算数」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・専任教員の昇任により, 「生活」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・開講期変更により, 「地域福祉論Ⅰ」の配当年次を「2後」から「2前」に変更。
- ・専任教員の昇任により, 「体育Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教1」から「講師1」に変更。
- ・専任教員の昇任により, 「体育Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教1」から「講師1」に変更。
- ・専任教員の昇任により, 「情報教育」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・専任教員の昇任により, 「食と健康の教育」の兼任教員等の配置を「兼1」から「講師1」に変更。
- ・専任教員の昇任により, 「社会科指導法」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・専任教員の昇任により, 「算数科指導法」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・専任教員の昇任により, 「生活科指導法」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」, 「講師1」から「講師0」に変更。
- ・専任教員の昇任により, 「社会」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
- ・専任教員の昇任により, 「アクティブラーニングの指導法」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・専任教員の昇任により, 「学習デザイン論」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・履修上の都合により, 授業科目の名称を「心理統計法Ⅰ」から「心理学統計法Ⅰ」に変更。
- ・履修上の都合により, 授業科目の名称を「心理統計法Ⅱ」から「心理学統計法Ⅱ」に変更。
- ・専任教員の昇任により, 「こども教育演習」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
- ・専任教員の昇任により, 「卒業論文」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
18 科目	201 科目	3 科目	222 科目	18 科目	201 科目	3 科目	222 科目	
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止 (教育課程から削除) した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{222} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	校舎敷地と運動場用地1 (300m, 徒歩5分) 校舎敷地と運動場用地2 (3.5km, 車で15分)			
	校舎敷地	17,206 m ²	0 m ²	0 m ²	17,206 m ²				
	運動場用地	19,625 m ²	0 m ²	0 m ²	19,625 m ²				
	小 計	25,966 m ²	0 m ²	0 m ²	25,966 m ²				
	そ の 他	0 m ²	0 m ²	0 m ²	0 m ²				
	合 計	36,831 m ²	0 m ²	0 m ²	36,831 m ²				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体				
	(30,169 m ²)	(12,670 m ²)	(0 m ²)	(30,169 m ²)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	41 室	6 室	14 室	4 室 (補助職員 2 人)	3 室 (補助職員 2 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数						
	現代人間学部 こども教育学科		16 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械・器 具 点	標 本 点	大学全体での共用分を含む図書40,000冊 [35,000冊]	
		現代人間学部	128,000 [33,330] (118,000 [32,100])	310 [60] (310 [60])	1,100 [540] (1,100 [540])	400 (340)	400 (400)		0 (0)
	計	128,000 [33,330] (118,000 [32,100])	310 [60] (310 [60])	1,100 [540] (1,100 [540])	400 (340)	400 (400)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	3,625 m ²		198		278,111				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	2,004 m ²		トラック 1面 テニスコート 4面		トレーニングルーム 1室				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	「図書購入費」「設備購入費」を最新額に変更(29) 図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費(運用コスト含む)を含む。
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	300 千 円	300 千 円	図書購入費	13,328 千 円 10,000 千 円	11,677 千 円 9,000 千 円	11,677 千 円 9,000 千 円	
	共 同 研 究 費 等	3,200 千 円	3,200 千 円	設備購入費	19,000 千 円 15,223 千 円	5,000 千 円 1,500 千 円	5,000 千 円 1,500 千 円		
	学 生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
	1,410 千 円	1,130 千 円	1,130 千 円	1,163 千 円	— 千 円	— 千 円			
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経営補助金, 雑収入, その他							

(注) ・ 設置時の計画を, 申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合, 複数の様式に分ける必要はありません。なお, 「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を, その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は, その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については, 上段に完成年度の予定数値を, 下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては, 変更部分を赤字で見え消し修正するとともに, その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお, 昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少, 建築計画の遅延)がある場合には, 「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学 の 名 称	京都ノートルダム女子大学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
人間文化学部									
英語英文学科	4	80	3年次 5	420	学士 (文学)	0.81	昭和36年度	京都府京都市左京区 下鴨南野々神町1番地	平成29年度より入 学定員変更110→80
人間文化学科	4	50	-	230	学士 (人間文 化)	0.71	平成12年度	同上	平成29年度より入 学定員変更60→50
生活福祉文化学部									
生活福祉文化学科	4	-	-	-	学士 (生活福祉 文化)	-	平成19年度	同上	平成29年度より学 生募集停止
心理学部									
心理学科	4	-	-	-	学士 (心理)	-	平成17年度	同上	平成29年度より学 生募集停止
現代心理専攻	4	-	-	-		-		同上	
学校心理専攻	4	-	-	-		-		同上	
臨床心理専攻	4	-	-	-		-		同上	
現代人間学部									
福祉生活デザイン学科	4	70	-	280	学士 (福祉生活 デザイン)	0.56	平成29年度	同上	
心理学科	4	100	-	400	学士 (心理学)	0.61	平成29年度	同上	
こども教育学科	4	70	-	280	学士 (こども教 育)	0.79	平成29年度	同上	
大学 の 名 称	京都ノートルダム女子大学大学院								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
(修士課程) 人間文化研究科									
応用英語専攻	2	8	-	16	修士 (応用英 語)	0.18	平成14年度	京都府京都市左京区 下鴨南野々神町1番地	
生活福祉文化専攻	2	6	-	12	修士 (生活福祉 文化)	0.08	平成16年度	同上	
人間文化専攻	2	3	-	6	修士 (人間文 化)	0.00	平成17年度	同上	

(博士前期課程)									
心理学研究科									
発達・学校心理学専攻	2	5	-	13	修士 (心理)	0.22	平成17年度	同上	平成30年度より入学定員変更8→5
臨床心理学専攻	2	10	-	17	修士 (心理)	0.97	平成17年度	同上	平成30年度より入学定員変更7→10
(博士後期課程)									
心理学研究科									
心理学専攻	3	4	-	12	博士 (心理)	0.00	平成17年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<現代人間学部 子ども教育学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【平成29年度】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授	工藤 哲夫 (59) <平成29年4月> 現代社会と子ども※ 子ども教育基礎演習 子ども教育フィールド ド研修 教育の方法と技術 初等教育実習 I a 初等教育実習 I a 初等教育実習 I b 初等教育実習 I b 教職実践演習(幼・小) 国語 国語科指導法 アクティブラーニング の指導法 学習デザイン論 子ども教育演習 卒業論文	専	教授	工藤 哲夫 (59) <平成29年4月> 現代社会と子ども※ 子ども教育基礎演習 子ども教育フィールド ド研修 教育の方法と技術 初等教育実習 I a 初等教育実習 I a 初等教育実習 I b 初等教育実習 I b 教職実践演習(幼・小) 国語 国語科指導法 アクティブラーニング の指導法 学習デザイン論 子ども教育演習 卒業論文	専	教授	渡邊 幸美 (67) <平成30年4月> 現代社会と子ども※ 子ども教育基礎演習 子ども教育フィールド ド研修 初等教育実習 I a 初等教育実習 I a 初等教育実習 I b 初等教育実習 I b 初等教育実習 I b 教職実践演習(幼・小) 国語 国語科指導法
専	教授	萩原 暢子 (62) <平成29年4月> 身近な医学※ 病児の発達と支援※ 子ども教育基礎演習 子ども教育フィールド ド研修 子どもの保健 I 子どもの保健 II 子どもの保健演習 保育表現演習 I 保育表現演習 II 保育実習指導 I-1 保育実習指導 I-2 保育実習指導 II 保育実習 I-1 保育実習 I-2 病弱者の心理・生理・ 病理※ 子ども教育演習 卒業論文	専	教授	萩原 暢子 (63) <平成29年4月> 身近な医学※ 病児の発達と支援※ 子ども教育基礎演習 子ども教育フィールド ド研修 子どもの保健 I 子どもの保健 II 子どもの保健演習 保育表現演習 I 保育表現演習 II 保育実習指導 I-1 保育実習指導 I-2 保育実習指導 II 保育実習 I-1 保育実習 I-2 病弱者の心理・生理・ 病理※ 子ども教育演習 卒業論文	専	教授	萩原 暢子 (64) <平成29年4月> 身近な医学※ 病児の発達と支援※ 子ども教育基礎演習 子ども教育フィールド ド研修 子どもの保健 I 子どもの保健 II 子どもの保健演習 保育表現演習 I 保育表現演習 II 保育実習指導 I-1 保育実習指導 I-2 保育実習指導 II 保育実習 I-1 保育実習 I-2 病弱者の心理・生理・ 病理※ 子ども教育演習 卒業論文
専	教授	田中 裕喜 (46) <平成29年4月> 子ども教育基礎演習 子ども教育フィールド ド研修 教育原理 教育と社会 教育課程論 教育実習事前事後指 導 初等教育実習 I a 初等教育実習 I a 初等教育実習 I b 初等教育実習 I b 教職実践演習(幼・小) 保育課程論 保育内容(人間関係) 保育者論 子ども教育演習 卒業論文	専	教授	田中 裕喜 (46) <平成29年4月> 子ども教育基礎演習 子ども教育フィールド ド研修 教育原理 教育と社会 教育課程論 教育実習事前事後指 導 初等教育実習 I a 初等教育実習 I a 初等教育実習 I b 初等教育実習 I b 教職実践演習(幼・小) 保育課程論 保育内容(人間関係) 保育者論 子ども教育演習 卒業論文	専	教授	田中 裕喜 (47) <平成29年4月> 子ども教育基礎演習 子ども教育フィールド ド研修 教育原理 教育と社会 教育課程論 教育実習事前事後指 導 初等教育実習 I a 初等教育実習 I a 初等教育実習 I b 初等教育実習 I b 初等教育実習 I b 教職実践演習(幼・小) 保育課程論 保育内容(人間関係) 保育者論 子ども教育演習 卒業論文
専	教授	東道 伸二郎 (67) <平成29年4月> 子ども教育基礎演習 知的障害者の心理・ 生理・病理※ 肢体不自由者の心 理・生理・病理 病弱者の心理・生 理・病理※ 聴覚障害者の心理・ 生理・病理※	専	教授	東道 伸二郎 (68) <平成29年4月> 子ども教育基礎演習 知的障害者の心理・ 生理・病理※ 肢体不自由者の心 理・生理・病理 病弱者の心理・生 理・病理※ 聴覚障害者の心理・ 生理・病理※	専	教授	東道 伸二郎 (69) <平成29年4月> 子ども教育基礎演習 知的障害者の心理・ 生理・病理※ 肢体不自由者の心 理・生理・病理※ 病弱者の心理・生 理・病理※ 聴覚障害者の心理・ 生理・病理※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専	准教授	神月 紀輔 (51) <平成29年4月>	神月 紀輔 (52) <平成29年4月>	神月 紀輔 (53) <平成30年4月>
		情報科学 こども教育基礎演習 こども教育フィールド研修 教育実習事前事後指導 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰb 初等教育実習Ⅰb 算数 情報教育 算数科指導法 こども情報リテラシー こども教育演習 卒業論文	情報科学 こども教育基礎演習 こども教育フィールド研修 教育実習事前事後指導 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰb 初等教育実習Ⅰb 算数 情報教育 算数科指導法 こども情報リテラシー こども教育演習 卒業論文	情報科学 こども教育基礎演習 こども教育フィールド研修 教育の方法と技術 教育実習事前事後指導 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰb 初等教育実習Ⅰb 算数 情報教育 算数科指導法 こども情報リテラシー こども教育演習 卒業論文
専	准教授	江川 正一 (61) <平成29年4月>	江川 正一 (62) <平成29年4月>	江川 正一 (63) <平成29年4月>
		現代社会と病者・障がい者※ 病児の発達と支援※ こども教育基礎演習 こども教育フィールド研修 特別支援教育基礎理論 病弱者教育論Ⅰ 病弱者教育論Ⅱ 聴覚障害者の心理・生理・病理 聴覚障害者教育論 障害者教育課程論 LD等教育総論 特別支援教育実習事前事後指導 特別支援教育実習	現代社会と病者・障がい者※ 病児の発達と支援※ こども教育基礎演習 こども教育フィールド研修 特別支援教育基礎理論※ 病弱者教育論Ⅰ 病弱者教育論Ⅱ 聴覚障害者の心理・生理・病理 聴覚障害者教育論 障害者教育課程論 LD等教育総論 特別支援教育実習事前事後指導 特別支援教育実習	現代社会と病者・障がい者※ 病児の発達と支援※ こども教育基礎演習 こども教育フィールド研修 特別支援教育基礎理論※ 病弱者教育論Ⅰ 病弱者教育論Ⅱ 聴覚障害者の心理・生理・病理 聴覚障害者教育論※ 障害者教育課程論 LD等教育総論※ 特別支援教育実習事前事後指導 特別支援教育実習
専	准教授	河佐 英俊 (61) <平成29年4月>	河佐 英俊 (62) <平成29年4月>	河佐 英俊 (63) <平成29年4月>
		こども教育基礎演習 こども教育フィールド研修 教職論 教育経営論 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰb 初等教育実習Ⅰb 初等教育実習Ⅰb 初等教育実習Ⅰb 道徳の指導法 特別活動の指導法 生徒指導・進路指導	こども教育基礎演習 こども教育フィールド研修 教職論 教育経営論 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰb 初等教育実習Ⅰb 初等教育実習Ⅰb 初等教育実習Ⅰb 道徳の指導法 特別活動の指導法 生徒指導・進路指導	こども教育基礎演習 こども教育フィールド研修 教職論 教育経営論 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰb 初等教育実習Ⅰb 初等教育実習Ⅰb 初等教育実習Ⅰb 道徳の指導法 特別活動の指導法 生徒指導・進路指導
専	准教授	石井 浩子 (46) <平成29年4月>	石井 浩子 (47) <平成29年4月>	石井 浩子 (48) <平成29年4月>
		病児の発達と支援※ こども教育基礎演習 こども教育フィールド研修 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰb 初等教育実習Ⅰb 初等教育実習Ⅰb 保育内容総論 保育内容(健康) 幼児理解の理論と方法 保育・教職実践演習 乳児保育 保育表現演習Ⅰ 保育表現演習Ⅱ 保育原理 保育実習指導Ⅰ-1 保育実習指導Ⅰ-2 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅰ-1 保育実習Ⅰ-2 保育実習Ⅱ こども教育演習 卒業論文	病児の発達と支援※ こども教育基礎演習 こども教育フィールド研修 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰb 初等教育実習Ⅰb 初等教育実習Ⅰb 保育内容総論 保育内容(健康) 幼児理解の理論と方法※ 保育・教職実践演習 乳児保育 保育表現演習Ⅰ 保育表現演習Ⅱ 保育原理 保育実習指導Ⅰ-1 保育実習指導Ⅰ-2 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅰ-1 保育実習Ⅰ-2 保育実習Ⅱ こども教育演習 卒業論文	病児の発達と支援※ こども教育基礎演習 こども教育フィールド研修 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰb 初等教育実習Ⅰb 初等教育実習Ⅰb 保育内容総論 保育内容(健康) 幼児理解の理論と方法※ 保育・教職実践演習 乳児保育 保育表現演習Ⅰ 保育表現演習Ⅱ 保育原理 保育実習指導Ⅰ-1 保育実習指導Ⅰ-2 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅰ-1 保育実習Ⅰ-2 保育実習Ⅱ こども教育演習 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専	准教授	植田 恵理子 (55) <平成29年4月>	植田 恵理子 (56) <平成29年4月>	植田 恵理子 (57) <平成29年4月>
		病児の発達と支援※ こども教育基礎演習 こども教育フィールド 研修 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰb 初等教育実習Ⅰb 初等教育実習Ⅱb 保育内容(表現) 保育・教職実践演習 保育表現演習Ⅰ 保育表現演習Ⅱ 保育実習指導Ⅰ-1 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅰ-1 保育実習Ⅱ ピアノ/実技 音楽Ⅰ 音楽Ⅱ 音楽Ⅲ 音楽科指導法 小学校表現活動論 こども教育演習 卒業論文	病児の発達と支援※ こども教育基礎演習 こども教育フィールド 研修 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰb 初等教育実習Ⅰb 初等教育実習Ⅱb 保育内容(表現)※ 保育・教職実践演習 保育表現演習Ⅰ 保育表現演習Ⅱ 保育実習指導Ⅰ-1 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅰ-1 保育実習Ⅱ ピアノ/実技 音楽Ⅰ 音楽Ⅱ 音楽Ⅲ 音楽科指導法 小学校表現活動論 こども教育演習 卒業論文	病児の発達と支援※ こども教育基礎演習 こども教育フィールド 研修 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰb 初等教育実習Ⅰb 初等教育実習Ⅱb 保育・教職実践演習 保育表現演習Ⅰ 保育表現演習Ⅱ 保育実習指導Ⅰ-1 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅰ-1 保育実習Ⅱ ピアノ/実技 音楽Ⅰ 音楽Ⅱ 音楽Ⅲ 小学校表現活動論 こども教育演習 卒業論文
専	准教授	小川 博士 (35) <平成29年4月>	小川 博士 (35) <平成29年4月>	小川 博士 (36) <平成29年4月>
		身近な自然科学 こどもと自然 こども教育基礎演習 こども教育フィールド 研修 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰb 初等教育実習Ⅰb 初等教育実習Ⅱb 生活※ 環境教育 理科指導法 生活科指導法※ 理科 こども教育演習 卒業論文	身近な自然科学 こどもと自然 こども教育基礎演習 こども教育フィールド 研修 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰb 初等教育実習Ⅰb 初等教育実習Ⅱb 生活※ 環境教育 理科指導法 生活科指導法※ 理科 こども教育演習 卒業論文	身近な自然科学 こどもと自然 こども教育基礎演習 こども教育フィールド 研修 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰb 初等教育実習Ⅰb 初等教育実習Ⅱb 生活※ 環境教育 理科指導法 生活科指導法※ 理科 こども教育演習 卒業論文
専	准教授	古庵 晶子 (49) <平成29年4月>	古庵 晶子 (50) <平成29年4月>	古庵 晶子 (51) <平成29年4月>
		こども教育基礎演習 こども教育フィールド 研修 保育表現演習Ⅰ 保育表現演習Ⅱ 保育実習指導Ⅰ-1 保育実習Ⅰ-1 保育実習Ⅱ ピアノ/実技 音楽Ⅰ 音楽Ⅱ 音楽Ⅲ 小学校表現活動論 こども教育演習	こども教育基礎演習 こども教育フィールド 研修 保育表現演習Ⅰ 保育表現演習Ⅱ 保育実習指導Ⅰ-1 保育実習Ⅰ-1 保育実習Ⅱ ピアノ/実技 音楽Ⅰ 音楽Ⅱ 音楽Ⅲ 小学校表現活動論 こども教育演習	こども教育基礎演習 こども教育フィールド 研修 保育表現演習Ⅰ 保育表現演習Ⅱ 保育実習指導Ⅰ-1 保育実習Ⅰ-1 保育実習Ⅱ ピアノ/実技 音楽Ⅰ 音楽Ⅱ 音楽Ⅲ 音楽科指導法 小学校表現活動論 こども教育演習
専	准教授	晶山 寛 (44) <平成29年4月>	晶山 寛 (45) <平成29年4月>	晶山 寛 (46) <平成29年4月>
		病児の発達と支援※ こども教育基礎演習 こども教育フィールド 研修 こどもの教育心理学 こどもの発達心理学 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰb 初等教育実習Ⅰb 初等教育実習Ⅱb 保育・教職実践演習 障害児保育 保育表現演習Ⅰ 保育表現演習Ⅱ 保育心理学演習 保育実習指導Ⅰ-1 保育実習指導Ⅰ-2 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅰ-1 保育実習Ⅰ-2 保育実習Ⅱ 基礎統計学 こども教育演習 卒業論文	病児の発達と支援※ こども教育基礎演習 こども教育フィールド 研修 こどもの教育心理学 こどもの発達心理学 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰb 初等教育実習Ⅰb 初等教育実習Ⅱb 保育・教職実践演習 障害児保育 保育表現演習Ⅰ 保育表現演習Ⅱ 保育心理学演習 保育実習指導Ⅰ-1 保育実習指導Ⅰ-2 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅰ-1 保育実習Ⅰ-2 保育実習Ⅱ 基礎統計学 こども教育演習 卒業論文	病児の発達と支援※ こども教育基礎演習 こども教育フィールド 研修 こどもの教育心理学 こどもの発達心理学 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰb 初等教育実習Ⅰb 初等教育実習Ⅱb 保育・教職実践演習 障害児保育 保育表現演習Ⅰ 保育表現演習Ⅱ 保育心理学演習 保育実習指導Ⅰ-1 保育実習指導Ⅰ-2 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅰ-1 保育実習Ⅰ-2 保育実習Ⅱ 基礎統計学 こども教育演習 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
専任	准教授	藤本(下村)陽三 (62) <平成29年4月>	こどもと自然 こども教育基礎演習 こども教育フィールド 研修 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰb 初等教育実習Ⅰb 教職実践演習(幼・小) 教職専門ゼミナール 図工Ⅰ 図工Ⅱ 図工科指導法 小学校表現活動論	専任	准教授	藤本(下村)陽三 (63) <平成29年4月>	こどもと自然 こども教育基礎演習 こども教育フィールド 研修 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰb 初等教育実習Ⅰb 教職実践演習(幼・小) 教職専門ゼミナール 保育内容(表視)※ 図工Ⅰ 図工Ⅱ 図工科指導法 小学校表現活動論	専任	准教授	藤本(下村)陽三 (64) <平成29年4月>	こどもと自然 こども教育基礎演習 こども教育フィールド 研修 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰb 初等教育実習Ⅰb 教職実践演習(幼・小) 教職専門ゼミナール 保育内容(表視)※ 図工Ⅰ 図工Ⅱ 図工科指導法 小学校表現活動論
専任	准教授	太田 容次 (52) <平成29年4月>	病児の発達と支援※ こども教育基礎演習 こども教育フィールド 研修 知的障害者教育論Ⅰ 知的障害者教育論Ⅱ 肢体不自由者教育論Ⅰ 肢体不自由者教育論Ⅱ 特別支援教育実習事前事後指導 特別支援教育実習 介護等体験 こども教育演習 卒業論文	専任	准教授	太田 容次 (53) <平成29年4月>	病児の発達と支援※ こども教育基礎演習 こども教育フィールド 研修 知的障害者教育論Ⅰ 知的障害者教育論Ⅱ 肢体不自由者教育論Ⅰ 肢体不自由者教育論Ⅱ 特別支援教育実習事前事後指導 特別支援教育実習 介護等体験 こども教育演習 卒業論文	専任	准教授	太田 容次 (54) <平成29年4月>	病児の発達と支援※ こども教育基礎演習 こども教育フィールド 研修 知的障害者教育論Ⅰ 知的障害者教育論Ⅱ 肢体不自由者教育論Ⅰ 肢体不自由者教育論Ⅱ 特別支援教育実習事前事後指導 特別支援教育実習 介護等体験 こども教育演習 卒業論文
専任	講師	大西 慎也 (44) <平成29年4月>	こども教育基礎演習 こども教育フィールド 研修 教育評価 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰb 初等教育実習Ⅰb 生活※ 社会科指導法 生活科指導法※ 社会 総合的な学習の指導法 初等教材開発論 こども教育演習 卒業論文	専任	講師	大西 慎也 (44) <平成29年4月>	こども教育基礎演習 こども教育フィールド 研修 教育評価 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰb 初等教育実習Ⅰb 生活※ 社会科指導法 生活科指導法※ 社会 総合的な学習の指導法 初等教材開発論 こども教育演習 卒業論文	専任	准教授	大西 慎也 (45) <平成30年4月>	こども教育基礎演習 こども教育フィールド 研修 教育評価 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰb 初等教育実習Ⅰb 生活※ 社会科指導法 生活科指導法※ 社会 総合的な学習の指導法 アクティブラーニングの指導法 学習デザイン論 初等教材開発論 こども教育演習 卒業論文
専任	助教	住本 純 (33) <平成29年4月>	体育講義 健康スポーツ演習 こども教育基礎演習 こども教育フィールド 研修 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰb 初等教育実習Ⅰb 体育Ⅰ 体育Ⅱ 体育科指導法 小学校表現活動論 こども教育演習 卒業論文	専任	助教	住本 純 (34) <平成29年4月>	体育講義 健康スポーツ演習 こども教育基礎演習 こども教育フィールド 研修 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰb 初等教育実習Ⅰb 体育Ⅰ 体育Ⅱ 体育科指導法 小学校表現活動論 こども教育演習 卒業論文	専任	講師	住本 純 (35) <平成30年4月>	体育講義 健康スポーツ演習 こども教育基礎演習 こども教育フィールド 研修 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰb 初等教育実習Ⅰb 体育Ⅰ 体育Ⅱ 食と健康の教育 体育科指導法 小学校表現活動論 こども教育演習 卒業論文
兼任	教授	伊藤 一美 (48) <平成29年4月>	現代社会と高齢者※ 病児の発達と支援※	兼任	教授	伊藤 一美 (49) <平成29年4月>	現代社会と高齢者※ 病児の発達と支援※	兼任	教授	伊藤 一美 (50) <平成29年4月>	現代社会と高齢者※ 病児の発達と支援※
兼任	教授	岩崎(馬詰)れい (49) <平成29年4月>	子育てとワークライフ バランス 病児の発達と支援※ 子どもの読書とメディア 学習指導と学校図書館 読書と豊かな人間性	兼任	教授	岩崎(馬詰)れい (49) <平成29年4月>	子育てとワークライフ バランス 病児の発達と支援※ 子どもの読書とメディア 学習指導と学校図書館 読書と豊かな人間性	兼任	教授	岩崎(馬詰)れい (50) <平成29年4月>	子育てとワークライフ バランス 病児の発達と支援※ 子どもの読書とメディア 学習指導と学校図書館 読書と豊かな人間性

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	上田 恵津子 (58) <平成30年10月> 学習の心理学
兼任	教授	牛田 好美 (57) <平成30年4月> こどもと子育ての 生活環境学※
兼任	教授	加藤 佐千子 (59) <平成29年4月> 現代社会と高齢者※
兼任	教授	河瀬 雅紀 (57) <平成29年4月> 身近な医学※ 現代社会と病者・障 がい者※ 病児の発達と支援※
兼任	教授	朱(佐藤) 鳳 (54) <平成29年4月> 中国語 I 中国語 II 中国語 III 海外研修(語学) I
兼任	教授	須川 いずみ (61) <平成29年4月> 海外研修(語学) II a 海外研修(語学) II b
兼任	教授	鷺見 朗子 (53) <平成29年10月> 外国文学 アラビア語
兼任	教授	高井 直美 (58) <平成29年4月> 身近な心理学 こどもと自然 現代社会とこども※ 保育相談支援 心理統計法 I 心理統計法 II
兼任	教授	竹原 広実 (52) <平成30年4月> こどもと子育ての 生活環境学※
兼任	教授	中村 久美 (57) <平成30年4月> こどもと子育ての 生活環境学※
兼任	教授	廣瀬 直哉 (50) <平成29年10月> 暮らしの統計学
兼任	教授	藤原 智子 (54) <平成29年4月> こどもと子育ての生 活環境学※ 海外研修(生活と社 会)
兼任	教授	三好 明夫 (58) <平成29年4月> 現代社会と病者・障 がい者※
兼任	教授	向山 泰代 (54) <平成29年4月> 現代社会と女性・家 族※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	上田 恵津子 (58) <平成30年10月> 学習の心理学
兼任	教授	牛田 好美 (58) <平成30年4月> こどもと子育ての 生活環境学※
兼任	教授	加藤 佐千子 (59) <平成29年4月> 現代社会と高齢者※
兼任	教授	河瀬 雅紀 (58) <平成29年4月> 身近な医学※ 現代社会と病者・障 がい者※ 病児の発達と支援※
兼任	教授	朱(佐藤) 鳳 (54) <平成29年4月> 中国語 I 中国語 II 中国語 III 海外研修(語学) I
兼任	教授	須川 いずみ (62) <平成29年4月> 海外研修(語学) II a 海外研修(語学) II b
兼任	教授	鷺見 朗子 (54) <平成29年10月> 外国文学 アラビア語
兼任	教授	高井 直美 (58) <平成29年4月> 身近な心理学 こどもと自然 現代社会とこども※ 保育相談支援 幼児理解の理論と方 法※ 心理統計法 I 心理統計法 II
兼任	教授	竹原 広実 (53) <平成30年4月> こどもと子育ての 生活環境学※
兼任	教授	中村 久美 (58) <平成30年4月> こどもと子育ての 生活環境学※
兼任	教授	廣瀬 直哉 (50) <平成29年10月> 暮らしの統計学
兼任	教授	藤原 智子 (55) <平成29年4月> こどもと子育ての生 活環境学※ 海外研修(生活と社 会)
兼任	教授	三好 明夫 (59) <平成29年4月> 現代社会と病者・障 がい者※
兼任	教授	向山 泰代 (54) <平成29年4月> 現代社会と女性・家 族※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	牛田 好美 (59) <平成30年4月> こどもと子育ての 生活環境学※
兼任	教授	加藤 佐千子 (60) <平成29年4月> 現代社会と高齢者※
兼任	教授	河瀬 雅紀 (59) <平成29年4月> 身近な医学※ 現代社会と病者・障 がい者※ 病児の発達と支援※
兼任	教授	朱(佐藤) 鳳 (55) <平成29年4月> 中国語 I 中国語 II 中国語 III 海外研修(語学) I
兼任	教授	鷺見 朗子 (55) <平成29年10月> 外国文学 アラビア語
兼任	教授	高井 直美 (59) <平成29年4月> 身近な心理学 こどもと自然 現代社会とこども※ 保育相談支援 心理学統計法 I 心理学統計法 II
兼任	教授	竹原 広実 (54) <平成30年4月> こどもと子育ての 生活環境学※
兼任	教授	中村 久美 (59) <平成30年4月> こどもと子育ての 生活環境学※
兼任	教授	廣瀬 直哉 (50) <平成29年10月> 暮らしの統計学 学習の心理学
兼任	講師	後藤 伸彦 (33) <平成30年10月> 暮らしの統計学
兼任	教授	藤原 智子 (56) <平成29年4月> こどもと子育ての生 活環境学※ 海外研修(生活と社 会)
兼任	教授	三好 明夫 (60) <平成29年4月> 現代社会と病者・障 がい者※
兼任	教授	向山 泰代 (55) <平成29年4月> 現代社会と女性・家 族※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
兼任	教授	吉田 智子 (54) <平成29年4月>	吉田 智子 (55) <平成29年4月>	吉田 智子 (56) <平成30年4月>
		情報科学入門 情報演習Ⅰ 情報演習Ⅱ 情報処理	情報科学入門 情報演習Ⅰ 情報演習Ⅱ 情報処理	情報科学入門 情報演習Ⅰ 情報演習Ⅱ 情報処理 キャリア形成ゼミ 海外インターンシップ ノートダム学
			室田 保夫 (68) <平成29年4月>	室田 保夫 (69) <平成29年4月>
			現代社会と福祉Ⅰ 現代社会と福祉Ⅱ	現代社会と福祉Ⅰ 現代社会と福祉Ⅱ
兼任	准教授	尾崎(湯川)仁美 (45) <平成30年4月>	尾崎(湯川)仁美 (45) <平成30年4月>	尾崎(湯川)仁美 (46) <平成30年4月>
		推測統計学Ⅰ 推測統計学Ⅱ	推測統計学Ⅰ 推測統計学Ⅱ	推測統計学Ⅰ 推測統計学Ⅱ
兼任	准教授	久野 将健 (51) <平成29年4月>	久野 将健 (51) <平成29年4月>	久野 将健 (52) <平成29年4月>
		キリスト教音楽入門 キリスト教音楽	キリスト教音楽入門 キリスト教音楽	キリスト教音楽入門 キリスト教音楽
兼任	准教授	薦田 未央 (46) <平成29年4月>	薦田 未央 (46) <平成29年4月>	薦田 未央 (47) <平成29年4月>
		こどもと自然 病児の発達と支援※ 教育相談の理論と方法 障害児・者の心理学	こどもと自然 病児の発達と支援※ 教育相談の理論と方法 障害児・者の心理学 幼児理解の理論と方法※	こどもと自然 病児の発達と支援※ 教育相談の理論と方法 障害児・者の心理学 幼児理解の理論と方法※
兼任	准教授	酒井 久美子 (54) <平成29年4月>	酒井 久美子 (54) <平成29年4月>	酒井 久美子 (55) <平成29年4月>
		海外研修(生活と社会) 現代社会と病者・障がい者※ 地域福祉論Ⅰ	海外研修(生活と社会) 現代社会と病者・障がい者※ 地域福祉論Ⅰ	海外研修(生活と社会) 現代社会と病者・障がい者※ 地域福祉論Ⅰ
兼任	准教授	佐藤 睦子 (55) <平成31年4月>	佐藤 睦子 (56) <平成31年4月>	佐藤 睦子 (57) <平成31年4月>
		スクールカウンセリング論	スクールカウンセリング論	スクールカウンセリング論
兼任	准教授	東郷 多津 (53) <平成29年4月>	東郷 多津 (53) <平成29年4月>	東郷 多津 (54) <平成29年4月>
		英語総合Ⅰ 英語総合Ⅱ	英語総合Ⅰ 英語総合Ⅱ	英語総合Ⅰ 英語総合Ⅱ 海外研修(語学)Ⅱa 海外研修(語学)Ⅱb
		英語リスニング初級 英語リスニング中級 インターンシップ 教育の方法及び技術 教職実践演習(中・高)	英語リスニング初級 英語リスニング中級 インターンシップ 教育の方法及び技術 教職実践演習(中・高)	英語リスニング初級 英語リスニング中級 インターンシップ 教育の方法及び技術 教職実践演習(中・高)
兼任	准教授	長沼 光彦 (53) <平成29年4月>	長沼 光彦 (54) <平成29年4月>	長沼 光彦 (55) <平成30年4月>
		日本文学 ホスピタリティ京都	日本文学 ホスピタリティ京都	ホスピタリティ京都
兼任	准教授	平野 美保 (49) <平成30年4月>	平野 美保 (50) <平成30年4月>	
		キャリア形成 キャリア形成ゼミ	キャリア形成 キャリア形成ゼミ	
兼任	准教授	吉田(小野澤)朋子 (45) <平成30年10月>	吉田(小野澤)朋子 (45) <平成30年10月>	吉田 朋子 (46) <平成30年10月>
		キリスト教美術	キリスト教美術	キリスト教美術
兼任	講師	青木(高柴)加奈子 (38) <平成29年4月>	青木(高柴)加奈子 (39) <平成29年4月>	青木(高柴)加奈子 (40) <平成29年4月>
		女性とライフキャリア 現代社会と女性・家族※	女性とライフキャリア 現代社会と女性・家族※	女性とライフキャリア 現代社会と女性・家族※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	講師	辻 敦子 (41) <平成31年10月>	教育史
兼任	講師	中里 郁子 (52) <平成29年4月>	キリスト教入門 聖書と文化
兼任	講師	矢島 雅子 (38) <平成30年10月>	家族援助論 相談援助演習 介護等体験
兼任	講師	York Weatherford (49) <平成30年4月>	読むための英語 アカデミック英語
兼任	講師	青木 三陽 (41) <平成29年4月>	ドイツ語
兼任	講師	石川 真美 (57) <平成29年4月>	英語基礎 I 英語基礎 II
兼任	講師	伊藤 薫 (29) <平成29年4月>	英語基礎 I 英語基礎 II
兼任	講師	伊藤 泰子 (51) <平成30年4月>	情報処理
兼任	講師	稲垣 顕子 (63) <平成29年4月>	日本語講読 I 日本語講読 II
兼任	講師	今井 里佳 (35) <平成31年4月>	こどもの食と栄養
兼任	講師	伊村 大樹 (42) <平成29年4月>	英語基礎 I 英語基礎 II
兼任	講師	岩田 真理子 (62) <平成29年4月>	ホスピタリティ入門
兼任	講師	翁 和美 (47) <平成29年10月>	社会学概論
兼任	講師	王 嵐 (61) <平成29年4月>	中国語 I
兼任	講師	小部 晶子 (41) <平成29年4月>	東アジア近現代史
兼任	講師	郭 南燕 (54) <平成30年10月>	キリスト教と日本文化※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	講師	辻 敦子 (42) <平成31年10月>	教育史
兼任	講師	中里 郁子 (52) <平成29年4月>	キリスト教入門 聖書と文化
兼任	講師	矢島 雅子 (39) <平成30年10月>	家族援助論 相談援助演習 介護等体験
兼任	講師	York Weatherford (50) <平成30年4月>	読むための英語 アカデミック英語
兼任	講師	青木 三陽 (41) <平成29年4月>	ドイツ語
兼任	講師	石川 真美 (57) <平成29年4月>	英語基礎 I 英語基礎 II
兼任	講師	伊藤 泰子 (51) <平成30年4月>	情報処理
兼任	講師	稲垣 顕子 (63) <平成29年4月>	日本語講読 I 日本語講読 II
兼任	講師	今井 里佳 (35) <平成31年4月>	こどもの食と栄養
兼任	講師	伊村 大樹 (42) <平成29年4月>	英語基礎 I 英語基礎 II
兼任	講師	岩田 真理子 (62) <平成29年4月>	ホスピタリティ入門
兼任	講師	翁 和美 (47) <平成29年4月>	社会学概論
兼任	講師	王 嵐 (61) <平成29年4月>	中国語 I
兼任	講師	小部 晶子 (41) <平成29年4月>	東アジア近現代史
兼任	講師	郭 南燕 (54) <平成30年10月>	キリスト教と日本文化※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
兼任	講師	辻 敦子 (43) <平成31年10月>	教育史
兼任	准教授	中里 郁子 (53) <平成30年4月>	キリスト教入門 聖書と文化
兼任	講師	矢島 雅子 (40) <平成30年10月>	家族援助論 相談援助演習 介護等体験
兼任	講師	York Weatherford (51) <平成30年4月>	読むための英語 アカデミック英語
兼任	講師	青木 三陽 (41) <平成29年4月>	ドイツ語
兼任	講師	石川 真美 (57) <平成29年4月>	英語基礎 I 英語基礎 II
兼任	講師	伊藤 泰子 (51) <平成30年4月>	情報処理
兼任	講師	稲垣 顕子 (63) <平成29年4月>	日本語講読 I 日本語講読 II
兼任	講師	今井 里佳 (35) <平成31年4月>	こどもの食と栄養
兼任	講師	伊村 大樹 (42) <平成29年4月>	英語基礎 I 英語基礎 II 実用英語基礎 身近な英文法
兼任	講師	岩田 真理子 (62) <平成29年4月>	ホスピタリティ入門
兼任	講師	翁 和美 (47) <平成29年4月>	社会学概論
兼任	講師	王 嵐 (61) <平成29年4月>	中国語 I
兼任	講師	小部 晶子 (41) <平成29年4月>	東アジア近現代史
兼任	講師	郭 南燕 (54) <平成30年10月>	キリスト教と日本文化※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	梶山(十河)玉香 (50) <平成29年4月>
		暮らしの法律学
兼任	講師	片山 裕 (67) <平成29年4月>
		国際関係論入門 ノートルダム学 海外インターンシッ プ
兼任	講師	北村 友美子 (55) <平成30年4月>
		こども英語教育Ⅰ こども英語教育Ⅱ 小学校英語教育Ⅰ 小学校英語教育Ⅱ
兼任	講師	金 美仙 (52) <平成29年4月>
		コリア語Ⅰ コリア語Ⅱ コリア語Ⅲ
兼任	講師	工藤 春代 (41) <平成31年4月>
		消費者教育
兼任	講師	久保 圭 (33) <平成29年4月>
		文章表現法
兼任	講師	黒田 一平 (29) <平成29年4月>
		英語総合Ⅰ 英語総合Ⅱ
兼任	講師	小島 秀信 (39) <平成29年10月>
		暮らしの経済学
兼任	講師	柴 礼敬 (62) <平成29年4月>
		中国語Ⅰ
兼任	講師	坂本 優一郎 (46) <平成29年10月>
		ヨーロッパ近現代史
兼任	講師	笹岡 隆甫 (42) <平成30年4月>
		ホスピタリティ京都
兼任	講師	須藤 英幸 (50) <平成30年4月>
		キリスト教思想
兼任	講師	芹澤 出 (55) <平成30年10月>
		社会的養護
兼任	講師	高岸 雅子 (58) <平成29年4月>
		日本語表現Ⅰ 日本語表現Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	梶山(十河)玉香 (50) <平成29年4月>
		暮らしの法律学
兼任	講師	片山 裕 (67) <平成29年4月>
		国際関係論入門 ノートルダム学 海外インターンシッ プ
兼任	講師	北村 友美子 (55) <平成30年4月>
		こども英語教育Ⅰ こども英語教育Ⅱ 小学校英語教育Ⅰ 小学校英語教育Ⅱ
兼任	講師	金 美仙 (52) <平成29年4月>
		コリア語Ⅰ コリア語Ⅱ コリア語Ⅲ
兼任	講師	工藤 春代 (41) <平成31年4月>
		消費者教育
兼任	講師	久保 圭 (33) <平成29年4月>
		文章表現法
兼任	講師	黒田 一平 (29) <平成29年4月>
		英語総合Ⅰ 英語総合Ⅱ 英語基礎Ⅰ 英語基礎Ⅱ
兼任	講師	小島 秀信 (39) <平成29年10月>
		暮らしの経済学
兼任	講師	柴 礼敬 (62) <平成29年4月>
		中国語Ⅰ
兼任	講師	陶 盈 (37) <平成29年4月>
		中国語Ⅰ
兼任	講師	森本 慶太 (36) <平成29年10月>
		ヨーロッパ近現代史
兼任	講師	笹岡 隆甫 (42) <平成30年4月>
		ホスピタリティ京都
兼任	学長	眞田 雅子 (74) <平成29年4月>
		英語総合Ⅰ 英語総合Ⅱ
兼任	講師	須藤 英幸 (50) <平成30年4月>
		キリスト教思想
兼任	講師	芹澤 出 (55) <平成30年10月>
		社会的養護
兼任	講師	高岸 雅子 (58) <平成29年4月>
		日本語表現Ⅰ 日本語表現Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	梶山(十河)玉香 (50) <平成29年4月>
		暮らしの法律学
兼任	講師	片山 裕 (67) <平成30年4月>
		国際関係論入門
兼任	講師	北村 友美子 (55) <平成30年4月>
		こども英語教育Ⅰ こども英語教育Ⅱ 小学校英語教育Ⅰ 小学校英語教育Ⅱ
兼任	講師	金 美仙 (52) <平成29年4月>
		コリア語Ⅰ コリア語Ⅱ コリア語Ⅲ
兼任	講師	鬼頭 弥生 (35) <平成31年4月>
		消費者教育
兼任	講師	久保 圭 (33) <平成29年4月>
		文章表現法
兼任	講師	黒田 一平 (29) <平成29年4月>
		英語総合Ⅰ 英語総合Ⅱ 英語基礎Ⅰ 英語基礎Ⅱ
兼任	講師	百木 漢 (35) <平成30年10月>
		暮らしの経済学
兼任	講師	柴 礼敬 (62) <平成29年4月>
		中国語Ⅰ
兼任	講師	陶 盈 (37) <平成29年4月>
		中国語Ⅰ
兼任	講師	森本 慶太 (37) <平成29年10月>
		ヨーロッパ近現代史
兼任	講師	笹岡 隆甫 (42) <平成30年4月>
		ホスピタリティ京都
兼任	講師	Daniel Pearce (31) <平成30年4月>
		英語総合Ⅰ 英語総合Ⅱ
兼任	講師	須藤 英幸 (50) <平成30年4月>
		キリスト教思想
兼任	講師	芹澤 出 (55) <平成30年10月>
		社会的養護
兼任	講師	高岸 雅子 (58) <平成29年4月>
		日本語表現Ⅰ 日本語表現Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
兼任	講師	橋 健一 (52) <平成29年10月>	橋 健一 (52) <平成29年10月>	橋 健一 (52) <平成29年10月>
		文化人類学	文化人類学	文化人類学
兼任	講師	田中 貴子 (61) <平成30年4月>	田中 貴子 (61) <平成30年4月>	田中 貴子 (61) <平成30年4月>
		日本語特講 I	日本語特講 I	日本語特講 I
兼任	講師	田中 敏彦 (64) <平成29年10月>	田中 敏彦 (64) <平成29年10月>	田中 敏彦 (64) <平成29年10月>
		フランス語	フランス語	フランス語
兼任	講師	田中 文昭 (47) <平成30年4月>	田中 文昭 (47) <平成30年4月>	田中 文昭 (47) <平成30年4月>
		保育内容(環境) 保育内容(言葉)	保育内容(環境) 保育内容(言葉)	保育内容(環境) 保育内容(言葉)
兼任	講師	田中 美和子 (55) <平成29年4月>	田中 美和子 (55) <平成29年4月>	
		英語総合 I 英語総合 II 実用英語基礎 身近な英文法	実用英語基礎 身近な英文法	
			葛田 和美 (58) <平成29年4月>	
			英語総合 I 英語総合 II	
				松岡 真由子 (34) <平成30年4月>
				兼任 講師 英語総合 I 英語総合 II 実用英語基礎 身近な英文法
兼任	講師	田中 良広 (57) <平成31年10月>	田中 良広 (57) <平成31年10月>	田中 良広 (57) <平成31年10月>
		視覚障害者の心理・ 生理・病理 視覚障害者教育論	視覚障害者の心理・ 生理・病理 視覚障害者教育論	視覚障害者の心理・ 生理・病理 視覚障害者教育論
兼任	講師	玉井 雅人 (47) <平成29年4月>	玉井 雅人 (47) <平成29年4月>	玉井 雅人 (47) <平成29年4月>
		地球と宇宙の科学	地球と宇宙の科学	地球と宇宙の科学
兼任	講師	大喜 直彦 (56) <平成29年4月>	大喜 直彦 (56) <平成29年4月>	
		日本近現代史 日本の宗教	日本近現代史 日本の宗教	
				兼任 講師 小林 健太 (29) <平成30年4月>
				日本近現代史 日本の宗教
兼任	講師	寺西 みどり (63) <平成29年4月>	寺西 みどり (63) <平成29年4月>	寺西 みどり (63) <平成29年4月>
		歴史の中の女性 英語基礎 I 英語基礎 II	歴史の中の女性 英語基礎 I 英語基礎 II	歴史の中の女性 英語基礎 I 英語基礎 II
兼任	講師	徳岡 博巳 (64) <平成30年10月>	徳岡 博巳 (64) <平成30年10月>	徳岡 博巳 (64) <平成30年10月>
		社会的養護内容	社会的養護内容	社会的養護内容
兼任	講師	豊田 陽介 (39) <平成29年10月>	豊田 陽介 (39) <平成29年10月>	豊田 陽介 (39) <平成29年10月>
		環境学概論	環境学概論	環境学概論
				兼任 講師 鳥越 隆志 (61) <平成29年10月>
				聴覚障害者教育論※
兼任	講師	中村 央希 (33) <平成29年4月>	岡崎 央希 (33) <平成29年4月>	岡崎 央希 (33) <平成29年4月>
		英語総合 I 英語総合 II	英語総合 I 英語総合 II	英語総合 I 英語総合 II
兼任	講師	中村 亮太 (35) <平成30年4月>	中村 亮太 (35) <平成30年4月>	中村 亮太 (35) <平成30年4月>
		情報処理	情報処理	情報処理
兼任	講師	西尾 純子 (55) <平成30年4月>	西尾 純子 (55) <平成30年4月>	西尾 純子 (55) <平成30年4月>
		学校経営と学校図書館 情報メディアの活用	学校経営と学校図書館 情報メディアの活用	学校経営と学校図書館 情報メディアの活用

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
兼任	講師	丹羽 登 (57)
		<平成30年4月>
		知的障害者の心理・生理・病理※
兼任	講師	沼野 尚美 (60)
		<平成29年4月>
		ボランティア概論
兼任	講師	野村 照夫 (58)
		<平成29年4月>
		健康スポーツ演習
兼任	講師	野村 晴美 (58)
		<平成29年4月>
		健康スポーツ演習 体育実技
兼任	講師	日比 伊奈穂 (44)
		<平成30年10月>
		日本語特講Ⅱ
兼任	講師	平野 江美 (43)
		<平成30年4月>
		食と健康の教育 家庭科指導法 家庭
兼任	講師	藤田 朋子 (55)
		<平成29年4月>
		ジェンダー論
兼任	講師	藤本 幸治 (47)
		<平成29年4月>
		英語総合Ⅰ 英語総合Ⅱ
兼任	講師	米谷 優子 (57)
		<平成30年10月>
		学校図書館メディアの構成
兼任	講師	松井 吉康 (55)
		<平成29年10月>
		生命倫理
兼任	講師	松本 ドロタ (44)
		<平成29年4月>
		英語総合Ⅰ 英語総合Ⅱ
兼任	講師	村井 琢哉 (36)
		<平成30年4月>
		児童福祉論
兼任	講師	村上 裕美 (56)
		<平成29年4月>
		英語基礎Ⅰ 英語基礎Ⅱ
兼任	講師	丸山 果織 (41)
		<平成30年10月>
		書写

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
兼任	講師	丹羽 登 (57)
		<平成30年4月>
		知的障害者の心理・生理・病理※
兼任	講師	志藤 修史 (53)
		<平成29年4月>
		ボランティア概論
兼任	講師	野村 照夫 (59)
		<平成29年4月>
		健康スポーツ演習
兼任	講師	野村 晴美 (58)
		<平成29年4月>
		健康スポーツ演習 体育実技
兼任	講師	日比 伊奈穂 (44)
		<平成30年10月>
		日本語特講Ⅱ
兼任	講師	平野 江美 (43)
		<平成30年4月>
		家庭科指導法 家庭
兼任	講師	村元 由佳利 (30)
		<平成29年10月>
		食と健康の教育
兼任	講師	藤田 朋子 (55)
		<平成29年10月>
		ジェンダー論
兼任	講師	藤本 幸治 (47)
		<平成29年4月>
		英語総合Ⅰ 英語総合Ⅱ
兼任	講師	米谷 優子 (57)
		<平成30年10月>
		学校図書館メディアの構成
兼任	講師	松井 吉康 (55)
		<平成29年10月>
		生命倫理
兼任	講師	森 ユキエ (67)
		<平成29年4月>
		英語総合Ⅰ 英語総合Ⅱ
兼任	講師	村井 琢哉 (36)
		<平成30年4月>
		児童福祉論
兼任	講師	村上 裕美 (56)
		<平成29年4月>
		英語基礎Ⅰ 英語基礎Ⅱ
兼任	講師	丸山 果織 (41)
		<平成30年10月>
		書写

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>
兼任	講師	丹羽 登 (57)
		<平成30年4月>
		知的障害者の心理・生理・病理※ 肢体不自由者の心理・生理・病理※
兼任	講師	志藤 修史 (53)
		<平成29年4月>
		ボランティア概論
兼任	講師	野村 照夫 (60)
		<平成29年4月>
		健康スポーツ演習 体育実技
兼任	講師	野村 晴美 (58)
		<平成29年4月>
		健康スポーツ演習 体育実技
兼任	講師	日笠 みどり (59)
		<平成30年4月>
		ピアノ実技 音楽Ⅰ
兼任	講師	日比 伊奈穂 (44)
		<平成30年10月>
		日本語特講Ⅱ
兼任	講師	平野 江美 (43)
		<平成30年4月>
		家庭科指導法 家庭
兼任	講師	廣田 陽代 (56)
		<平成30年4月>
		肢体不自由者の心理・生理・病理※
兼任	講師	藤田 朋子 (55)
		<平成29年10月>
		ジェンダー論
兼任	講師	藤本 幸治 (47)
		<平成29年4月>
		英語総合Ⅰ 英語総合Ⅱ
兼任	講師	米谷 優子 (57)
		<平成30年10月>
		学校図書館メディアの構成
兼任	講師	松井 吉康 (55)
		<平成29年10月>
		生命倫理
兼任	講師	森 ユキエ (67)
		<平成29年4月>
		英語総合Ⅰ 英語総合Ⅱ
兼任	講師	村井 琢哉 (36)
		<平成30年4月>
		児童福祉論
兼任	講師	村上 裕美 (56)
		<平成29年4月>
		英語基礎Ⅰ 英語基礎Ⅱ
兼任	講師	丸山 果織 (41)
		<平成30年10月>
		書写

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
兼任	講師	横山(須賀)真紀 (42) <平成29年10月>	横山(須賀)真紀 (42) <平成29年10月>	横山(須賀)真紀 (42) <平成29年10月>
		憲法と人権	憲法と人権	憲法と人権
兼任	講師	渡辺 智美 (48) <平成32年4月>	渡辺 智美 (48) <平成32年4月>	渡辺 智美 (48) <平成32年4月>
		国際理解教育	国際理解教育	国際理解教育
兼任	講師	Eric Hail (46) <平成30年4月>	Eric Hail (46) <平成30年4月>	Eric Hail (46) <平成30年4月>
		日常の英会話 旅行の英会話 やさしいビジネス英会話	日常の英会話 旅行の英会話 やさしいビジネス英会話	日常の英会話 旅行の英会話 やさしいビジネス英会話
兼任	講師	Jacoba Akazawa (61) <平成30年4月>	Jacoba Akazawa (61) <平成30年4月>	
		日常の英会話 旅行の英会話 留学の英会話 おもてなしの英会話	日常の英会話 旅行の英会話 留学の英会話 おもてなしの英会話	
兼任	講師	Jodie Campbell (47) <平成30年4月>	Jodie Campbell (47) <平成30年4月>	Jodie Campbell (48) <平成30年4月>
		日常の英会話 留学の英会話 おもてなしの英会話 歌って覚える英語表現	日常の英会話 留学の英会話 おもてなしの英会話 歌って覚える英語表現	英語基礎 I 英語基礎 II
兼任	講師	John Breen (61) <平成30年10月>	John Breen (61) <平成30年10月>	John Breen (61) <平成30年10月>
		キリスト教と日本文化※	キリスト教と日本文化※	キリスト教と日本文化※
兼任	講師	VALVERDE IBÁÑEZ María del Pilar (36) <平成29年4月>		
		スペイン語		
			安藤 幸治 (42) <平成29年4月>	
			スペイン語	
				平山 幸乃 (29) <平成30年4月>
				スペイン語

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。**
・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・室田保夫 兼任教授の補充。
- ・相澤雅文 兼任講師の補充。
- ・伊藤 薫 兼任講師の辞退により、黒田一平 兼任講師に変更。
- ・科目開講期の変更により、翁 和美 兼任講師の就任時期の変更。
- ・教育体制充実のため、陶 盈 兼任講師の補充。
- ・坂本俊一郎 兼任講師の辞退により、森本慶太 兼任講師に変更。
- ・教育体制充実のため、真田雅子 兼任講師の追加補充。
- ・田中美和子 兼任講師の辞退により、高田和美 兼任講師に変更。
- ・中村央希 兼任講師の改姓により、岡崎央希に変更。
- ・沼野尚美 兼任講師の辞退により、志藤修史 兼任講師に変更。
- ・平野江美 兼任講師の辞退により、村元由香利 兼任講師に変更。
- ・科目開講期の変更により、藤田朋子 兼任講師の就任時期の変更。
- ・松本ドロタ 兼任講師の辞退により、森ユキエ 兼任講師に変更。
- ・VALVERDE IBANEZ Maria Pilar 兼任講師の辞退により、安藤幸治 兼任講師に変更。

【平成30年度】

- ・平成30年3月 工藤哲夫 教授辞任
- ・平成30年4月 渡邊春美 教授就任。平成29年11月教員審査済。
- ・平成30年4月 神月紀輔の職位を准教授から教授に昇任。平成30年1月教員審査済。
- ・平成30年4月 大西慎也の職位を講師から准教授に昇任。平成29年7月教員審査済。
- ・平成30年4月 住本 純の職位を助教から講師に昇任。平成29年7月教員審査済。
- ・上田恵津子 兼任教授の辞任により、廣瀬直哉 兼任教授に変更。
- ・須川いずみ 兼任教授の辞退により、東郷多津 兼任准教授、York Weatherford 兼任講師に変更。
- ・廣瀬直哉 兼任教授の辞退により、後藤伸彦 兼任講師に変更。
- ・長沼光彦 兼任教員の職位が、平成30年4月准教授から教授に変更。
- ・長沼光彦 兼任教授の辞退により、武田悠希 兼任講師の補充。
- ・平野美保 兼任准教授の辞退により、荒尾千春 兼任講師の補充。
- ・吉田（小野澤）朋子の改姓のため、吉田朋子に変更。
- ・中里郁子 兼任講師の職位が、平成30年4月講師から准教授に変更。
- ・小都島子 兼任講師の辞任により、根岸智代 兼任講師に変更。
- ・工藤春代 兼任講師の辞任により、鬼頭弥生 兼任講師に変更。
- ・小島秀信 兼任講師の辞任により、百木 漢 兼任講師に変更。
- ・真田雅子 兼任講師の辞任により、Daniel Pearce 兼任講師に変更。
- ・田中美和子 兼任講師、高田和美 兼任講師の辞任により、松岡真由子 兼任講師に変更。
- ・大喜直彦 兼任講師の辞任により、小林健太 兼任講師に変更。
- ・オムニバス科目に変更により、鳥越隆志 兼任講師の補充。
- ・教育充実のため、日笠みどり 兼任講師の補充。
- ・村元由香里 兼任講師の辞任により、住本 純 専任講師に変更。平成29年7月教員審査済。
- ・オムニバス科目に変更のため、廣田陽代 兼任講師の補充。
- ・Jacoba Akazawa 兼任講師の辞任により、Jacques Wilburnに變更。
- ・Jodie Campbell 兼任講師の辞退により、Katy Simpson兼任講師に変更。
- ・安藤幸治 兼任講師の辞任により、平山幸乃 兼任講師に変更。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（A C）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) 一① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
8	4
名	名

- (注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) 一② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
4	10	1	1	16	5	10	1	0	16	5	10	1	0	16
(4)	(10)	(1)	(1)	(16)						[1]	[-]	[-]	[Δ 1]	[-]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 - ・ 「**現在（報告書提出時）の完成年度時の計画**」には、「**現在（報告書提出時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65または70 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{16}{16} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況（B）}} = \frac{0}{16} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし				
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0 人	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	工藤哲夫	選択	現代社会とこども	①	H30.3.31付けで一身上の都合（家族同居、母の介護支援）のため辞任（30）
			必修	こども教育フィールド研修	①	
			必修	こども教育基礎演習	①	
			選択	アクティブラーニングの指導法	①	
			選択	学習デザイン論	①	
			選択	初等教育実習 I a	①	
			選択	初等教育実習 II a	①	
			選択	初等教育実習 I b	①	
			選択	初等教育実習 II b	①	
			選択	国語	①	
			選択	国語科指導法	①	
			必修	こども教育演習	①	
			必修	教育の方法と技術	①	
			選択	教職実践演習（幼保）	①	
必修	卒業論文	①				
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
1 人	必修	5	科目	必修	5	科目
	選択	10	科目	選択	10	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	15	科目	計	15	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計(D) + (F)				後任補充状況の集計(E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a) + (b) + (c)			①の合計数(a)	②の合計数(b)		③の合計数(c)		
1 人	必修	5	科目	必修	5	科目	必修	0	科目
	選択	10	科目	選択	10	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	15	科目	計	15	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{1}{16} = \boxed{6.25} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし							
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計(a) + (b) + (c)			①の合計数(a)	②の合計数(b)		③の合計数(c)		
0 人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>専任教員(教授)の辞任については、単身赴任で、かつ母の居所と離れていたため、家族同居及び母の介護支援のためという事情であり、近隣大学への転出はやむを得ないと考えている。</p> <p>既に後任の教員を補充しており、辞任教員の担当(予定)科目は後任教員が担当するほか、他の適任専任教員が担当し、学生への教育および履修等の影響はない。</p> <p>科目担当教員の交代については、シラバスで担当教員を修正しているほか、年度当初に学生に対し周知を図っている。</p>

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画	
設 置 時 (平成28年8月)	・「LD等教育総論」と「LD教育総論」が混在して使われているが、科目内容から「LD教育総論」ではなく「LD等教育総論」と統一して使用すること。また、シラバスにLDと重度重複障害を混同していると思われる箇所があるため、適切に改めるとともに、重度重複障害に関する内容を充実すること。	留意事項	・設置認可補正申請の資料中に「LD等教育総論」とすべきところを誤って「LD教育総論」と記載していた箇所があった。精査の上「LD等教育総論」に統一した。シラバスの内容を精査し、混同していると思われるかねない箇所を改めたほか、重度重複障害に関する内容を充実した。(29) (別添2 参照)	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年2月)	・現代人間学部こども教育学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	・平成30年度における入学定員充足率が0.94倍であり、定員充足率の平均が0.8倍となった。今後も一層、広報活動に力を入れ、学生確保に努める。(30)	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年2月)	・同一設置者が設置する既設学部等(人間文化学部人間文化学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	・平成30年度における人間文化学部人間文化学科の4年間の定員充足率の平均は、0.71倍となった。今後も一層、広報活動に力を入れ学生確保に努める。また、平成31年度から学びの特性をより明確に示す、国際日本文化学科に名称変更して学生確保に繋げる。(30)	履行済

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。

その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。

・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

<現代人間学部 こども教育学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

FD活動

- ・ 京都ノートルダム女子大学FD委員会を設置(別添1 参照)

SD活動

- ・ 学校法人または大学事務局において実施

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

FD活動

- ・ 毎月1回(8月及び12月を除く)年間10回開催
- ・ 委員は各学科から選出された教員と担当課長で構成し、開催は全員出席を原則としている。

c 委員会の審議事項等

FD活動

- ・ FD活動の企画立案
- ・ FD活動の実施計画の策定及び評価
- ・ FDに関する研修及び研究
- ・ FD報告書の作成
- ・ FDに関する情報の収集と提供
- ・ FD関係団体との連携に関すること 等

② 実施状況

a 実施内容

FD活動

- ・ FD研修会
- ・ 全学教員FD研修会
- ・ 大学コンソーシアム京都主催の「FDフォーラム」に委員として参画及び教職員の参加
- ・ オープンクラス開催

SD活動

- ・ ノートルダム三校合同研修会
- ・ 新任教職員研修会
- ・ 教職員研修会

b 実施方法

FD活動・・・複数の機会を提供し教員参加の機会を確保

- ・ 全学教員FD研修会(授業方法等について)
- ・ 平成29年度は学内教員による「特色ある授業」の報告と意見交換
- ・ 大学コンソーシアム京都主催のFD研修会への参加
- ・ 平成29年度オープンクラス・・・教員相互の授業参観・コメント提出

SD活動

- ・ ノートルダム三校合同研修会・・・設立理念(ミッション・コミットメント)
- ・ 新任教職員研修・・・大学・学部・学科の設置趣旨等
- ・ 教職員研修・・・①外部講師による講義(大学改革等), およびワークショップ
②学内職員による大学関係基本法令の理解と解釈および就業規則関係の説明

c 開催状況（教員の参加状況含む）

FD活動

・全学FD研修会

参加者数 83名（教員68名のうち、55名参加、参加率77.5%）

・大学コンソーシアム京都主催のFD研修会参加（FD研修会欠席者に対する措置）させた。

・オープンクラス

ほぼ全科目について、3週間の「オープンクラス・ウィーク」を実施した。授業参観者の「参観者コメントシート」は、29件であった。

SD活動

・ノートルダム三校合同研修会・・・参加者数 教員45名、事務系38名

・新任教職員研修・・・新規採用教職員 教員6名、事務系3名

・教職員研修 ①参加者数 事務系36名

②参加者数 事務系42名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・研修会によって、大学教育の動向や考え方、PBLの手法、ゼミ授業での指導方法等が教員間で共有され、授業改善に活かされている。

・オープンクラスでは、教員間で授業について検討することにより、授業方法の知識や技能を共有し授業改善に反映されるよう意識共有を図っている。

・大学の設立理念や学部の設置趣旨等を再確認することにより、教育・指導に活かしている。

・SD活動によって主に事務系職員が基本的な教育関係法令の高い業務手法が提供でき得ることで、質の高い教員サービスに繋げ、間接的に授業改善に活かされている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

・全学的にほぼ全科目実施している。

・実施時期は、毎年、前期 7月、後期 12～1月

b 教員や学生への公開状況、方法等

・実施結果は、教職員及び学生が閲覧できるようにしている。また、WEB上においても公表している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

2007（平成19）年4月から「特別支援教育」が学校教育法に位置づけられ、すべての学校において障害のある幼児児童生徒の教育のさらなる充実が求められるようになった。また、2015（平成27）年4月からの「子ども・子育て支援新制度」により、幼保連携型の認定こども園に大きな期待が寄せられるようになった。現代人間学部こども教育学科は、このような社会的要請に応じて、保育士、幼稚園教員、小学校教員、特別支援学校教員の養成を1つの学科で総合的・専門的に行うことを設置の趣旨・目的としている。そして、この趣旨・目的を達成するために、3つの教育課程、すなわち幼稚園1種免許状と保育士資格の取得をめざす教育課程（幼稚園教員・保育士コース）、幼稚園教諭1種免許状と小学校教諭1種免許状の取得をめざす教育課程（幼稚園・小学校教員コース）、小学校教諭1種免許状と特別支援学校教諭1種免許状（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）の取得をめざす教育課程（小学校・特別支援学校教員コース）を設定して、教員と保育士の養成に励んでいる。

こども教育学科の1年次生に対しては、保育所、幼稚園、小学校、特別支援学校の観察実習を含む授業「こども教育基礎演習」「こども教育フィールド研修」を行い、その学びを踏まえて1年次前期の終了時にコースの選択を行わせている。それぞれの保育・教育現場の特性を自らの体験を通して理解した上で納得のいくコース選択ができることから、これらの授業は、学生たちにも好評であり、本学科の設置の趣旨・目的を達成するための初年次教育の中心的な機能を果たしている。今後は、設置の趣旨・目的のさらなる達成のために、コース分属後の学生指導の充実、教育内容の創意工夫を継続的に行っていく。

昨年度から継続的に、入試広報（大学ホームページや高等学校への学校訪問、オープンキャンパス等）及び高等学校の模擬授業などを通じて、こども教育学科の設置の目的や意義、教育課程の特徴の周知を図ることで志願者数の拡大に懸命に努めた甲斐があって、今年度は、昨年度と比べて、志願者数（83→106人）、合格者数（68→95人）、入学者数（46→66人）ともに増加したが、定員充足には至らなかった。次年度の募集にあたって、いっそう力を尽くしたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成30年5月1日 公表

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、関係機関及び希望があった学生に各1冊を配布予定

・大学ホームページ上に公開予定（平成30年8月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・平成34年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中

- (注) ・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表(予定)の有無 (有 ・ 無)
- b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期 (平成30年 8月 1日)

- (注) ・ 「a ホームページに公表(予定)有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。
- ・ 「b 公表(予定)有の場合の公表(予定)時期」には、「a ホームページに公表(予定)有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。